

平成22年度

農林水産情報交流ネットワーク事業 全国アンケート調査

森林資源の循環利用に関する意識・意向調査

この調査は、平成22年7月上旬から中旬にかけて、農林水産情報交流ネットワーク事業の消費者モニター1,779人、林業者モニター300人、流通加工業者モニター（木材関係）338人を対象に実施し、それぞれ1,599人、234人、248人から回答を得た結果である。

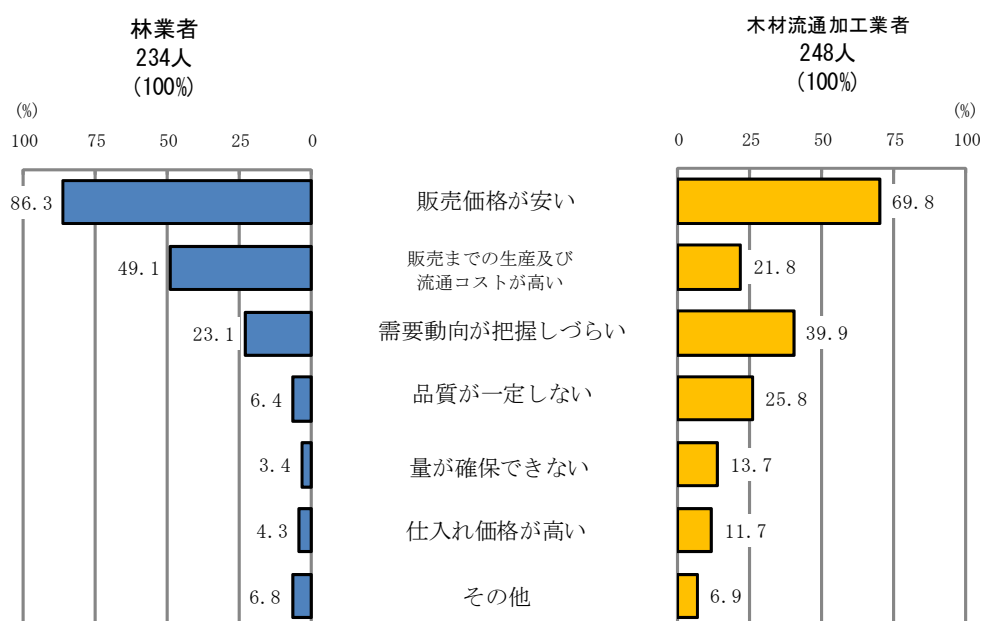
【調査結果の概要】

I 木材の利用に関する意識・意向について

1 製品を取り扱う上での問題点

製品を取り扱う上での問題点を尋ねたところ、林業者及び木材流通加工業者（注）のいずれにおいても、「販売価格が安い」が最も高い割合（林業者：86.3%、木材流通加工業者：69.8%）となった。次いで、林業者では「販売までの生産及び流通コストが高い」（49.1%）、「需要動向が把握しづらい」（23.1%）となり、木材流通加工業者では、「需要動向が把握しづらい」（39.9%）、「品質が一定しない」（25.8%）の順であった（図1）。

図1 製品を取り扱う上での問題点（複数回答）



注：「木材流通加工業者」とは、流通加工業者（木材関係）と同意である。

2 消費者の生活に取り入れやすいと考える国産材製品／消費者が生活に取り入れた い木材製品

林業者及び木材流通加工業者に、消費者の生活に取り入れやすいと考える国産材製品について尋ねたところ、林業者及び木材流通加工業者のいずれにおいても「内装」が約8割となり、最も高い割合を占めた。

一方、消費者に、生活に取り入れたい木材製品について尋ねたところ、「家具」が最も高い割合（40.7%）となり、次いで「内装」（34.6%）、「おもちゃ・遊具」（11.7%）となった（図2、3）。

図2 消費者の生活に取り入れやすいと考える国産材製品

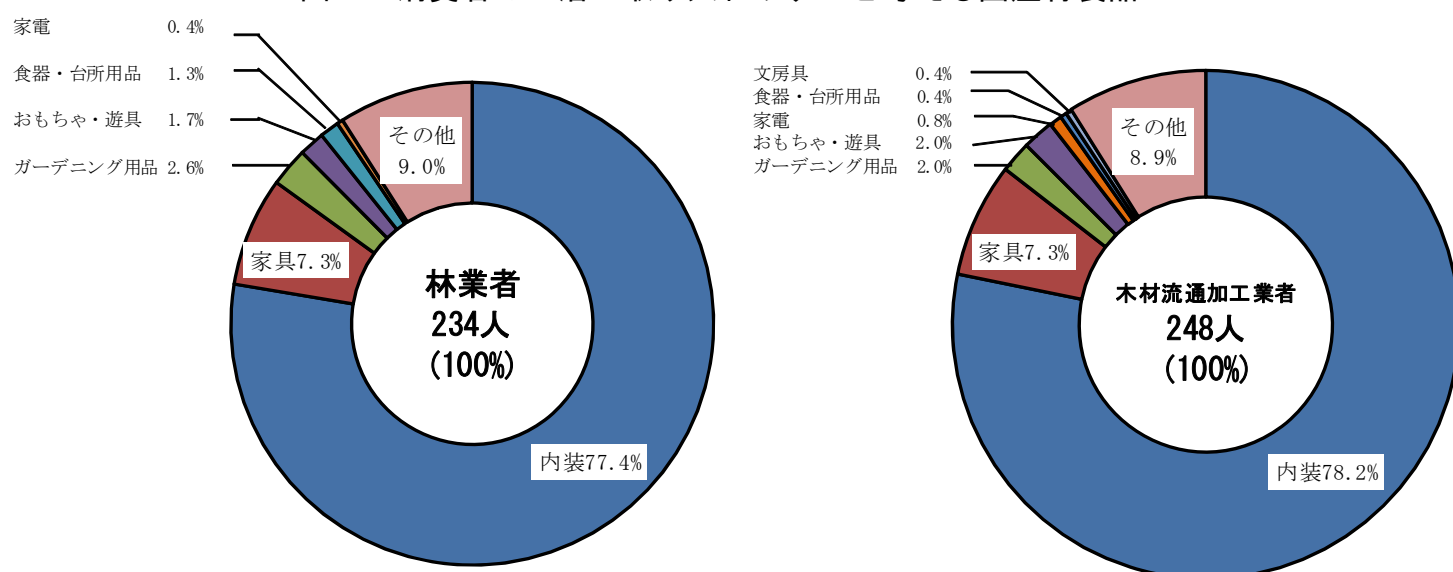
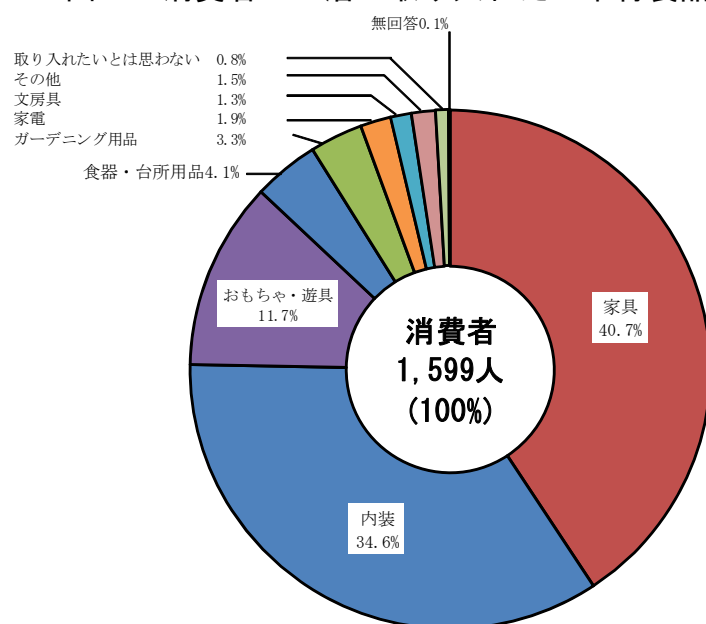


図3 消費者が生活に取り入れたい木材製品



注：各製品の詳細は以下のとおりである。

内装：家屋・事務所・事業所の内装など

家具：タンス、食器棚、テーブル、机など

食器・台所用品：スプーン、お皿、まな板など

文房具：ペン立て、書類トレイなど

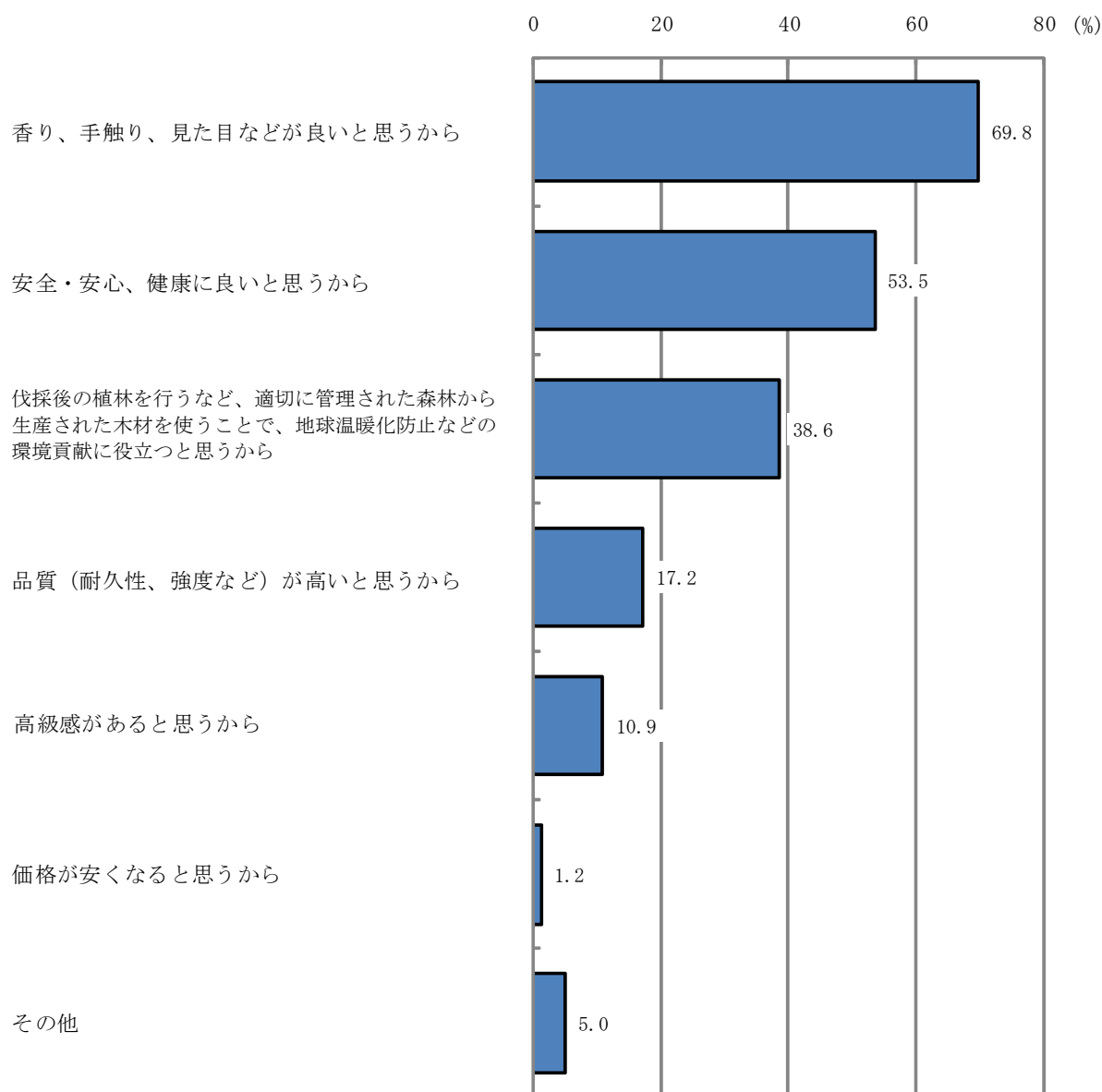
ガーデニング用品：プランターカバー、柵など

家電：オーディオ機器、携帯電話、デジカメなど

3 消費者が木材製品を取り入れたい理由

消費者に、木材製品を取り入れたいと思う理由について尋ねたところ、「香り、手触り、見た目などが良いと思うから」が最も高い割合（69.8%）となり、次いで、「安全・安心、健康に良いと思うから」（53.5%）、「伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材を使うことで、地球温暖化防止などの環境貢献に役立つと思うから」（38.6%）となった（図4）。

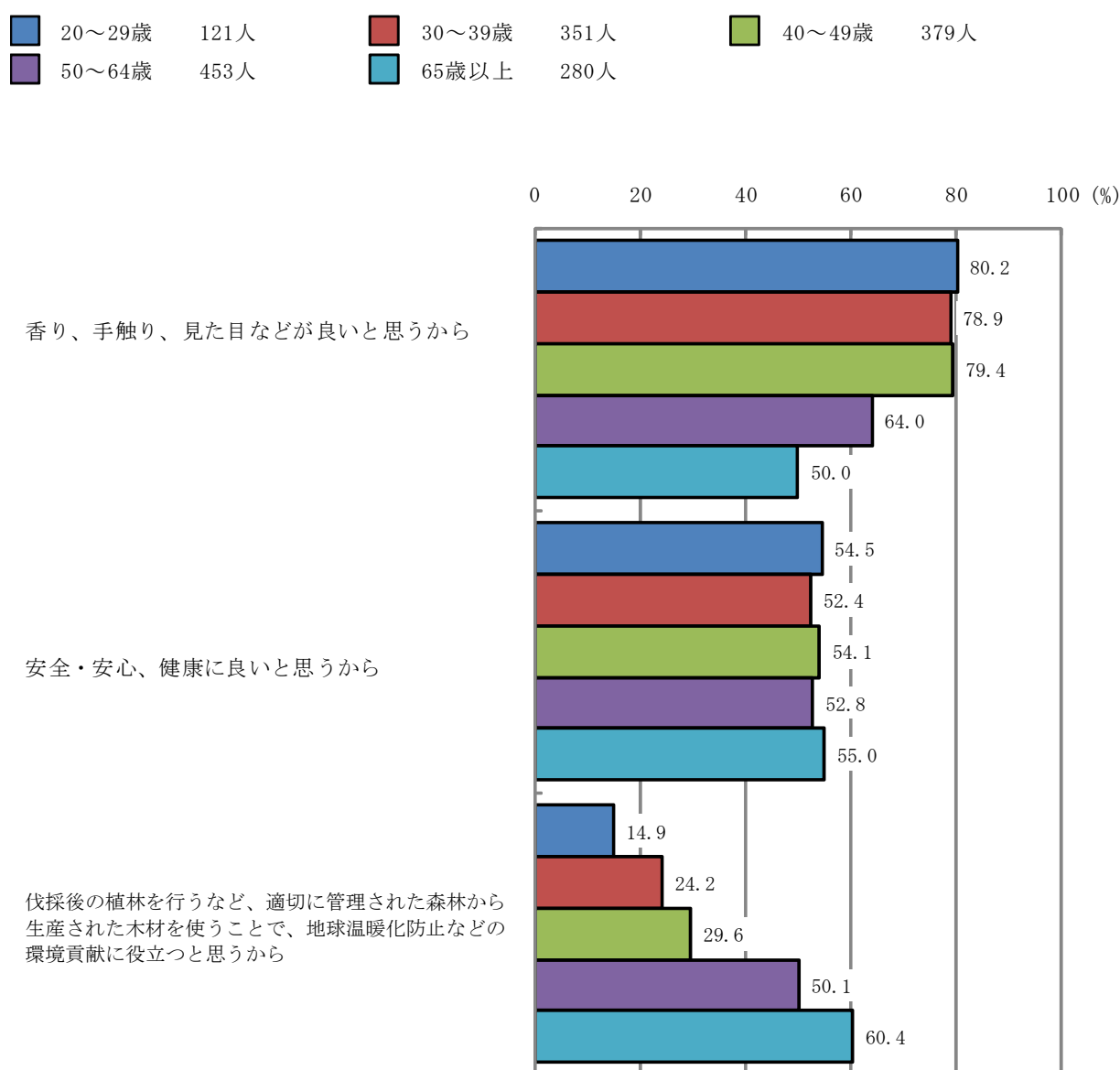
図4 消費者が木材製品を取り入れたい理由（複数回答）



注：「生活に木材製品を取り入れたい」と回答した1,584人の結果である。

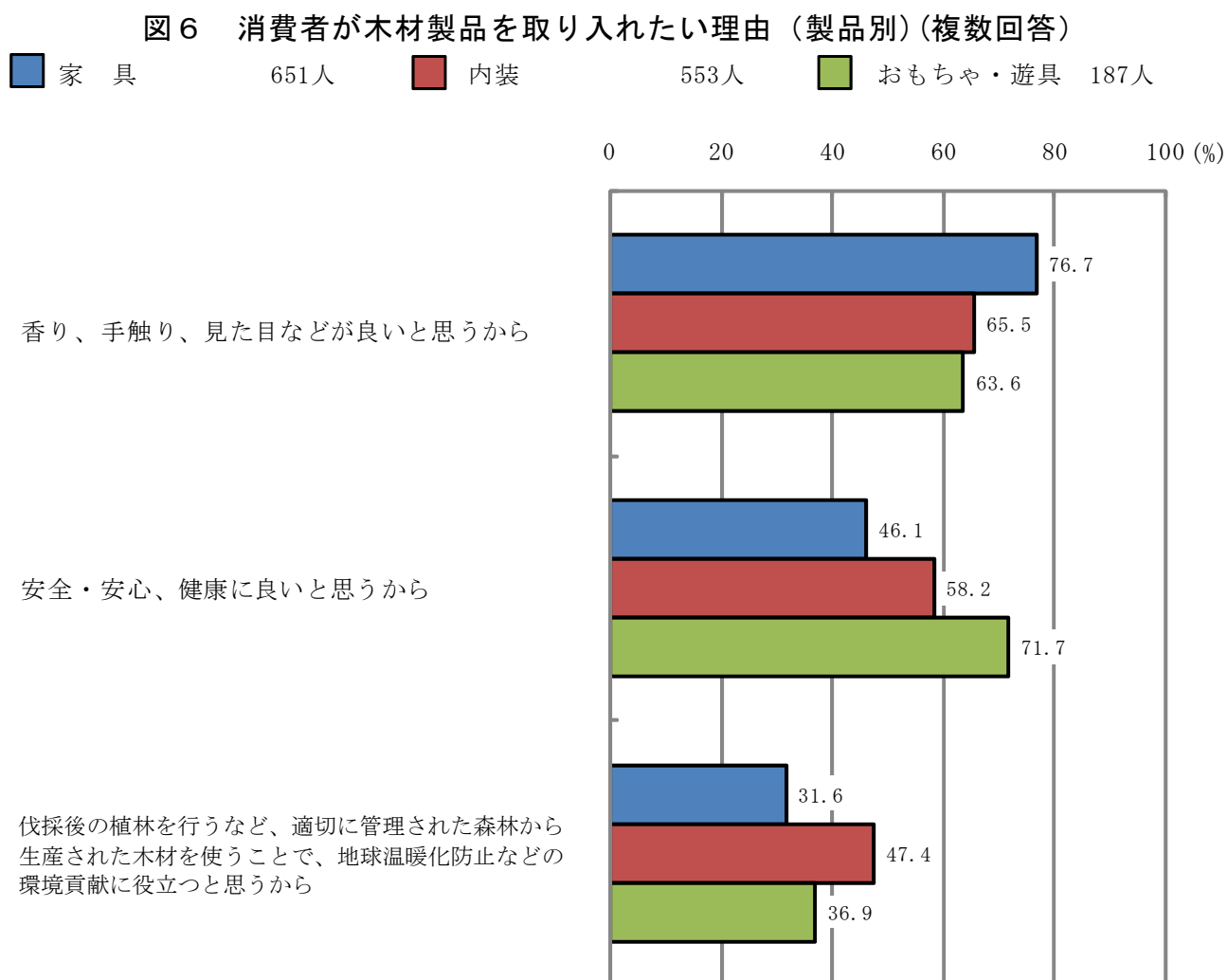
一方、木材製品を取り入れたいと思う理由のうち回答割合が高かった上位3つについて、消費者の年齢階層別にみると、「香り、手触り、見た目などが良いと思うから」と回答した割合は、20～40代の階層において約8割と高い結果となった。また、「安全・安心、健康に良いと思うから」と回答した割合はいずれの年齢階層においても約5割であり差がなかった。「伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材を使うことで、地球温暖化防止などの環境貢献に役立つと思うから」と回答した割合は、50代以上の階層において5～6割と高い結果となった（図5）。

図5 消費者が木材製品を取り入れたい理由（年齢階層別）（複数回答）



注： 「生活に木材製品を取り入れたい」と回答した1,584人の結果であり、凡例の人数は、その年齢階層に該当する回答者の人数である。

また、消費者が生活に取り入れたい木材製品のうち回答割合が高かった上位3つである、「家具」、「内装」、「おもちゃ・遊具」ごとに理由をみると、家具では、「香り、手触り、見た目などが良いと思うから」と回答した割合（76.7%）が、他の回答割合（内装:65.5%、おもちゃ・遊具:63.6%）に比べ高かった。また、おもちゃ・遊具では、「安全・安心、健康に良いと思うから」と回答した割合（71.7%）が、他の回答割合（内装:58.2%、家具:46.1%）に比べ高かった（図6）。

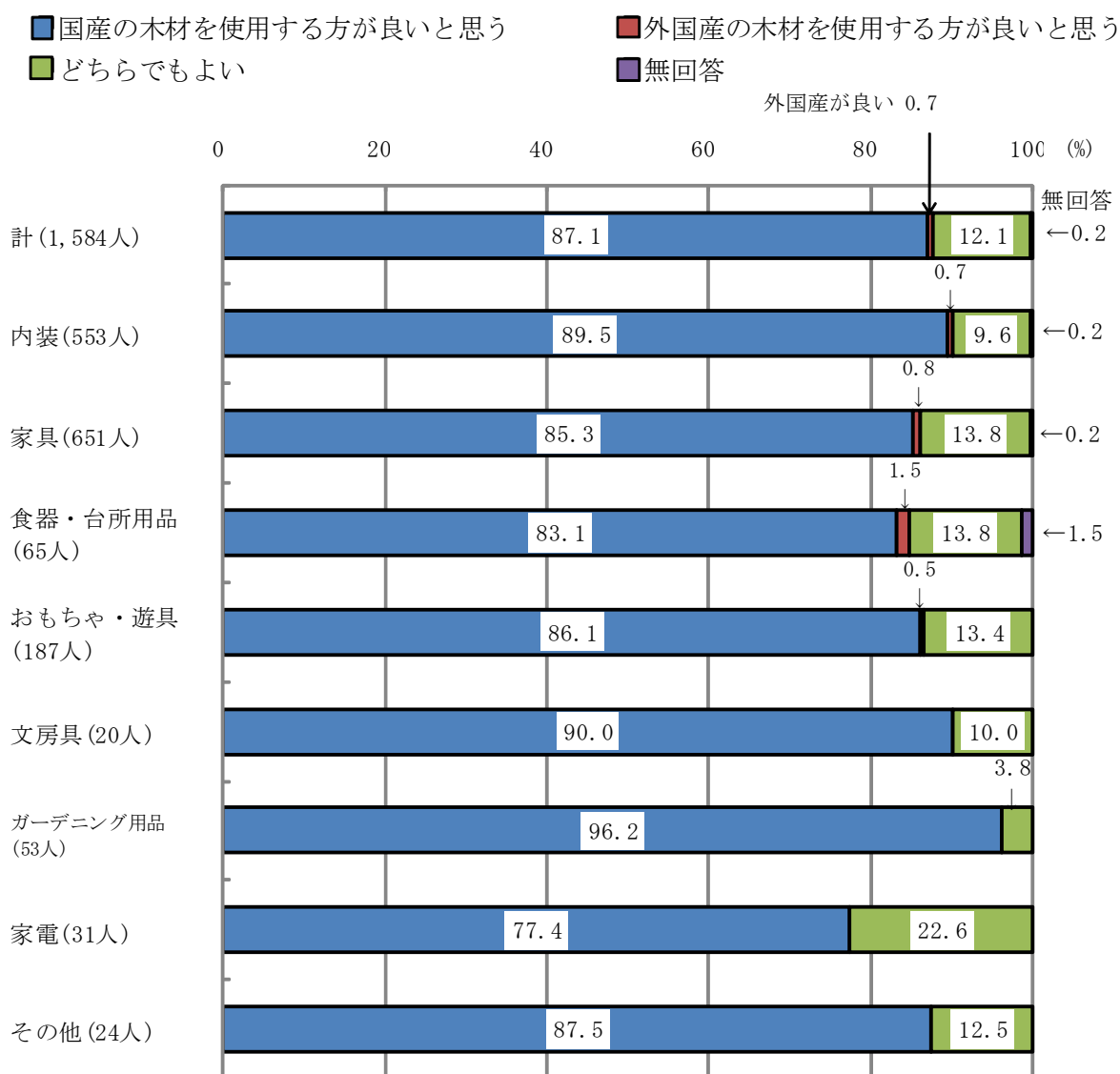


注： 「生活に木材製品を取り入れたい」と回答した1,584人のうち、取り入れたい木材製品として「家具」、「内装」、「おもちゃ・遊具」を選択した1,391人の結果であり、凡例の人数は、その製品を取り入れたいと回答した者の人数である。

4 国産材・外国産材製品に関する消費者の志向

木材を取り入れたいと回答した製品について、その製品に国産の木材と外国産の木材のどちらを使用する方が良いと思うか消費者に尋ねたところ、いずれの製品においても、「国産の木材を使用する方が良いと思う」と回答した割合が8～9割となり、製品による志向の違いはあまりみられなかった（図7）。

図7 国産材・外国産材製品に関する消費者の志向



注：1 「生活に木材製品を取り入れたい」と回答した1,584人の結果である。

X軸に記載している括弧書きの人数は、その製品を生活に取り入れたいと回答した者の人数である。

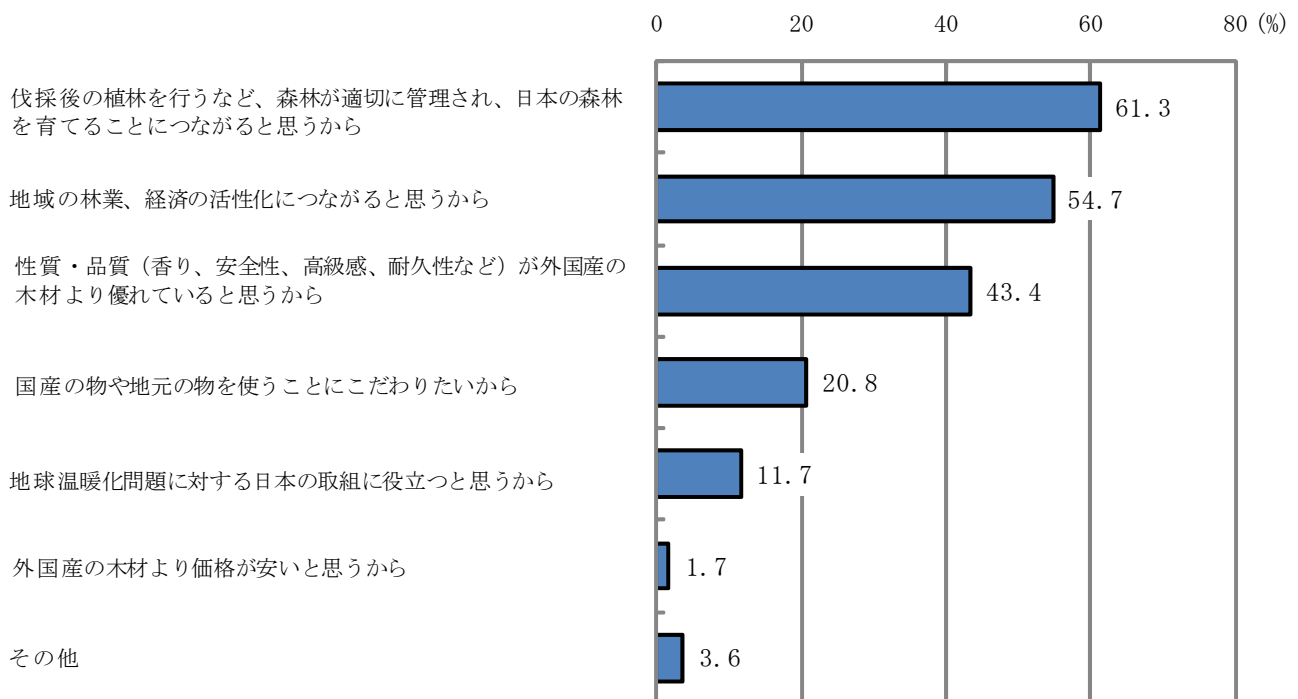
2 「外国産の木材を使用する方が良い」と考える回答者は、「文房具」、「ガーデニング用品」、「家電」、「その他」では0人である。

3 「無回答」は、「おもちゃ・遊具」、「文房具」、「ガーデニング用品」、「家電」、「その他」では0人である。

5 消費者が国産材製品を志向する理由

消費者に、木材製品に国産の木材を使用する方が良いと思う理由について尋ねたところ、「伐採後の植林を行うなど、森林が適切に管理され、日本の森林を育てることにつながると思うから」が最も高い割合（61.3%）となり、次いで「地域の林業、経済の活性化につながると思うから」（54.7%）、「性質・品質（香り、安全性、高級感、耐久性など）が外国産の木材より優れていると思うから」（43.4%）となった（図8）。

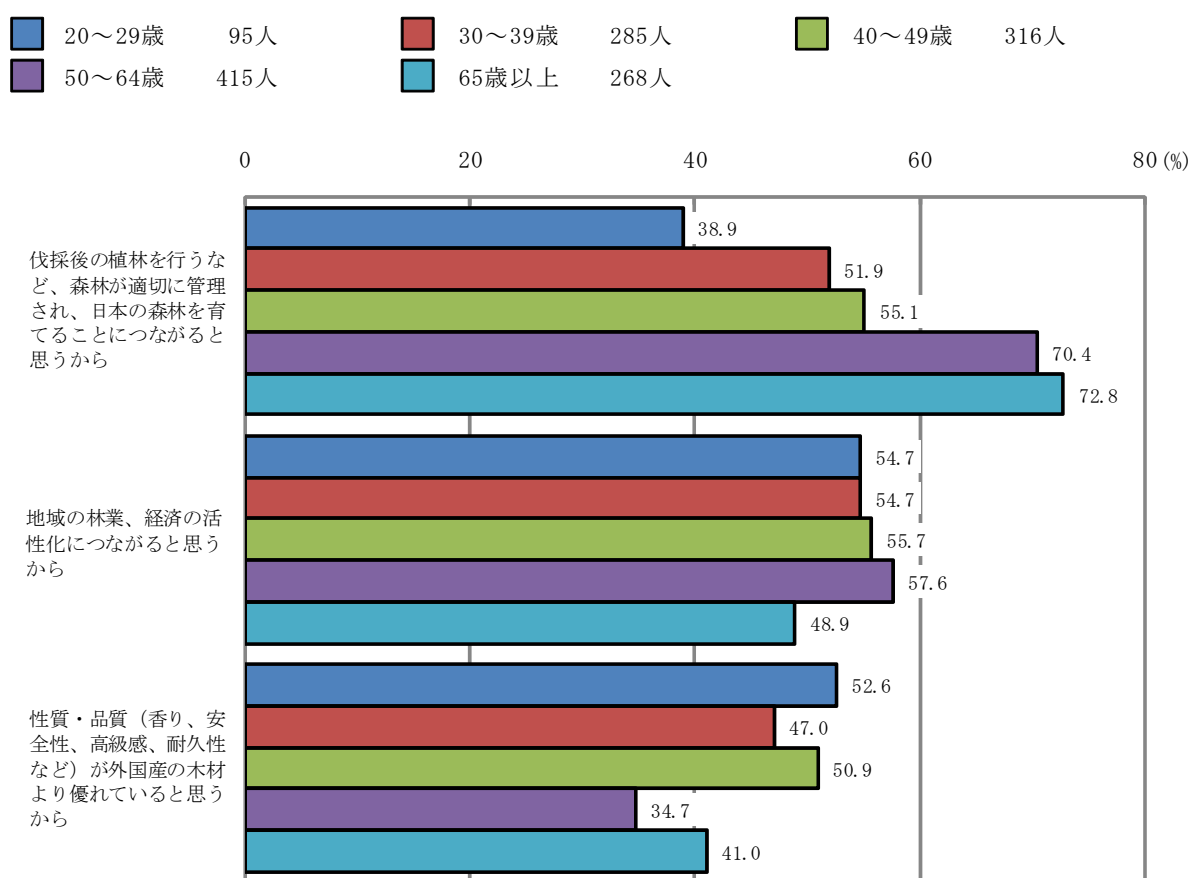
図8 消費者が国産材製品を志向する理由（複数回答）



注： 「生活に国産材を使用した木材製品を取り入れたい」と回答した1,379人の結果である。

一方、国産の木材を使用する方が良いと思う理由のうち回答割合が高かった上位3つについて、消費者の年齢階層別にみると、「伐採後の植林を行うなど、森林が適切に管理され、日本の森林を育てることにつながると思うから」と回答した割合は、50代以上の階層において7割以上と高い結果となった。また、「地域の林業、経済の活性化につながると思うから」と回答した割合はいずれの年齢階層においても5～6割と高く、「性質・品質（香り、安全性、高級感、耐久性など）が外国産の木材より優れていると思うから」と回答した割合は、20～40代の階層において5割と高かった（図9）。

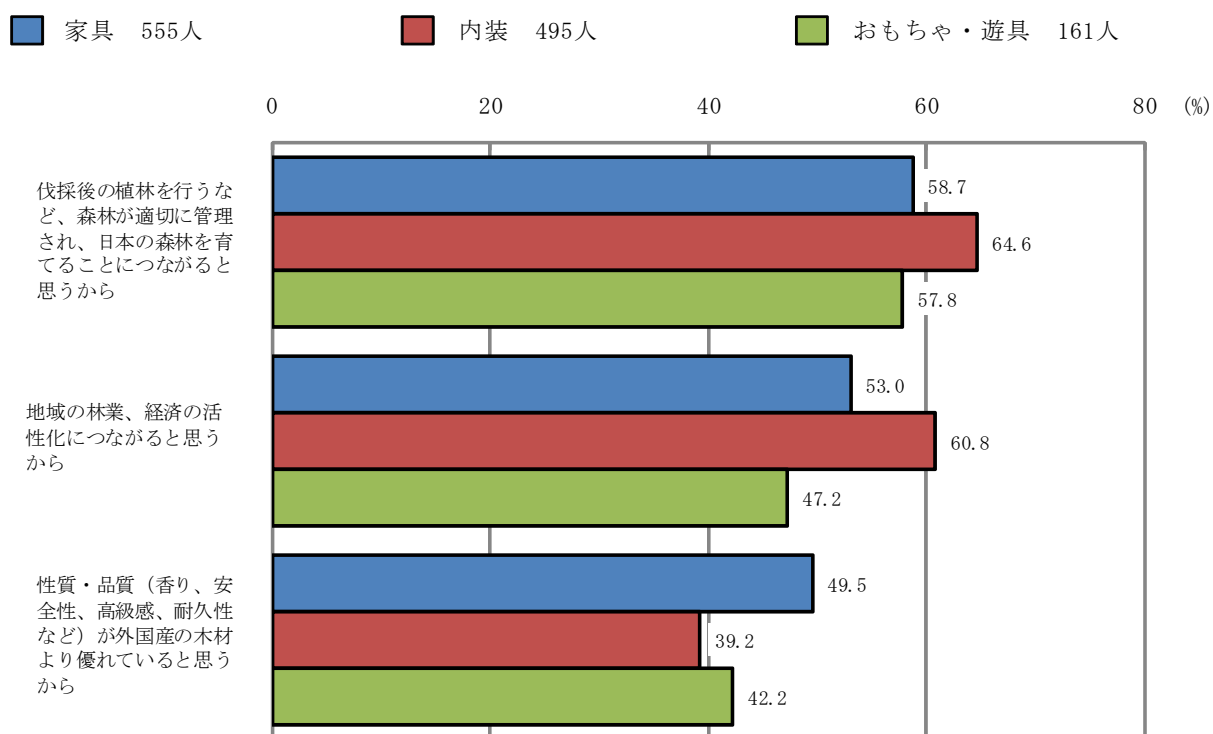
図9 消費者が国産材製品を志向する理由（年齢階層別：複数回答）



注： 「生活に国産材を使用した木材製品を取り入れたい」と回答した1,379人の結果であり、凡例の人数は、その年齢階層に該当する回答者の人数である。

また、消費者が生活に取り入れたい木材製品のうち回答割合が高かった上位3つである、「家具」、「内装」、「おもちゃ・遊具」ごとに国産材を志向する理由をみると、いずれの製品においても「伐採後の植林を行うなど、森林が適切に管理され、日本の森林を育てることにつながると思うから」と回答した割合が約6割と最も高かった。また、内装では、「地域の林業、経済の活性化につながると思うから」と回答した割合も約6割と高い結果を示した（図10）。

図10 消費者が国産材製品を志向する理由（製品別：複数回答）

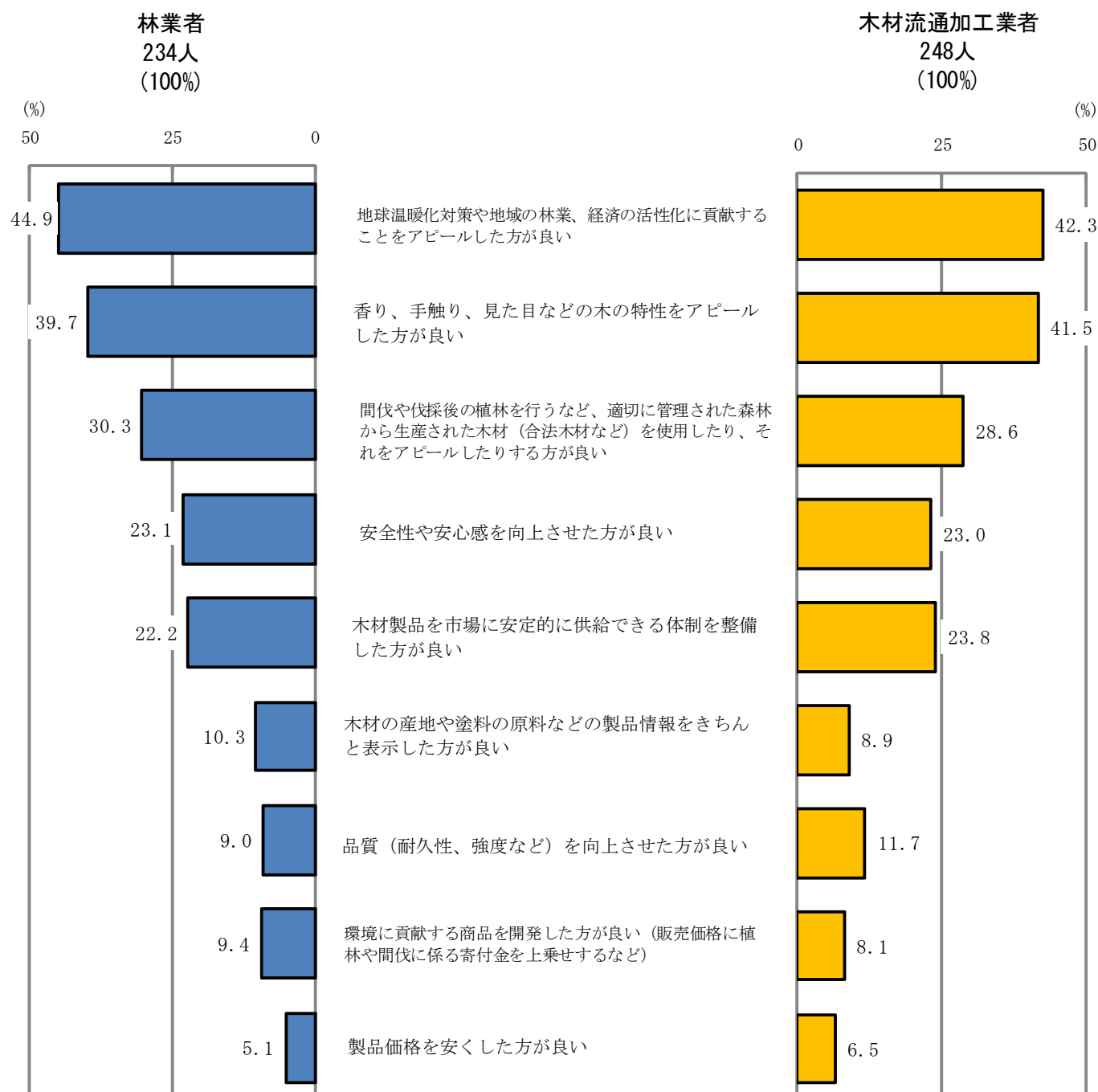


注： 「生活に国産材を使用した木材製品を取り入れたい」と回答した1,379人のうち、取り入れたい木材製品として「家具」、「内装」、「おもちゃ・遊具」を選択した1,211人の結果であり、凡例の人数は、その製品を取り入れたいと回答した者の人数である。

6 消費者に国産材製品を購入してもらうために必要と考える改善点

消費者に国産材製品を購入してもらうために必要と考える改善点について、林業者及び木材流通加工業者に尋ねたところ、いずれにおいても、「地球温暖化対策や地域の林業、経済の活性化に貢献することをアピールした方が良い」及び「香り、手触り、見た目などの木の特性をアピールした方が良い」と回答した割合が約4割と高く、次いで「間伐や伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材（合法木材など）を使用したり、それをアピールしたりする方が良い」が約3割、「安全性や安心感を向上させた方が良い」及び「木材製品を市場に安定的に供給できる体制を整備した方が良い」と回答した割合が約2割となった（図11）。

図11 消費者に国産材製品を購入してもらうために必要と考える改善点（複数回答）

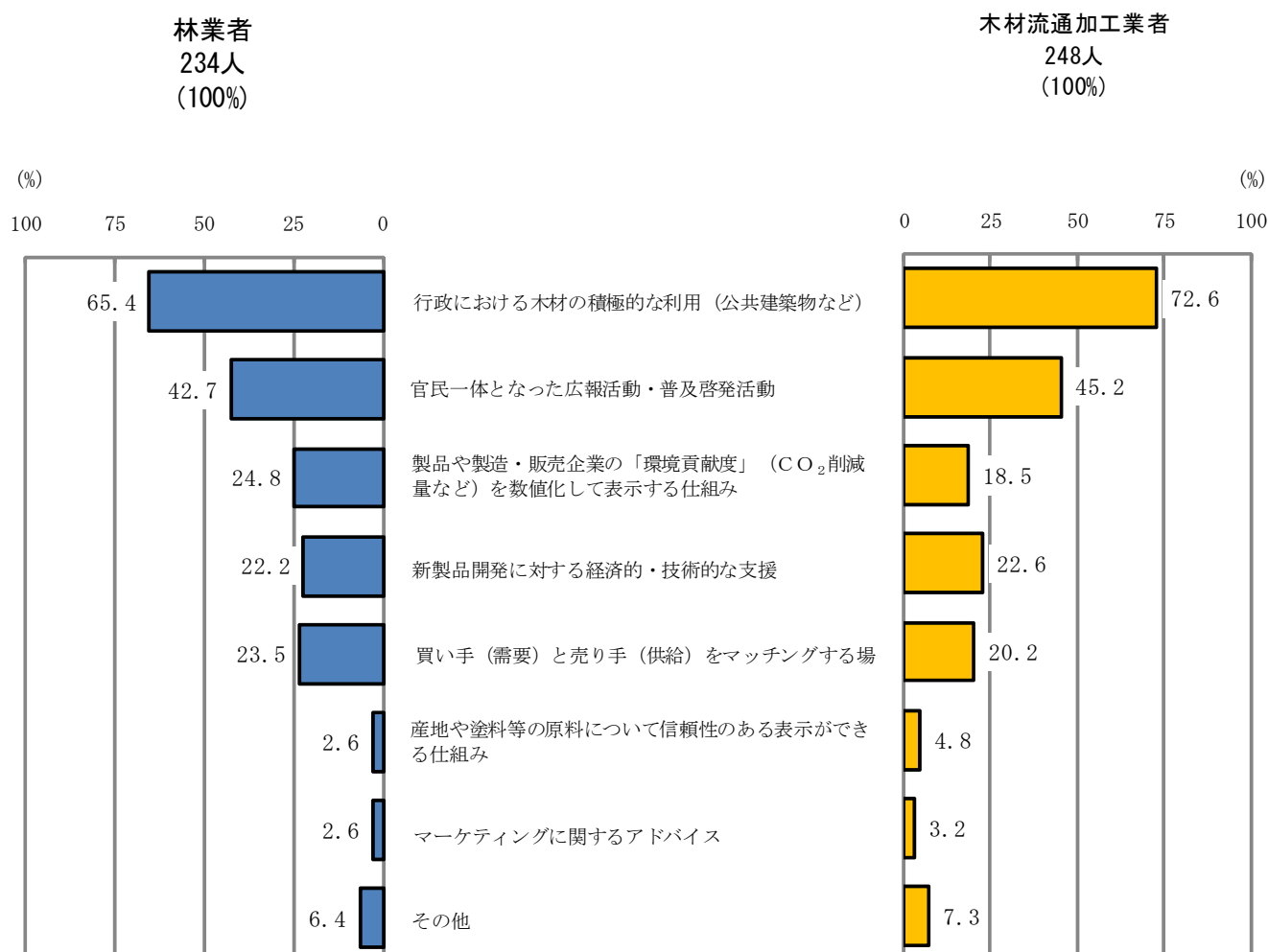


7 木材製品、材木の販売促進のために必要と考える行政サポート

木材製品、材木の販売促進のために必要と考える行政サポートについて尋ねたところ、林業者及び木材流通加工業者のいずれにおいても、「行政における木材の積極的な利用（公共建築物など）」が最も高い割合（林業者：65.4%、木材流通加工業者：72.6%）となり、次いで「官民一体となった広報活動・普及啓発活動」（林業者：42.7%、木材流通加工業者：45.2%）となった。

また、それらに続いて、「製品や製造・販売企業の「環境貢献度」（CO₂削減量など）を数値化して表示する仕組み」、「新製品開発に対する経済的・技術的な支援」及び「買い手（需要）と売り手（供給）をマッチングする場」と回答した割合が約2割となった（図12）。

図12 木材製品、材木の販売促進のために必要と考える行政サポート（複数回答）



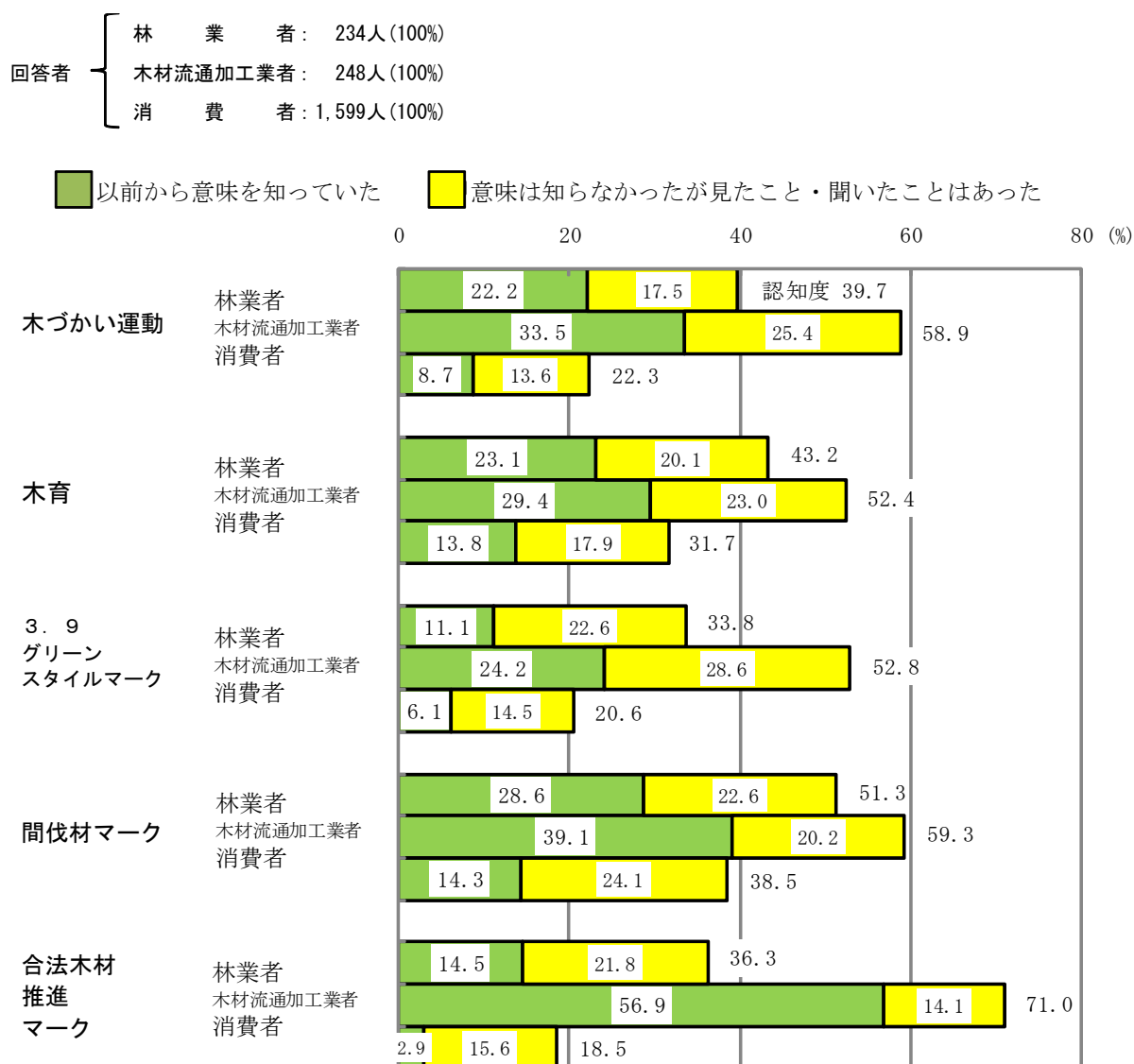
8 単語・マークの認知度

単語・マークの認知度について「意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった」まで含めると、林業者では、「間伐材マーク」の認知度が最も高く5割を超えており、次いで「木育」及び「木づかい運動」が約4割、「合法木材推進マーク」や「3.9 グリーンスタイルマーク」は3割台となった。

木材流通加工業者では、全体的に認知度が高く、いずれにおいても5割を超える結果となった。特に、「合法木材推進マーク」が約7割と最も高く、次いで「間伐材マーク」及び「木づかい運動」が約6割となった。

消費者では、林業者及び木材流通加工業者に比べて認知度が低く、認知度の最も高い「間伐材マーク」が約4割、次いで「木育」が約3割、「木づかい運動」、「3.9 グリーンスタイルマーク」及び「合法木材推進マーク」が約2割という結果となった(図13)。

図13 単語・マークの認知度



Ⅱ 森林の手入れに関する意識・意向について

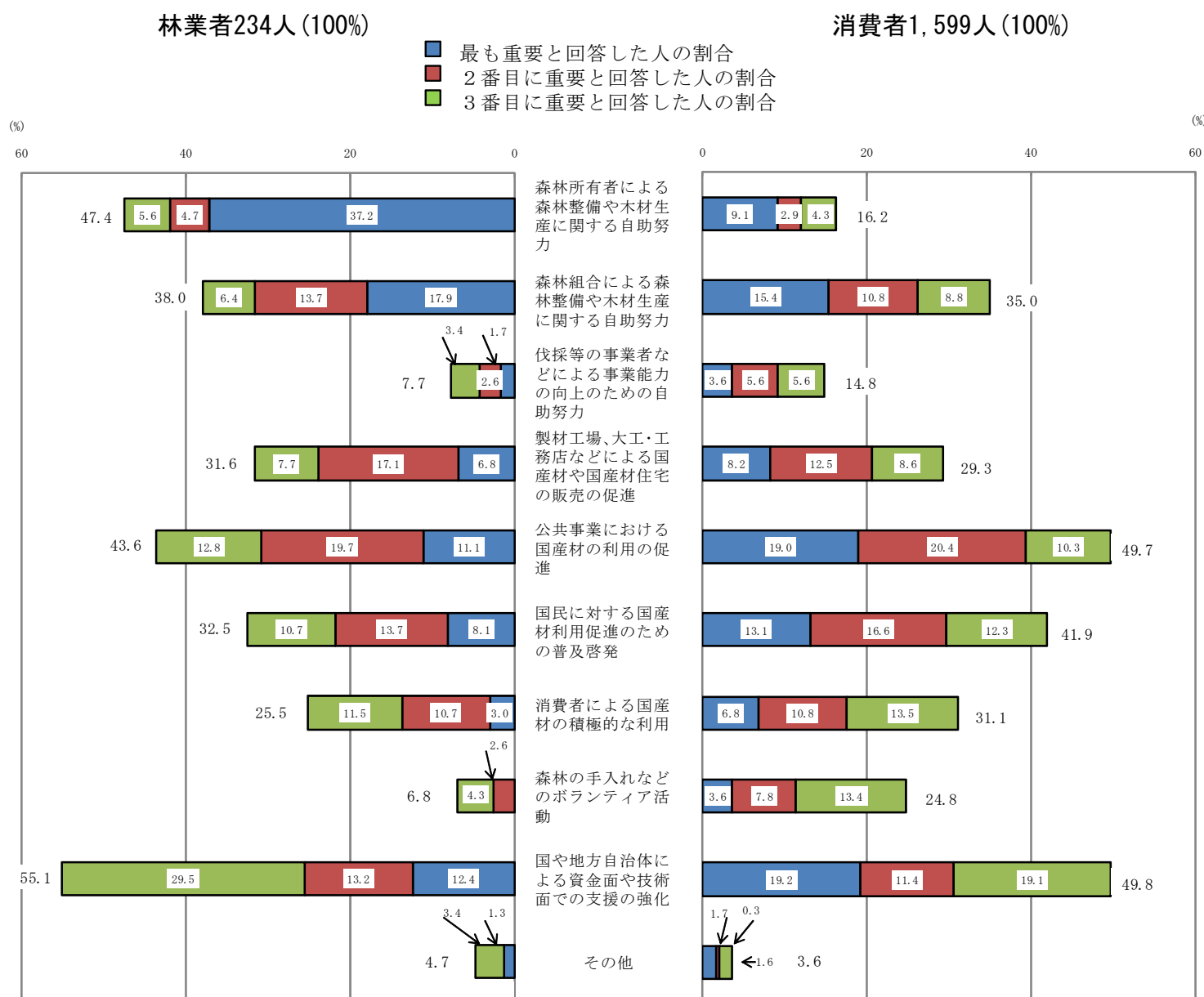
1 森林資源の循環利用促進のために重要と考える取組（強く思う順に3つまで回答）

森林資源の循環利用を促進するに当たって重要と考えることは何かとの問い（強く思う順に3つまで）に対して、林業者の37.2%が「森林所有者による森林整備や木材生産に関する自助努力」を、17.9%が「森林組合による森林整備や木材生産に関する自助努力」を最も重要と回答した。

これに、2番目、3番目に重要と回答した者を加えた合計でみると、「国や地方自治体による資金面や技術面での支援の強化」が55.1%と最も多かった。

一方、消費者の回答（「1～3番目に重要」の合計）は、「国や地方自治体による資金面や技術面での支援の強化」（49.8%）、「公共事業における国産材の利用の促進」（49.7%）、次いで「国民に対する国産材利用促進のための普及啓発」（41.9%）であった（図14）。

図14 森林資源の循環利用促進のために重要と考える取組（強く思う順に3つまで回答）



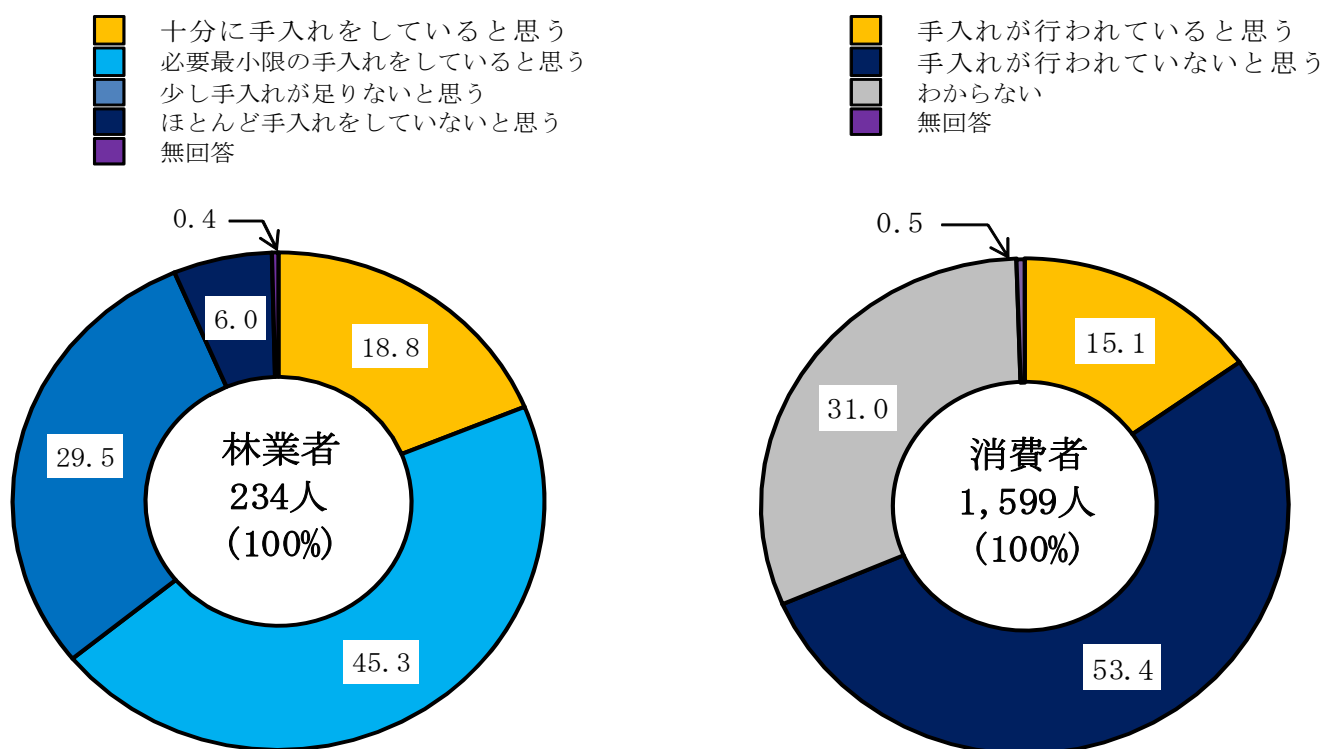
2 森林の手入れに関する意識

(1) 森林の手入れの状況

林業者に対し、自らが所有している森林の手入れの状況を尋ねたところ、「十分にしていると思う」は2割にも達しなかった。

また、消費者に対し、「周囲の森林」や「目にした森林」の手入れの状況について尋ねたところ、半数以上が「行われていないと思う」を選択した(図15)。

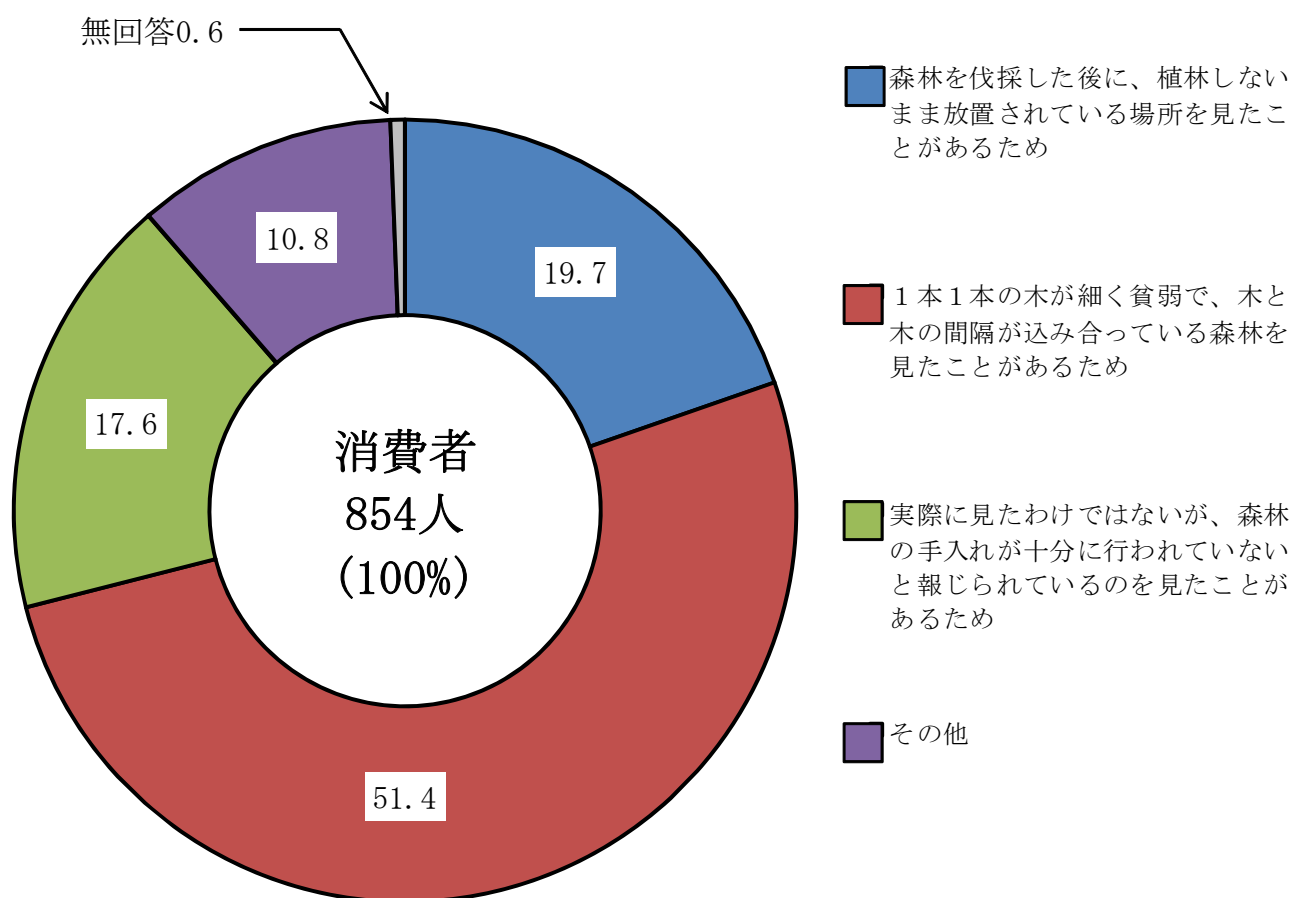
図15 森林の手入れの状況



(2) 消費者が森林の手入れが不十分だと思う理由

「周囲の森林」や「目にした森林」の手入れについて、「行われていないと思う」と回答した消費者に対し、そのように思う理由を尋ねたところ、「1本1本の木が細く貧弱で、木と木の間隔が込み合っている森林を見たことがあるため」が51.4%と最も多く、次いで「森林を伐採した後に、植林しないまま放置されている場所を見たことがあるため」が19.7%、「実際に見たわけではないが、森林の手入れが十分に行われていないと報じられているのを見たことがあるため」が17.6%、「実際に見たわけではないが、森林の手入れが十分に行われていないと報じられているのを見たことがあるため」が17.6%であった(図16)。

図16 消費者が森林の手入れが不十分だと思う理由



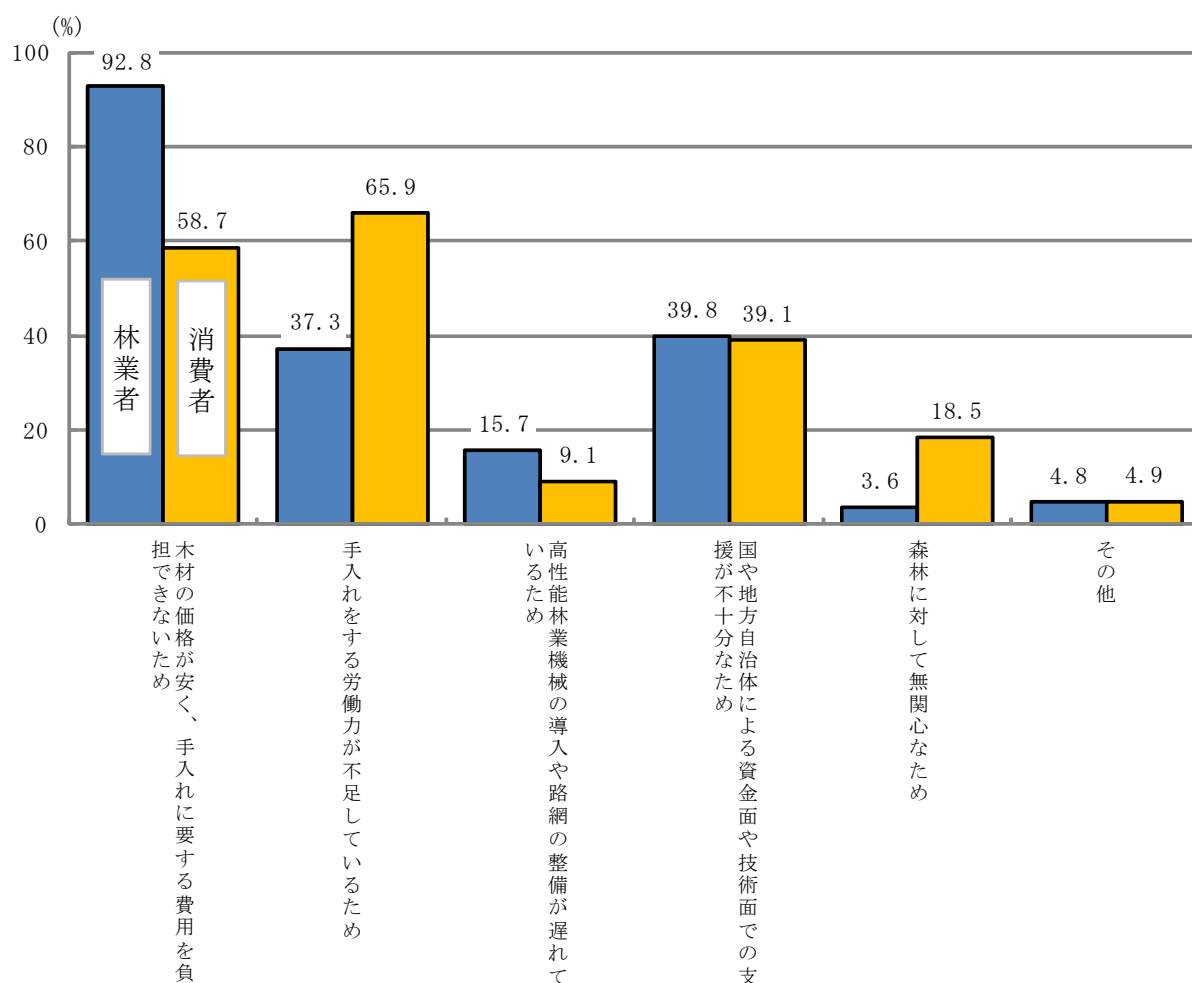
注： 「周囲の森林」や「目にした森林」の手入れについて、「行われていないと思う」と回答した消費者の結果である。

(3) 森林の手入れが十分でない原因（２つまで回答）

所有森林の手入れが「少し足りない」又は「ほとんどしていない」と回答した林業者に対し、森林の手入れが十分でない原因を尋ねたところ、「木材の価格が安く、手入れの費用を負担できないため」が92.8%と最も高く、次いで「労働力不足」と「国等の支援が不十分」がそれぞれ約４割ずつであった。

一方、「周囲の森林」や「目にした森林」の手入れが「行われていない」と回答した消費者では、「労働力不足」が65.9%と最も高く、次いで「木材の価格が安く、費用を負担できないため」が58.7%であった(図17)。

図17 森林の手入れが十分でない原因（２つまで回答）



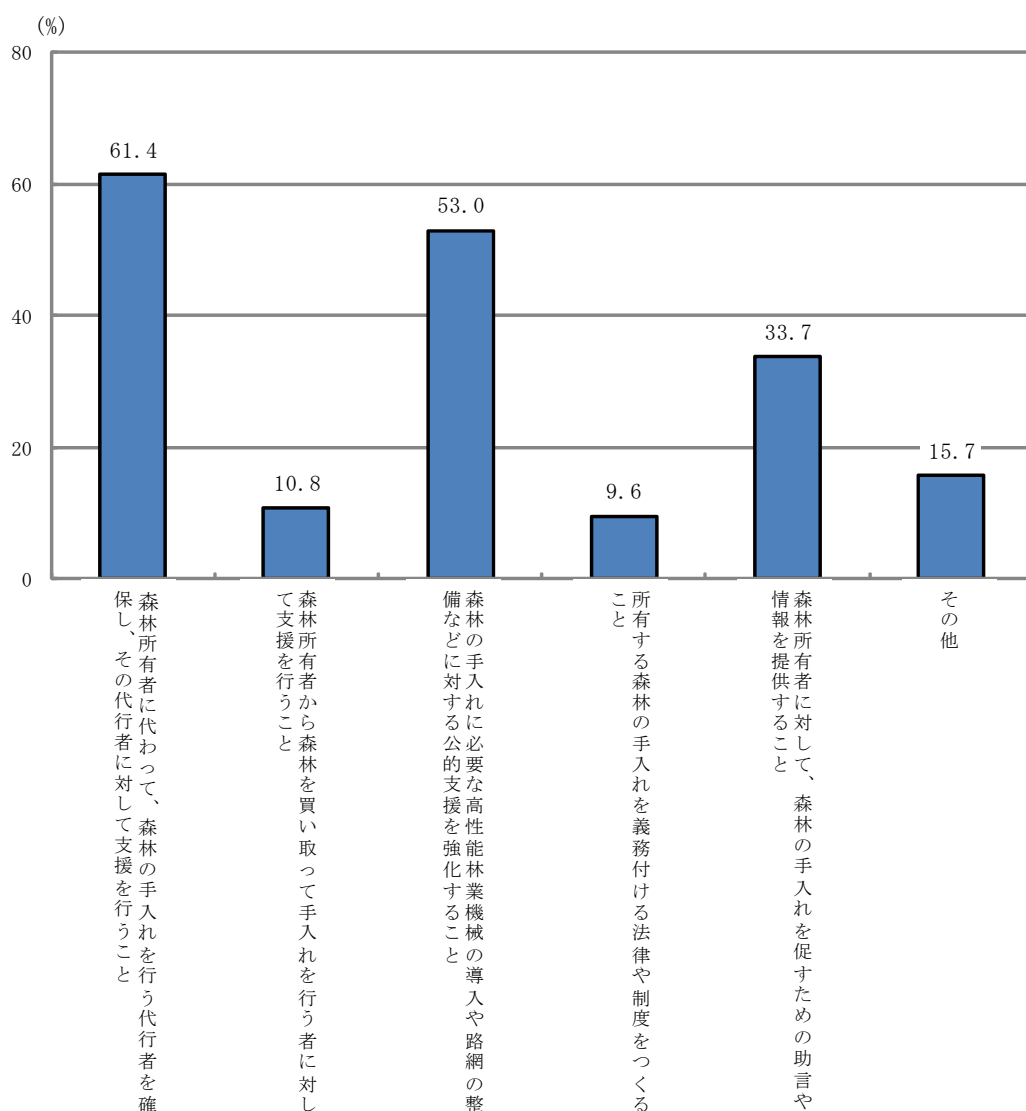
注： 林業者は、「所有している森林」の手入れについて「少し足りないと思う」又は「ほとんどしていないと思う」と回答した者に対する結果である。

消費者は、「周囲の森林」や「目にした森林」の手入れについて「行われていないと思う」と回答した者に対する結果である。

(4) 手入れが十分でない森林を整備するために林業者が効果的と考える方策
(2つまで回答)

所有森林の手入れについて「少し足りないと思う」又は「ほとんどしていないと思う」と回答した林業者に、森林を整備するために効果的と考える方策を尋ねたところ、「森林所有者に代わって、森林の手入れを行う代行者を確保し、その代行者に対して支援を行うこと」の割合が61.4%と最も高く、次いで「森林の手入れに必要な高性能林業機械の導入や路網の整備などに対する公的支援を強化すること」が53.0%であった(図18)。

図18 手入れが十分でない森林を整備するために林業者が効果的と考える方策(2つまで回答)



注：1 「所有している森林」の手入れについて、「少し足りないと思う」又は「ほとんどしていないと思う」と回答した林業者の結果である。

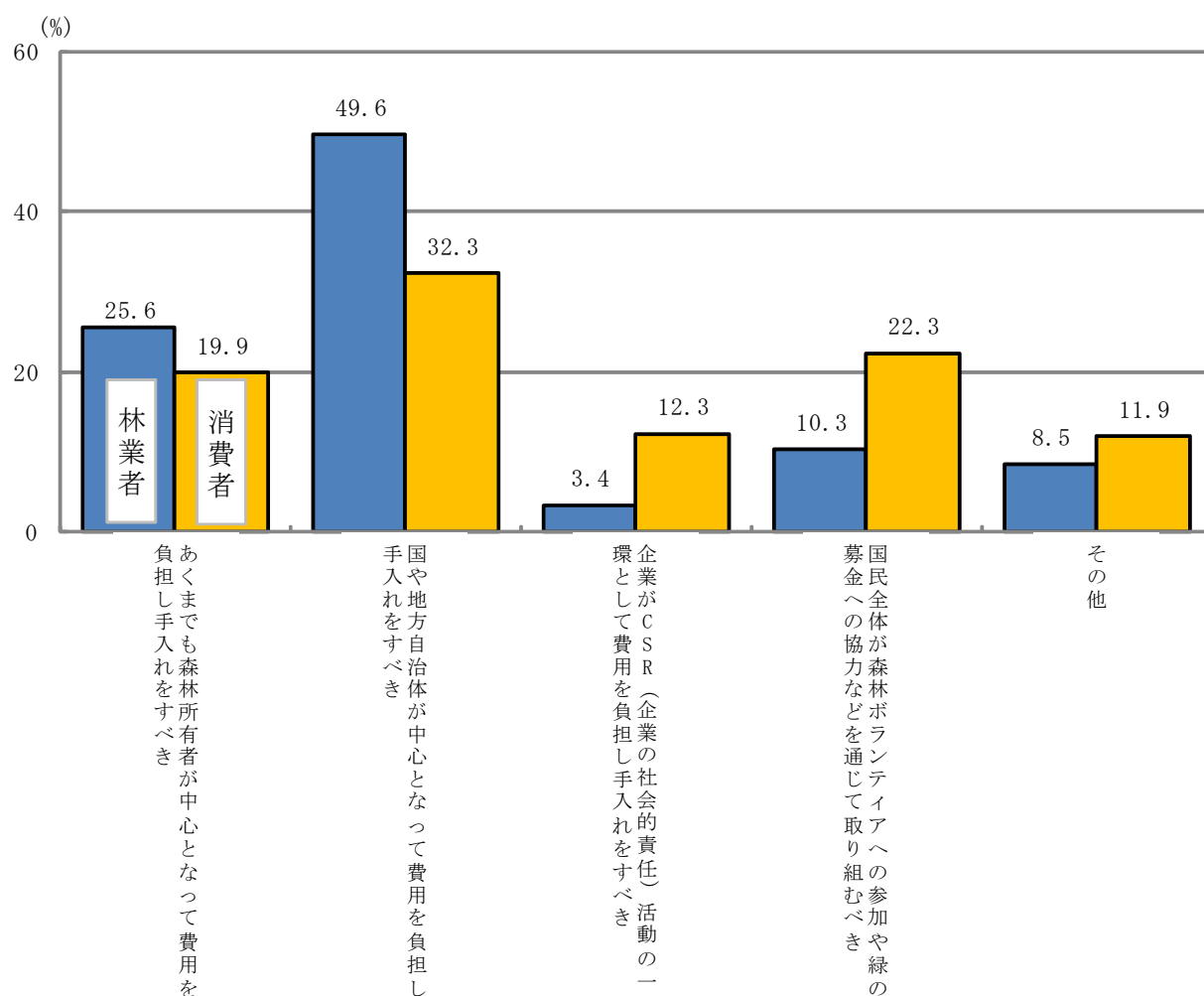
2 「路網」とは、森林内にある公道、林道、作業道の総称、又はそれらを適切に組み合わせたものをいう。

3 手入れが不十分な私有林の手入れを行うべき者

私有林の所有者が森林の手入れを十分に行っていない場合、誰が手入れを行うべきかを尋ねたところ、林業者、消費者ともに「国や地方自治体を中心となって費用を負担し手入れをすべき」と回答した割合が最も高かった（林業者：49.6%、消費者：32.3%）。

次いで、林業者では「あくまでも森林所有者が中心となって費用を負担し手入れをすべき」が25.6%、消費者では「国民全体が森林ボランティアへの参加や緑の募金への協力などを通じて取り組むべき」が22.3%であった（図19）。

図19 手入れが不十分な私有林の手入れを行うべき者



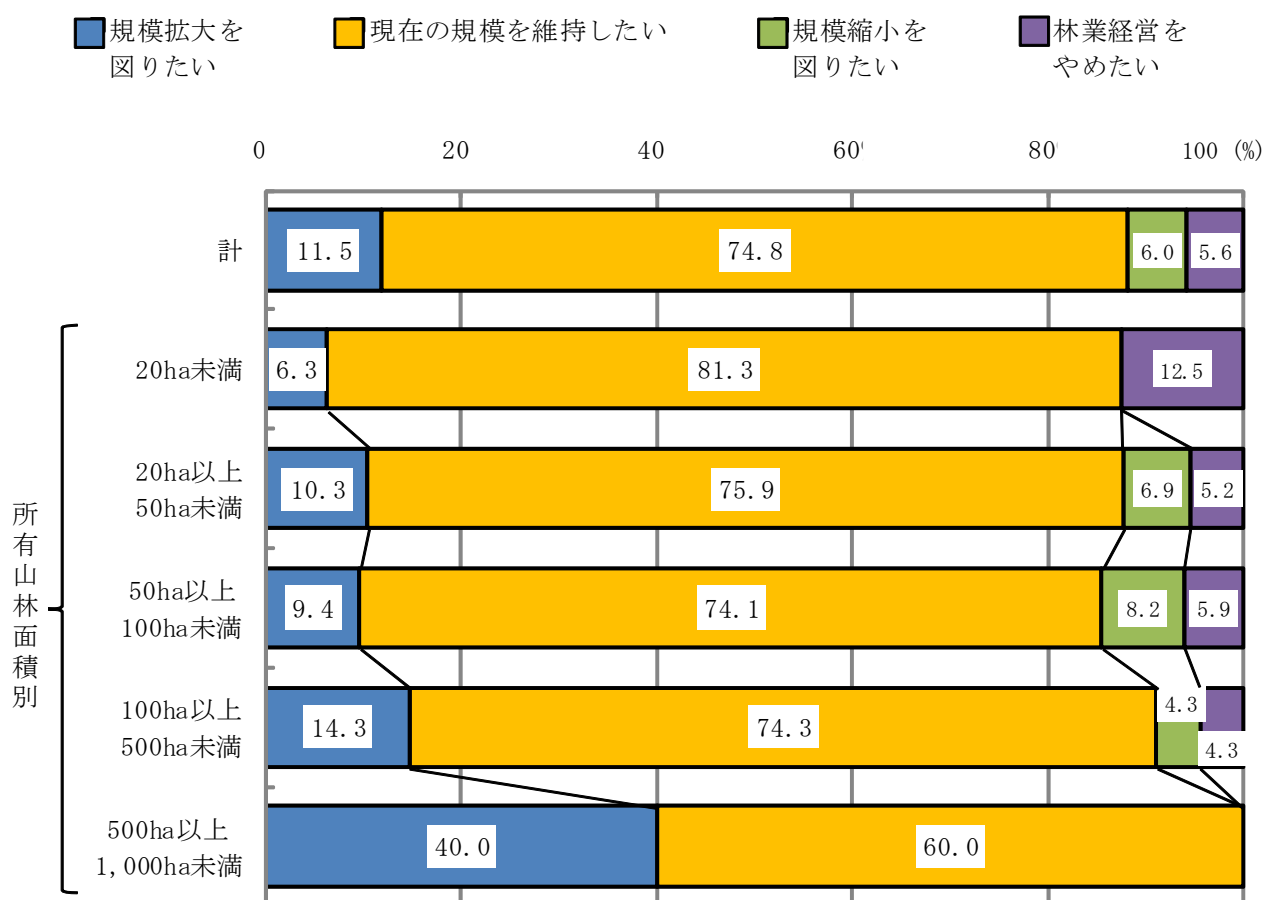
4 林業経営に関する林業者の意向

(1) 林業経営規模

林業経営の規模については、「現在の規模を維持したい」と回答した割合が74.8%と最も高く、「規模拡大を図りたい」は11.5%、「規模縮小を図りたい」は6.0%であった。このほか、5.6%が「経営をやめたい」と回答した。

これを所有山林面積別にみると、「現在の規模を維持したい」が全ての階層で6～8割程度と、最も高い割合を占めた(図20)。

図20 林業経営規模の意向（所有山林面積別）



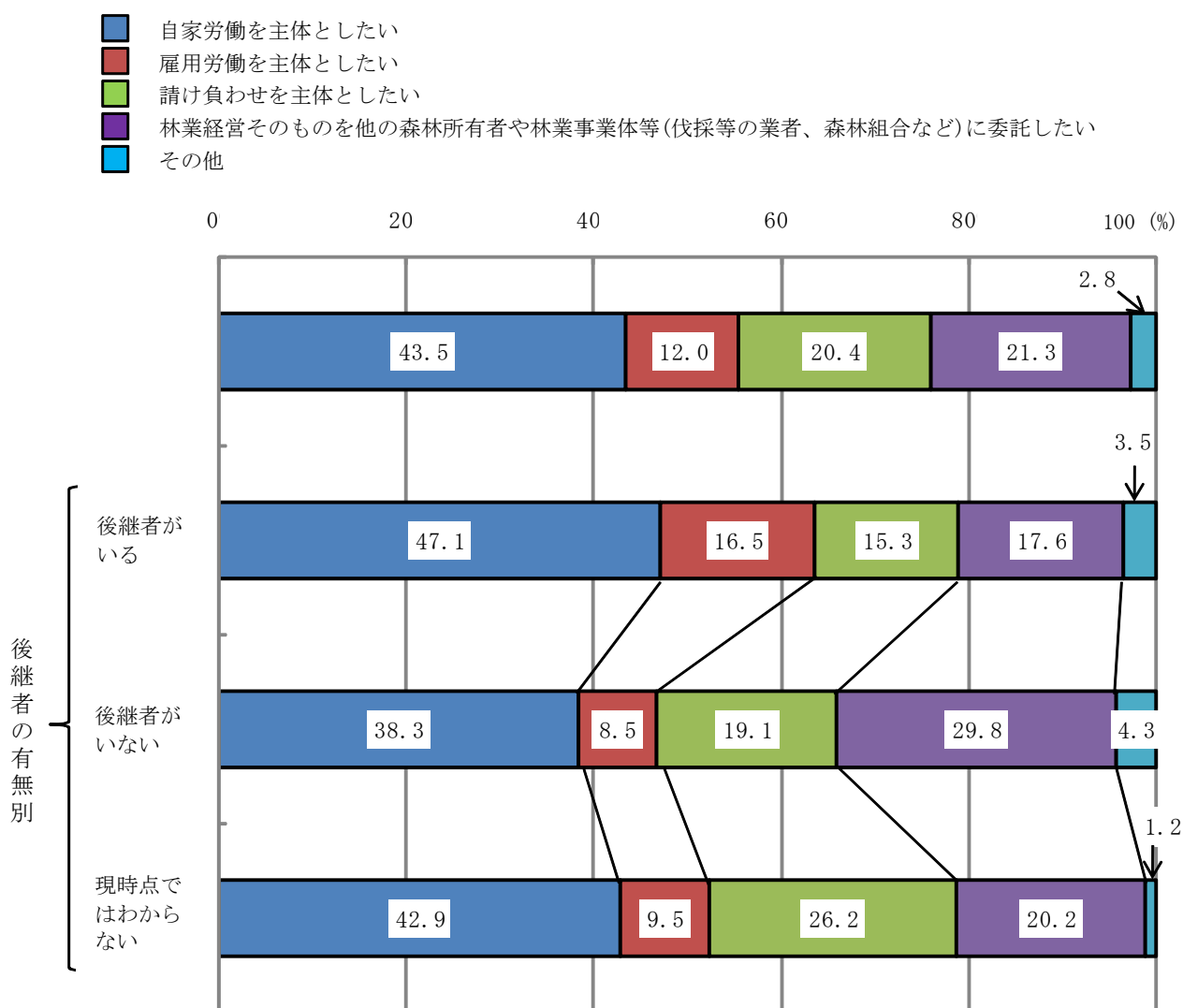
注：1,000ha以上は回答者無し

(2) 森林の手入れの主体

森林の手入れの主体については、「自家労働を主体としたい」と回答した割合が43.5%と最も高く、次いで「林業経営そのものを他の森林所有者や林業事業体等（伐採等の業者、森林組合など）に委託したい」が21.3%、「請け負わせを主体としたい」が20.4%であった。

これを後継者の有無別にみると、「請け負わせを主体としたい」と「林業経営そのものを他の森林所有者や林業事業体等に委託したい」を選択した割合は、「後継者がいない」林業者は「後継者がいる」に比べ、それぞれ高かった（図21）。

図21 森林の手入れの主体の意向（後継者の有無別）



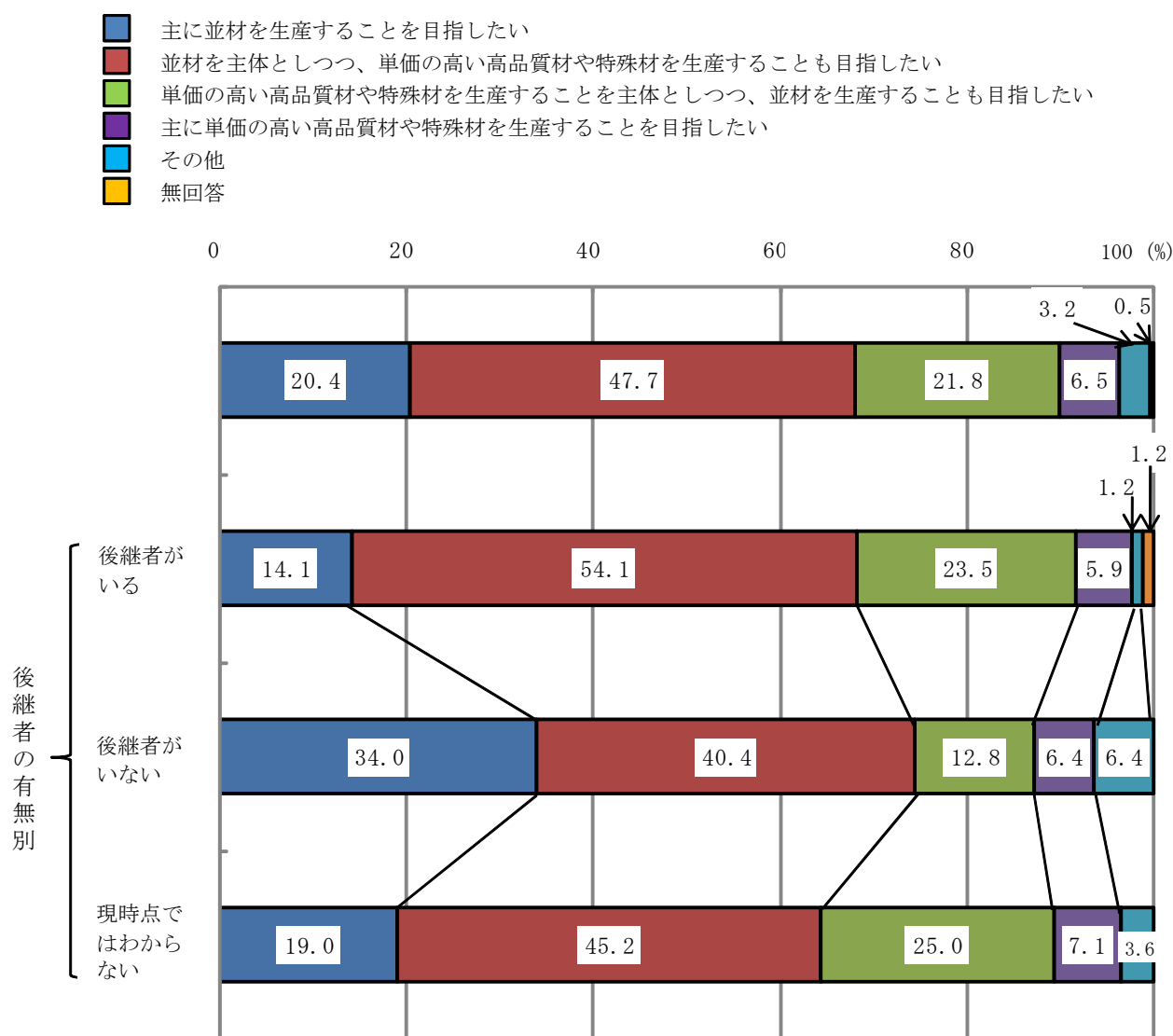
注： 今後の林業経営について、「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかの意向を持つ林業者の結果である。

(3) 木材の生産目標

木材の生産目標については、「並材を主体としつつ、単価の高い高品質材や特殊材を生産することも目指したい」と回答した割合が47.7%と最も高く、次いで「単価の高い高品質材や特殊材を生産することを主体としつつ、並材を生産することも目指したい」が21.8%、「主に並材を生産することを目指すしたい」が20.4%であった。

これを後継者の有無別にみると、「後継者がいない」林業者は「後継者がいる」に比べ、「主に並材を生産することを目指すしたい」を選択した割合が34.0%と高かった(図22)。

図22 木材の生産目標（後継者の有無別）



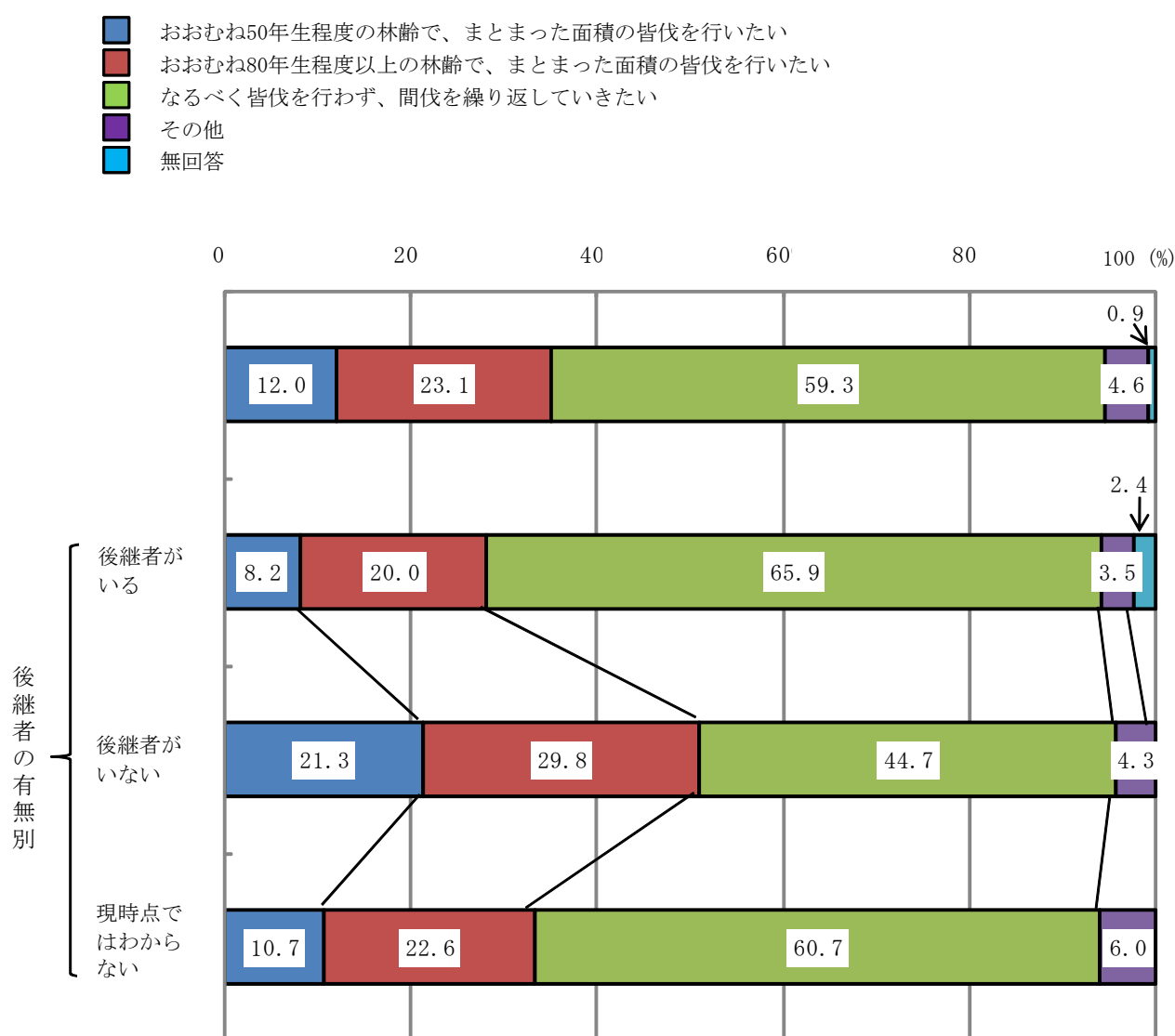
注： 今後の林業経営について、「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかの意向を持つ林業者の結果である。

(4) 伐採方法

伐採方法については、「なるべく皆伐を行わず、間伐を繰り返していきたい」と回答した割合が59.3%と最も高く、次いで「おおむね80年生程度以上の林齢で、まとまった面積の皆伐を行いたい」が23.1%、「おおむね50年生程度の林齢で、まとまった面積の皆伐を行いたい」が12.0%であった。

これを後継者の有無別にみると、「後継者がいる」林業者は「後継者がいない」に比べ、「なるべく皆伐を行わず、間伐を繰り返していきたい」を選択した割合が65.9%と高かった(図23)。

図23 伐採方法の意向（後継者の有無別）



注： 今後の林業経営について、「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかの意向を持つ林業者の結果である。

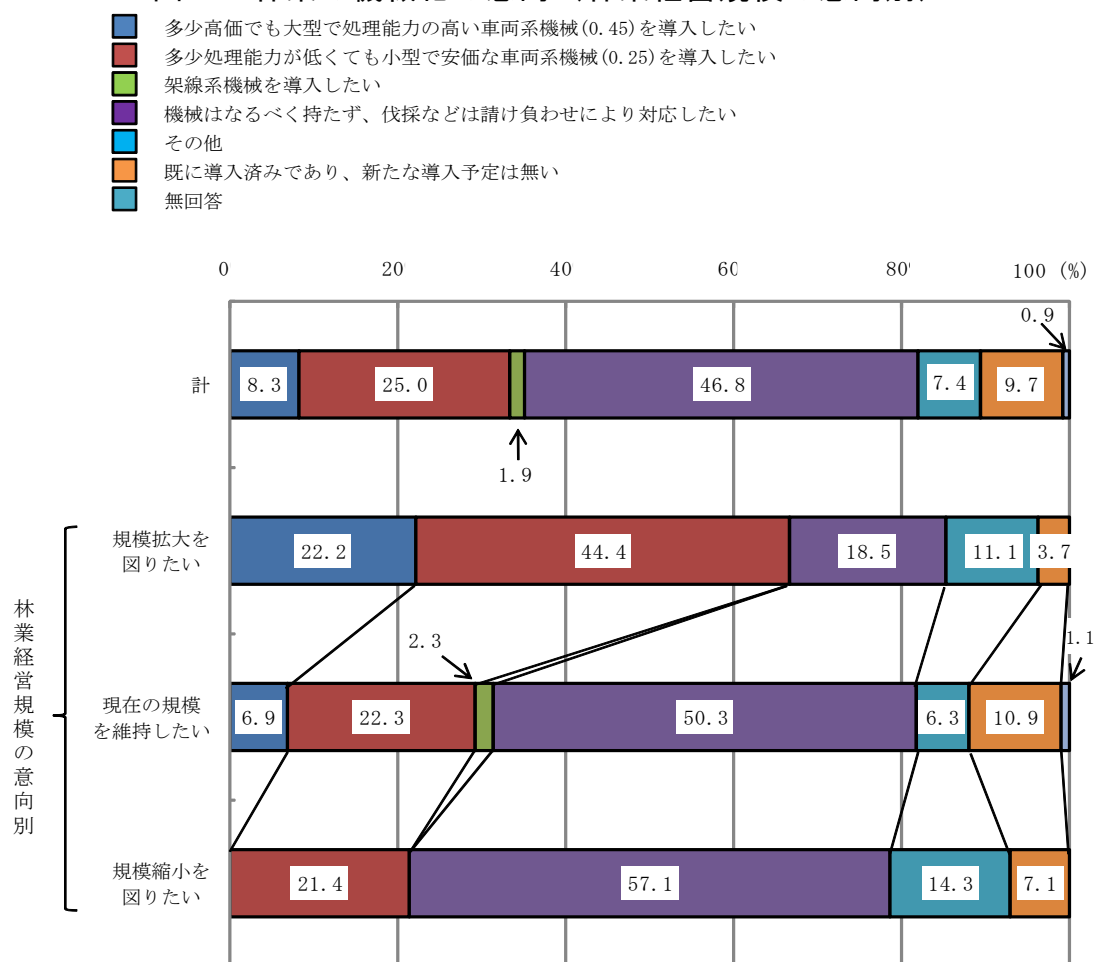
(5) 林業の機械化

林業の機械化（高性能林業機械等の導入）については、「機械はなるべく持たず、伐採などは請け負わせにより対応したい」と回答した割合が46.8%と最も高く、次いで「多少処理能力が低くても小型で安価な車両系機械(0.25)を導入したい」が25.0%であった。

これを林業経営規模の意向別にみると、「規模拡大を図りたい」とする林業者では「多少高価でも大型で処理能力の高い車両系機械(0.45)を導入したい」と「多少処理能力が低くても小型で安価な車両系機械(0.25)を導入したい」の割合が、合わせて6割以上を占めた。

一方、「規模縮小を図りたい」とする林業者は、「多少高価でも大型で処理能力の高い車両系機械(0.45)を導入したい」と回答した者は全くおらず、「機械はなるべく持たず、伐採などは請け負わせにより対応したい」と回答した割合が過半数を占めた(図24)。

図24 林業の機械化の意向（林業経営規模の意向別）



注：1 今後の林業経営について、「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかの意向を持つ林業者の結果である。

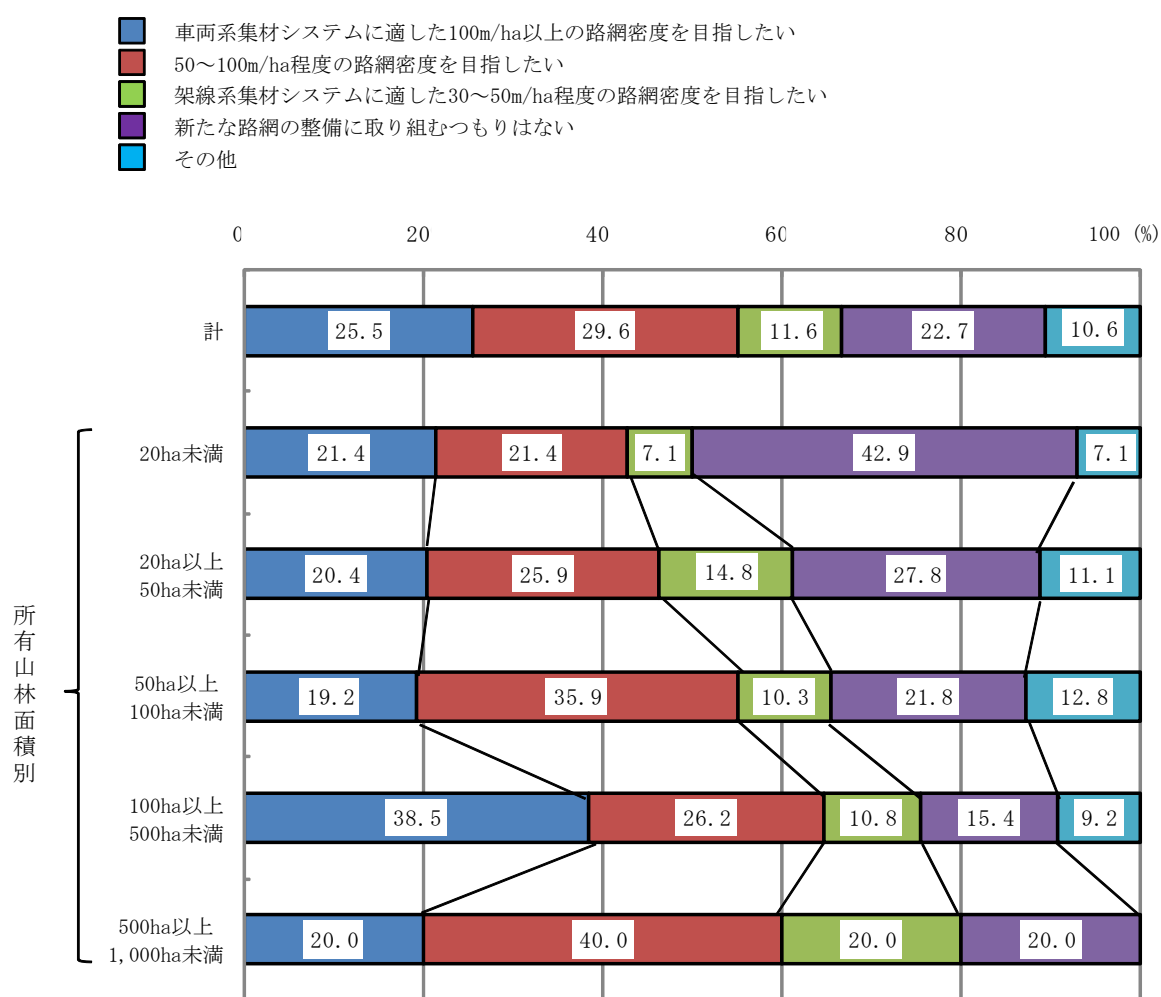
2 車両系高性能林業機械のサイズは、ベースマシンのバケットの規格によって、0.45と0.25に大別される。

(6) 路網整備

路網整備については、「50～100m/ha程度の路網密度を目指したい」と回答した割合が29.6%と最も高く、これに「車両系集材システムに適した100m/ha以上の路網密度を目指したい」(25.5%)と「架線系集材システムに適した30～50m/ha程度の路網密度を目指したい」(11.6%)を合わせると、路網整備の意向を持つ林業者は約6割を占めた。

これを所有山林面積別にみると、所有山林面積が大きくなるにつれて路網整備の意向を持つ者の割合が高くなっており、中でも100ha以上500ha未満では「車両系集材システムに適した100m/ha以上の路網密度を目指したい」と回答した割合が38.5%と、他の階層よりも高かった(図25)。

図25 路網整備の意向（所有山林面積別）



注：1 1,000ha以上は回答者無し。

2 今後の林業経営について、「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかの意向を持つ林業者の結果である。

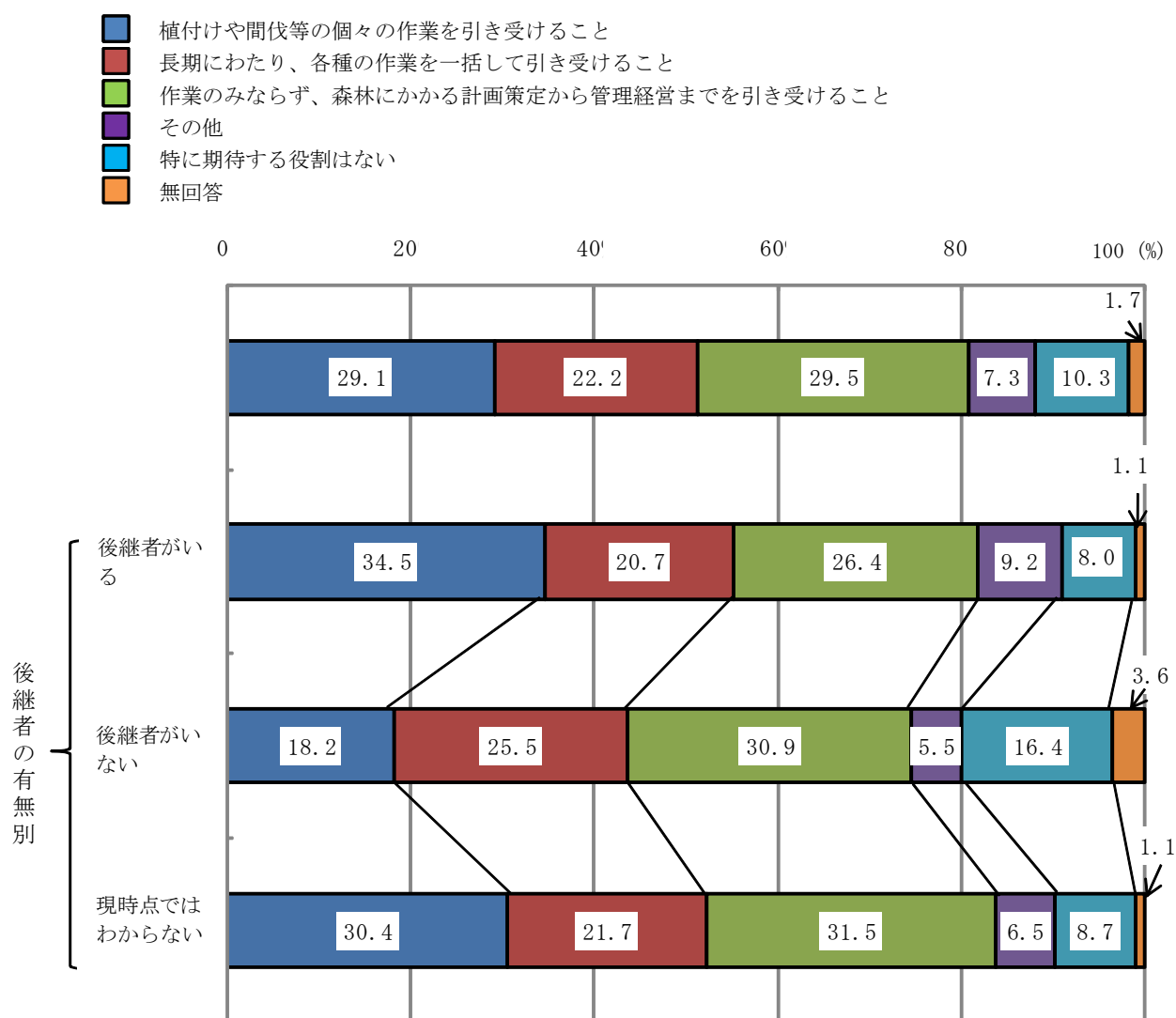
3 「車両系集材システム」とは、路網から伐倒木を機械で直接取る作業システム、「架線系集材システム」とは、空中に張ったワイヤロープにより、伐倒木を路網へ集める作業システムのことである。

5 林業者が伐採業者や森林組合などに期待する役割

林業者が、伐採業者や森林組合などに期待する役割は、「作業のみならず、森林にかかる計画策定から管理経営までを引き受けること」と「植付けや間伐等の個々の作業を引き受けること」がそれぞれ29.5%と29.1%、次いで「長期にわたり、各種の作業を一括して引き受けること」が22.2%であった。

これを後継者の有無別にみると、「後継者がいない」林業者は「後継者がいる」に比べ「植付けや間伐等の個々の作業を引き受けること」の割合がおおむね半分程度であった。同様に、「作業のみならず、森林にかかる計画策定から管理経営までを引き受けること」と「長期にわたり、各種の作業を一括して引き受けること」がそれぞれ30.9%、25.5%と高い割合を占めた（図26）。

図26 林業者が伐採業者や森林組合などに期待する役割（後継者の有無別）

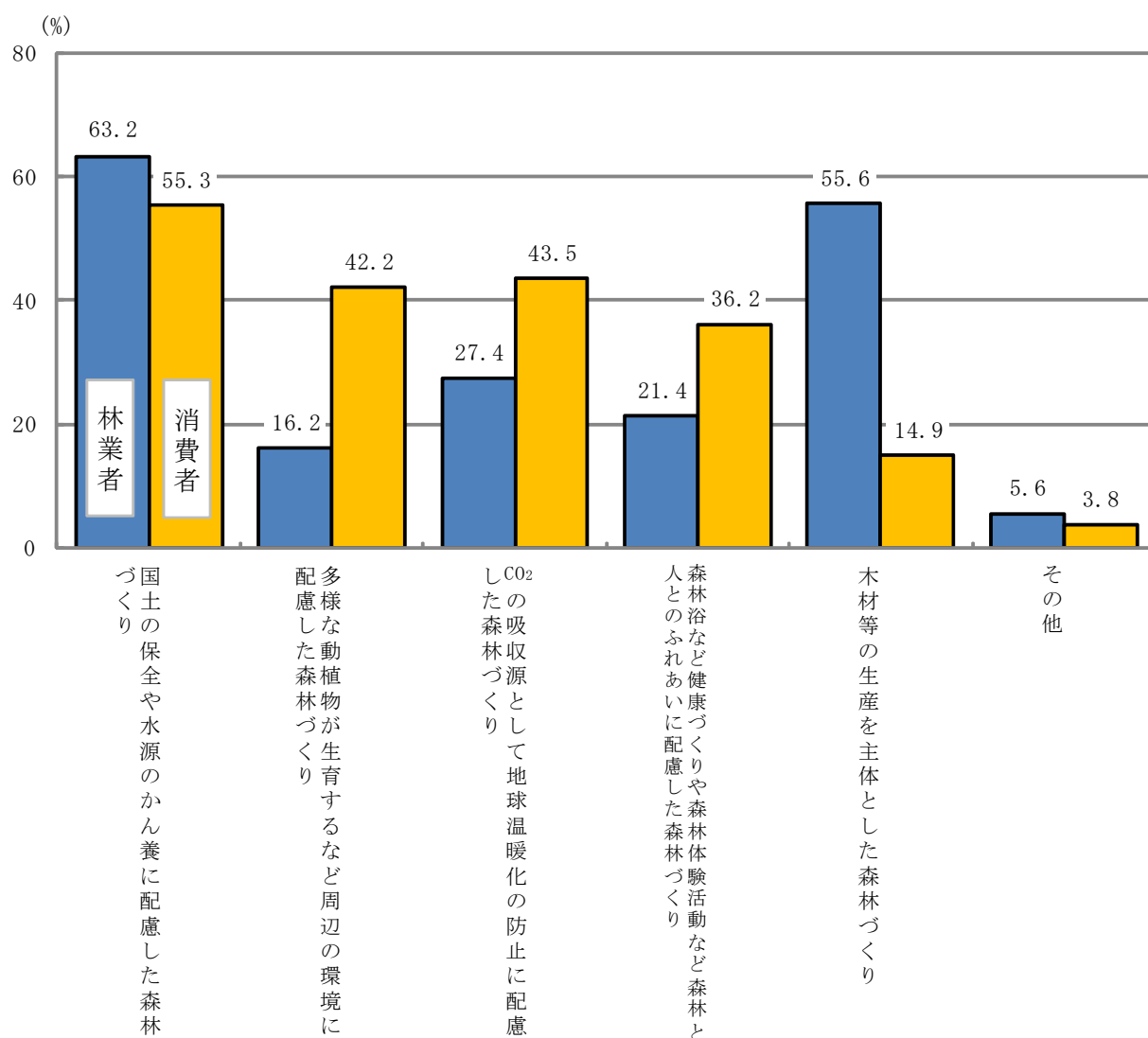


6 森林づくりを進めるに当たって配慮する点（2つまで回答）

どのような点に配慮をした森づくりを進めていくべき（林業者にあつては「進めていきたい」を含む）と考えているか尋ねたところ、林業者、消費者ともに「国土の保全や水源のかん養に配慮した森林づくり」と回答した割合がそれぞれ63.2%、55.3%と最も高かった。

一方、「木材等の生産を主体とした森林づくり」の割合は、林業者が55.6%で第2位であるのに対し、消費者では14.9%で第5位となった（図27）。

図27 森林づくりを進めるに当たって配慮する点（2つまで回答）



【統計表】

《 目 次 》

I 消費者モニター

【1 木材の利用に関する意識・意向について】

- (1) 性別・年齢
- (2) 生活に取り入れたい木材製品
- (3) 木材製品を取り入れたい理由
 - ①製品別
 - ②性別・年齢階層別
- (4) 国産材・外国産材製品に関する志向
 - ①製品別
 - ②性別・年齢階層・製品別
- (5) 木材製品を取り入れたい理由と国産材・外国産材製品に関する志向
- (6) 国産材製品を志向する理由
 - ①製品別
 - ②性別・年齢階層別
- (7) 外国産材製品を志向する理由（製品別）
- (8) 木材製品に望む改善点
- (9) 単語・マークの認知度

【2 森林の手入れに関する意識・意向について】

- (1) 森林資源の循環利用促進のために重要と考える取組~~み~~
- (2) 森林の手入れの状況
- (3) 森林の手入れが不十分だと思う理由
- (4) 森林の手入れが十分でない原因
- (5) 手入れが不十分な私有林の手入れを行うべき者
- (6) 森林づくりを進めるに当たって配慮する点

II 林業者モニター

【1 木材の利用に関する意識・意向について】

- (1) 取扱製品
- (2) 製品を取り扱う上での問題点
- (3) 消費者の生活に取り入れてほしい国産材製品（国内で生産された木材を使用した製品）
- (4) 消費者に国産材製品を購入してもらうために必要と考える改善点
- (5) 木材製品、材木の販売促進のために必要と考える行政サポート
- (6) 単語・マークの認知度

【2 森林の手入れに関する意識・意向について】

- (1) 後継者の有無、所有山林面積
- (2) 森林資源の循環利用促進のために重要と考える取組み
- (3) 所有森林の手入れの状況
- (4) 所有森林の手入れが十分でない原因
- (5) 手入れが十分でない森林を整備するための効果的な方策
- (6) 手入れが不十分な私有林の手入れを行うべき者
- (7) 林業経営に関する意向
 - ①林業経営規模
 - ②目指す経営規模
 - ア規模拡大
 - イ規模縮小
 - ③森林の手入れの主体
 - ④木材の生産目標
 - ⑤伐採方法
 - ⑥林業の機械化
 - ⑦路網整備
- (8) 伐採業者や森林組合などに期待する役割
- (9) 森林づくりを進めるに当たって配慮する点

Ⅲ 流通加工業者モニター（木材関係）

【木材の利用に関する意識・意向について】

- (1) 取扱製品
- (2) 製品を取り扱う上での問題点
- (3) 消費者の生活に取り入れてほしい国産材製品
- (4) 消費者に国産材製品を購入してもらうために必要と考える改善点
- (5) 木材製品、材木の販売促進のために必要と考える行政サポート
- (6) 単語・マークの認知度

I 消費者モニター

【1 木材の利用に関する意識・意向について】

(1) 性別・年齢

単位：％

区 分	回答者数	計	男性	女性	区分
計	1,599	100.0	35.4	64.6	1
農 政 局 等 別					
北 海 道	63	100.0	31.7	68.3	2
東 北	111	100.0	28.8	71.2	3
関 東	614	100.0	37.5	62.5	4
北 陸	65	100.0	40.0	60.0	5
東 海	117	100.0	31.6	68.4	6
近 畿	287	100.0	34.5	65.5	7
中 国 四	157	100.0	35.7	64.3	8
九 州	165	100.0	35.8	64.2	9
沖 縄	20	100.0	35.0	65.0	10

(1) 性別・年齢（つづき）

区 分	回答者数	男女計			
		計	20～29歳	30～39歳	40～49歳
計	1,599	100.0	7.7	22.3	23.8
農 政 局 等 別					
北 海 道	63	100.0	3.2	25.4	44.4
東 北	111	100.0	11.7	23.4	20.7
関 東	614	100.0	6.8	21.5	24.1
北 陸	65	100.0	13.8	24.6	20.0
東 海	117	100.0	4.3	13.7	35.0
近 畿	287	100.0	8.0	24.7	22.3
中 国 四	157	100.0	8.3	21.7	22.3
九 州	165	100.0	8.5	23.6	15.8
沖 縄	20	100.0	10.0	35.0	15.0

(1) 性別・年齢（つづき）

区 分	回答者数	男			
		計	20～29歳	30～39歳	40～49歳
計	566	100.0	6.7	17.7	17.5
農 政 局 等 別					
北 海 道	20	100.0	0.0	30.0	15.0
東 北	32	100.0	6.3	6.3	18.8
関 東	230	100.0	6.1	18.3	16.5
北 陸	26	100.0	7.7	15.4	23.1
東 海	37	100.0	0.0	21.6	32.4
近 畿	99	100.0	11.1	18.2	15.2
中 国 四	56	100.0	5.4	12.5	14.3
九 州	59	100.0	8.5	18.6	16.9
沖 縄	7	100.0	14.3	28.6	14.3

(1) 性別・年齢（つづき）

区 分	回答者数	女			
		計	20～29歳	30～39歳	40～49歳
計	1,033	100.0	8.2	24.9	27.3
農 政 局 等 別					
北 海 道	43	100.0	4.7	23.3	58.1
東 北	79	100.0	13.9	30.4	21.5
関 東	384	100.0	7.3	23.4	28.6
北 陸	39	100.0	17.9	30.8	17.9
東 海	80	100.0	6.3	10.0	36.3
近 畿	188	100.0	6.4	28.2	26.1
中 国 四	101	100.0	9.9	26.7	26.7
九 州	106	100.0	8.5	26.4	15.1
沖 縄	13	100.0	7.7	38.5	15.4

単位：％

50～64歳		区分
50～64歳	65歳以上	
28.5	17.6	1
20.6	6.3	2
22.5	21.6	3
27.7	19.9	4
30.8	10.8	5
34.2	12.8	6
28.2	16.7	7
29.3	18.5	8
33.9	18.2	9
25.0	15.0	10

単位：％

50～64歳		区分
50～64歳	65歳以上	
31.4	26.7	1
40.0	15.0	2
28.1	40.6	3
30.4	28.7	4
34.6	19.2	5
21.6	24.3	6
29.3	26.3	7
39.3	28.6	8
37.3	18.6	9
14.3	28.6	10

単位：％

50～64歳		区分
50～64歳	65歳以上	
26.9	12.7	1
11.6	2.3	2
20.3	13.9	3
26.0	14.6	4
28.2	5.1	5
40.0	7.5	6
27.7	11.7	7
23.8	12.9	8
32.1	17.9	9
30.8	7.7	10

(2) 生活に取り入れたい木材製品

区 分	回答者数	計	内装 (家屋・事務所・事業所の内装など)			家具 (タンス、食器棚、テーブル、机など)		食器・台所用品 (スプーン、お皿、まな板など)	
			人						
男女別・年齢階層別									
計	1	1,599	100.0	34.6	40.7	4.1			
20 ～ 29 歳	2	123	100.0	23.6	48.8	5.7			
30 ～ 39 歳	3	357	100.0	25.8	39.8	7.0			
40 ～ 49 歳	4	381	100.0	33.6	44.4	4.2			
50 ～ 64 歳	5	456	100.0	43.4	35.5	2.4			
65 歳 以 上	6	282	100.0	37.6	41.8	2.1			
男	7	566	100.0	40.6	36.2	3.5			
20 ～ 29 歳	8	38	100.0	31.6	42.1	5.3			
30 ～ 39 歳	9	100	100.0	36.0	36.0	6.0			
40 ～ 49 歳	10	99	100.0	38.4	35.4	4.0			
50 ～ 64 歳	11	178	100.0	48.9	29.8	3.4			
65 歳 以 上	12	151	100.0	37.7	43.0	1.3			
女	13	1,033	100.0	31.3	43.2	4.4			
20 ～ 29 歳	14	85	100.0	20.0	51.8	5.9			
30 ～ 39 歳	15	257	100.0	21.8	41.2	7.4			
40 ～ 49 歳	16	282	100.0	31.9	47.5	4.3			
50 ～ 64 歳	17	278	100.0	39.9	39.2	1.8			
65 歳 以 上	18	131	100.0	37.4	40.5	3.1			

(3) 木材製品を取り入れたい理由 (2つまで)

① 製品別

区 分	回答者数	計	香り、手触り、見た目などが良いと思うから			安全・安心、健康に良いと思うから		高級感があると思うから	
			人						
計	1	1,584	100.0	69.8	53.5	10.9			
消費者の生活に取り入れてほしい国産材製品別									
内 装	2	553	100.0	65.5	58.2	8.0			
家 具	3	651	100.0	76.7	46.1	13.8			
食器・台所用品	4	65	100.0	67.7	67.7	15.4			
おもちゃ・遊具	5	187	100.0	63.6	71.7	2.7			
文 房 具	6	20	100.0	80.0	45.0	10.0			
ガーデニング用品	7	53	100.0	66.0	43.4	9.4			
家 電	8	31	100.0	74.2	25.8	45.2			
そ の 他	9	24	100.0	29.2	33.3	12.5			

注：(2)で「取り入れたいとは思わない」以外を回答した者に対する結果である。

単位：％							区分
おもちゃ・ 遊具	文房具 （ペン立て、 書類トレイなど）	ガーデニング 用品 （プランターカ バー、柵など）	家電 （オーディオ機器、 携帯電話、 デジカメなど）	その他	取り入れ たいとは思 わない	無回答	
11.7	1.3	3.3	1.9	1.5	0.8	0.1	1
13.8	1.6	2.4	1.6	0.8	0.8	0.8	2
16.8	2.2	2.5	2.8	1.4	1.7	－	3
10.5	0.8	3.1	2.4	0.5	0.5	－	4
10.7	0.9	3.7	1.1	1.5	0.7	－	5
7.4	1.1	4.3	1.8	3.2	0.4	0.4	6
7.4	1.6	3.7	3.4	2.7	0.7	0.2	7
5.3	2.6	2.6	5.3	－	2.6	2.6	8
9.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0	－	9
9.1	2.0	3.0	6.1	1.0	1.0	－	10
9.0	1.1	3.9	1.7	2.2	－	－	11
4.0	0.7	4.6	3.3	4.6	0.7	－	12
14.0	1.1	3.1	1.2	0.9	0.9	0.1	13
17.6	1.2	2.4	0.0	1.2	－	－	14
19.8	1.9	2.3	2.7	0.8	1.9	－	15
11.0	0.4	3.2	1.1	0.4	0.4	－	16
11.9	0.7	3.6	0.7	1.1	1.1	－	17
11.5	1.5	3.8	－	1.5	－	0.8	18

単位：％				区 分
品質（耐久性、 強度など）が高 いと思うから	伐採後の植林を 行うなど、適切 に管理された森 林から生産され た木材を使うこ とで、地球温暖 化防止などの環 境貢献に役立つ と思うから	価格が安くなる と思うから	その他	
17.2	38.6	1.2	5.0	1
12.1	47.4	1.6	3.4	2
22.7	31.6	0.5	4.6	3
15.4	30.8	－	1.5	4
13.4	36.9	1.1	5.9	5
35.0	25.0	－	5.0	6
11.3	47.2	7.5	9.4	7
9.7	25.8	3.2	16.1	8
29.2	66.7	－	29.2	9

② 性別・年齢階層別

区 分	回答者数	計	香り、手触り、 見た目などが良 いと思うから	安全・安心、健 康に良いと思う から	高級感があると 思うから
性別・年齢階層別	人				
計 1	1,584	100.0	69.8	53.5	10.9
20 ～ 29 歳 2	121	100.0	80.2	54.5	12.4
30 ～ 39 歳 3	351	100.0	78.9	52.4	14.5
40 ～ 49 歳 4	379	100.0	79.4	54.1	9.5
50 ～ 64 歳 5	453	100.0	64.0	52.8	8.6
65 歳 以 上 6	280	100.0	50.0	55.0	11.4
男 7	561	100.0	70.4	44.2	16.6
20 ～ 29 歳 8	36	100.0	75.0	47.2	19.4
30 ～ 39 歳 9	99	100.0	77.8	43.4	26.3
40 ～ 49 歳 10	98	100.0	87.8	41.8	16.3
50 ～ 64 歳 11	178	100.0	68.0	46.1	10.7
65 歳 以 上 12	150	100.0	56.0	43.3	16.7
女 13	1,023	100.0	69.4	58.7	7.8
20 ～ 29 歳 14	85	100.0	82.4	57.6	9.4
30 ～ 39 歳 15	252	100.0	79.4	56.0	9.9
40 ～ 49 歳 16	281	100.0	76.5	58.4	7.1
50 ～ 64 歳 17	275	100.0	61.5	57.1	7.3
65 歳 以 上 18	130	100.0	43.1	68.5	5.4

(4) 国産材・外国産材製品に関する志向

① 製品別

区 分	回答者数	計	国産の木材を使 用する方が良 いと思う	外国産の木材を 使用する方が良 いと思う	どちらでもよい
計 1	1,584	100.0	87.1	0.7	12.1
消費者の生活に取り入れて ほしい国産材製品別	人				
内 装 2	553	100.0	89.5	0.7	9.6
家 具 3	651	100.0	85.3	0.8	13.8
食器・台所用品 4	65	100.0	83.1	1.5	13.8
おもちゃ・遊具 5	187	100.0	86.1	0.5	13.4
文 房 具 6	20	100.0	90.0	-	10.0
ガーデニング用品 7	53	100.0	96.2	-	3.8
家 電 8	31	100.0	77.4	-	22.6
そ の 他 9	24	100.0	87.5	-	12.5

注：(2)で「取り入れたいとは思わない」以外を回答した者に対する結果である。

単位：％

品質（耐久性、強度など）が高いと思うから	伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材を使うことで、地球温暖化防止などの環境貢献に役立つと思うから	価格が安くなると思うから	その他	区分
17.2	38.6	1.2	5.0	1
29.8	14.9	-	5.0	2
17.9	24.2	2.0	4.6	3
18.5	29.6	0.3	5.0	4
14.6	50.1	1.1	5.7	5
13.6	60.4	2.1	4.3	6
16.2	40.3	2.0	6.6	7
27.8	16.7	-	8.3	8
19.2	21.2	3.0	7.1	9
17.3	25.5	-	7.1	10
13.5	49.4	2.2	6.7	11
14.0	57.3	2.7	5.3	12
17.8	37.6	0.8	4.1	13
30.6	14.1	-	3.5	14
17.5	25.4	1.6	3.6	15
18.9	31.0	0.4	4.3	16
15.3	50.5	0.4	5.1	17
13.1	63.8	1.5	3.1	18

単位：％

無回答	区 分
0.2	1
0.2	2
0.2	3
1.5	4
-	5
-	6
-	7
-	8
-	9

② 性別・年齢階層・製品別

区 分	計					
	回答者数	計	国産の木材を使用する方が良いと思う	外国産の木材を使用する方が良いと思う	どちらでもよい	
性別・年齢階層別	人					
計	1	1,584	100.0	87.1	0.7	12.1
20 ～ 29 歳	2	121	100.0	78.5	1.7	19.8
30 ～ 39 歳	3	351	100.0	81.2	0.3	17.9
40 ～ 49 歳	4	379	100.0	83.4	0.5	16.1
50 ～ 64 歳	5	453	100.0	91.6	1.3	6.8
65 歳 以 上	6	280	100.0	95.7	-	4.3
男	7	561	100.0	87.0	0.9	11.6
20 ～ 29 歳	8	36	100.0	83.3	-	16.7
30 ～ 39 歳	9	99	100.0	78.8	-	19.2
40 ～ 49 歳	10	98	100.0	79.6	-	20.4
50 ～ 64 歳	11	178	100.0	90.4	2.8	6.2
65 歳 以 上	12	150	100.0	94.0	-	6.0
女	13	1,023	100.0	87.1	0.6	12.3
20 ～ 29 歳	14	85	100.0	76.5	2.4	21.2
30 ～ 39 歳	15	252	100.0	82.1	0.4	17.5
40 ～ 49 歳	16	281	100.0	84.7	0.7	14.6
50 ～ 64 歳	17	275	100.0	92.4	0.4	7.3
65 歳 以 上	18	130	100.0	97.7	-	2.3

② 性別・年齢階層・製品別（つづき）

区 分	内装					
	回答者数	計	国産の木材を使用する方が良いと思う	外国産の木材を使用する方が良いと思う	どちらでもよい	
性別・年齢階層別	人					
計	1	553	100.0	89.5	0.7	9.6
20 ～ 29 歳	2	29	100.0	82.8	3.4	13.8
30 ～ 39 歳	3	92	100.0	84.8	-	14.1
40 ～ 49 歳	4	128	100.0	81.3	0.8	18.0
50 ～ 64 歳	5	198	100.0	93.9	1.0	5.1
65 歳 以 上	6	106	100.0	97.2	-	2.8
男	7	230	100.0	90.9	0.9	7.8
20 ～ 29 歳	8	12	100.0	91.7	-	8.3
30 ～ 39 歳	9	36	100.0	88.9	-	8.3
40 ～ 49 歳	10	38	100.0	81.6	-	18.4
50 ～ 64 歳	11	87	100.0	93.1	2.3	4.6
65 歳 以 上	12	57	100.0	94.7	-	5.3
女	13	323	100.0	88.5	0.6	10.8
20 ～ 29 歳	14	17	100.0	76.5	5.9	17.6
30 ～ 39 歳	15	56	100.0	82.1	-	17.9
40 ～ 49 歳	16	90	100.0	81.1	1.1	17.8
50 ～ 64 歳	17	111	100.0	94.6	-	5.4
65 歳 以 上	18	49	100.0	100.0	-	-

単位：％	
無回答	区分
0.2	1
-	2
0.6	3
-	4
0.2	5
-	6
0.5	7
-	8
2.0	9
-	10
0.6	11
-	12
-	13
-	14
-	15
-	16
-	17
-	18

単位：％							
家具							
無回答	回答者数	計	国産の木材を使用する方が良いと思う	外国産の木材を使用する方が良いと思う	どちらでもよい	無回答	区分
	人						
0.2	651	100.0	85.3	0.8	13.8	0.2	1
-	60	100.0	78.3	1.7	20.0	-	2
1.1	142	100.0	77.5	0.7	21.8	-	3
-	169	100.0	84.0	0.6	15.4	-	4
-	162	100.0	90.1	1.2	8.0	0.6	5
-	118	100.0	93.2	-	6.8	-	6
0.4	205	100.0	83.4	0.5	15.6	0.5	7
-	16	100.0	75.0	-	25.0	-	8
2.8	36	100.0	72.2	-	27.8	-	9
-	35	100.0	74.3	-	25.7	-	10
-	53	100.0	88.7	1.9	7.5	1.9	11
-	65	100.0	92.3	-	7.7	-	12
-	446	100.0	86.1	0.9	13.0	-	13
-	44	100.0	79.5	2.3	18.2	-	14
-	106	100.0	79.2	0.9	19.8	-	15
-	134	100.0	86.6	0.7	12.7	-	16
-	109	100.0	90.8	0.9	8.3	-	17
-	53	100.0	94.3	-	5.7	-	18

② 性別・年齢階層・製品別（つづき）

区 分	食器・台所用品					
	回答者数	計	国産の木材を使用する方が良いと思う	外国産の木材を使用する方が良いと思う	どちらでもよい	
性別・年齢階層別	人					
計	1	65	100.0	83.1	1.5	13.8
20 ～ 29 歳	2	7	100.0	71.4	-	28.6
30 ～ 39 歳	3	25	100.0	76.0	-	20.0
40 ～ 49 歳	4	16	100.0	87.5	-	12.5
50 ～ 64 歳	5	11	100.0	90.9	9.1	-
65 歳 以 上	6	6	100.0	100.0	-	-
男	7	20	100.0	75.0	5.0	15.0
20 ～ 29 歳	8	2	100.0	50.0	-	50.0
30 ～ 39 歳	9	6	100.0	66.7	-	16.7
40 ～ 49 歳	10	4	100.0	75.0	-	25.0
50 ～ 64 歳	11	6	100.0	83.3	16.7	-
65 歳 以 上	12	2	100.0	100.0	-	-
女	13	45	100.0	86.7	-	13.3
20 ～ 29 歳	14	5	100.0	80.0	-	20.0
30 ～ 39 歳	15	19	100.0	78.9	-	21.1
40 ～ 49 歳	16	12	100.0	91.7	-	8.3
50 ～ 64 歳	17	5	100.0	100.0	-	-
65 歳 以 上	18	4	100.0	100.0	-	-

② 性別・年齢階層・製品別（つづき）

区 分	文房具					
	回答者数	計	国産の木材を使用する方が良いと思う	外国産の木材を使用する方が良いと思う	どちらでもよい	
性別・年齢階層別	人					
計	1	20	100.0	90.0	-	10.0
20 ～ 29 歳	2	2	100.0	100.0	-	-
30 ～ 39 歳	3	8	100.0	87.5	-	12.5
40 ～ 49 歳	4	3	100.0	66.7	-	33.3
50 ～ 64 歳	5	4	100.0	100.0	-	-
65 歳 以 上	6	3	100.0	100.0	-	-
男	7	9	100.0	100.0	-	-
20 ～ 29 歳	8	1	100.0	100.0	-	-
30 ～ 39 歳	9	3	100.0	100.0	-	-
40 ～ 49 歳	10	2	100.0	100.0	-	-
50 ～ 64 歳	11	2	100.0	100.0	-	-
65 歳 以 上	12	1	100.0	100.0	-	-
女	13	11	100.0	81.8	-	18.2
20 ～ 29 歳	14	1	100.0	100.0	-	-
30 ～ 39 歳	15	5	100.0	80.0	-	20.0
40 ～ 49 歳	16	1	100.0	-	-	100.0
50 ～ 64 歳	17	2	100.0	100.0	-	-
65 歳 以 上	18	2	100.0	100.0	-	-

単位：％							区分
	おもちゃ・遊具						
無回答	回答者数	計	国産の木材を使用する方が良いと思う	外国産の木材を使用する方が良いと思う	どちらでもよい	無回答	
	人						
1.5	187	100.0	86.1	0.5	13.4	-	1
-	17	100.0	70.6	-	29.4	-	2
4.0	60	100.0	85.0	-	15.0	-	3
-	40	100.0	87.5	-	12.5	-	4
-	49	100.0	85.7	2.0	12.2	-	5
-	21	100.0	100.0	-	-	-	6
5.0	42	100.0	81.0	2.4	16.7	-	7
-	2	100.0	100.0	-	-	-	8
16.7	9	100.0	66.7	-	33.3	-	9
-	9	100.0	77.8	-	22.2	-	10
-	16	100.0	81.3	6.3	12.5	-	11
-	6	100.0	100.0	-	-	-	12
-	145	100.0	87.6	-	12.4	-	13
-	15	100.0	66.7	-	33.3	-	14
-	51	100.0	88.2	-	11.8	-	15
-	31	100.0	90.3	-	9.7	-	16
-	33	100.0	87.9	-	12.1	-	17
-	15	100.0	100.0	-	-	-	18

単位：％

ガーデニング用品							区分
無回答	回答者数	計	国産の木材を使用する方が良いと思う	外国産の木材を使用する方が良いと思う	どちらでもよい	無回答	
人							
-	53	100.0	96.2	-	3.8	-	1
-	3	100.0	100.0	-	-	-	2
-	9	100.0	100.0	-	-	-	3
-	12	100.0	91.7	-	8.3	-	4
-	17	100.0	94.1	-	5.9	-	5
-	12	100.0	100.0	-	-	-	6
-	21	100.0	100.0	-	-	-	7
-	1	100.0	100.0	-	-	-	8
-	3	100.0	100.0	-	-	-	9
-	3	100.0	100.0	-	-	-	10
-	7	100.0	100.0	-	-	-	11
-	7	100.0	100.0	-	-	-	12
-	32	100.0	93.8	-	6.3	-	13
-	2	100.0	100.0	-	-	-	14
-	6	100.0	100.0	-	-	-	15
-	9	100.0	88.9	-	11.1	-	16
-	10	100.0	90.0	-	10.0	-	17
-	5	100.0	100.0	-	-	-	18

② 性別・年齢階層・製品別（つづき）

区 分	家電				
	回答者数	計	国産の木材を使用する方が良いと思う	外国産の木材を使用する方が良いと思う	どちらでもよい
性別・年齢階層別	人				
計	1	31	100.0	77.4	22.6
20 ～ 29 歳	2	2	100.0	100.0	—
30 ～ 39 歳	3	10	100.0	70.0	30.0
40 ～ 49 歳	4	9	100.0	77.8	22.2
50 ～ 64 歳	5	5	100.0	80.0	20.0
65 歳 以 上	6	5	100.0	80.0	20.0
男	7	19	100.0	78.9	21.1
20 ～ 29 歳	8	2	100.0	100.0	—
30 ～ 39 歳	9	3	100.0	66.7	33.3
40 ～ 49 歳	10	6	100.0	83.3	16.7
50 ～ 64 歳	11	3	100.0	66.7	33.3
65 歳 以 上	12	5	100.0	80.0	20.0
女	13	12	100.0	75.0	25.0
20 ～ 29 歳	14	—	—	—	—
30 ～ 39 歳	15	7	100.0	71.4	28.6
40 ～ 49 歳	16	3	100.0	66.7	33.3
50 ～ 64 歳	17	2	100.0	100.0	—
65 歳 以 上	18	—	—	—	—

（５） 木材製品を取り入れたい理由と国産材・外国産材製品に関する志向

区 分	回答者数	計	香り、手触り、見た目などが良いと思うから	安全・安心、健康に良いと思うから	高級感があると思うから
国産材・外国産材製品に関する志向別	人				
計	1	1,584	100.0	69.8	10.9
国産の木材を使用する方が良いと思う	2	1,379	100.0	68.2	9.5
外国産の木材を使用する方が良いと思う	3	11	100.0	72.7	18.2
どちらでもよい	4	191	100.0	81.2	20.4

単位：％							区分
	その他						
無回答	回答者数	計	国産の木材を使用する方が良いと思う	外国産の木材を使用する方が良いと思う	どちらでもよい	無回答	
	人						
-	24	100.0	87.5	-	12.5	-	1
-	1	100.0	-	-	100.0	-	2
-	5	100.0	80.0	-	20.0	-	3
-	2	100.0	50.0	-	50.0	-	4
-	7	100.0	100.0	-	-	-	5
-	9	100.0	100.0	-	-	-	6
-	15	100.0	93.3	-	6.7	-	7
-	-	-	-	-	-	-	8
-	3	100.0	66.7	-	33.3	-	9
-	1	100.0	100.0	-	-	-	10
-	4	100.0	100.0	-	-	-	11
-	7	100.0	100.0	-	-	-	12
-	9	100.0	77.8	-	22.2	-	13
-	1	100.0	-	-	100.0	-	14
-	2	100.0	100.0	-	-	-	15
-	1	100.0	-	-	100.0	-	16
-	3	100.0	100.0	-	-	-	17
-	2	100.0	100.0	-	-	-	18

単位：％					区分
品質（耐久性、強度など）が高いと思うから	伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材を使うことで、地球温暖化防止などの環境貢献に役立つと思うから	価格が安くなると思うから	その他		
17.2	38.6	1.2	5.0		1
17.2	41.6	1.1	4.7		2
-	18.2	9.1	-		3
18.8	18.3	1.6	7.3		4

(6) 国産材製品を志向する理由（2つまで）

① 製品別

区 分	回答者数	計	性質・品質（香り、安全性、高級感、耐久性など）が外国産の木材より優れていると思うから	外国産の木材より価格が安いと思うから	伐採後の植林を行うなど、森林が適切に管理され、日本の森林を育てることにつながると思うから
計	1,379	100.0	43.4	1.7	61.3
消費者の生活に取り入れてほしい国産材製品別					
内 装 具	495	100.0	39.2	1.4	64.6
家 具	555	100.0	49.5	1.4	58.7
食器・台所用品	54	100.0	37.0	1.9	66.7
おもちゃ・遊具	161	100.0	42.2	3.1	57.8
文 房 具	18	100.0	22.2	-	61.1
ガーデニング用品	51	100.0	39.2	2.0	60.8
家 電	24	100.0	45.8	4.2	54.2
その他の	21	100.0	33.3	-	76.2

注：(4)で「国産の木材を使用する方が良いと思う」と回答した者に対する結果である。

② 性別・年齢階層別

区 分	回答者数	計	性質・品質（香り、安全性、高級感、耐久性など）が外国産の木材より優れていると思うから	外国産の木材より価格が安いと思うから	伐採後の植林を行うなど、森林が適切に管理され、日本の森林を育てることにつながると思うから
性別・年齢階層別					
計	1,379	100.0	43.4	1.7	61.3
20 ～ 29 歳	95	100.0	52.6	4.2	38.9
30 ～ 39 歳	285	100.0	47.0	1.8	51.9
40 ～ 49 歳	316	100.0	50.9	1.6	55.1
50 ～ 64 歳	415	100.0	34.7	1.7	70.4
65 歳 以 上	268	100.0	41.0	0.7	72.8
男	488	100.0	37.3	2.3	64.8
20 ～ 29 歳	30	100.0	43.3	6.7	36.7
30 ～ 39 歳	78	100.0	39.7	3.8	52.6
40 ～ 49 歳	78	100.0	39.7	2.6	57.7
50 ～ 64 歳	161	100.0	31.1	1.2	72.0
65 歳 以 上	141	100.0	40.4	1.4	73.0
女	891	100.0	46.8	1.3	59.5
20 ～ 29 歳	65	100.0	56.9	3.1	40.0
30 ～ 39 歳	207	100.0	49.8	1.0	51.7
40 ～ 49 歳	238	100.0	54.6	1.3	54.2
50 ～ 64 歳	254	100.0	37.0	2.0	69.3
65 歳 以 上	127	100.0	41.7	-	72.4

注：(4)で「国産の木材を使用する方が良いと思う」と回答した者に対する結果である。

単位：％

地域の林業、経済の活性化につながると思うから	地球温暖化問題に対する日本の取組に役立つと思うから	国産の物や地元のものを使うことにこだわりたいから	その他	区 分
54.7	11.7	20.8	3.6	1
60.8	13.1	15.4	3.6	2
53.0	9.4	22.3	2.7	3
51.9	5.6	24.1	5.6	4
47.2	14.9	28.0	3.1	5
50.0	11.1	33.3	5.6	6
58.8	9.8	23.5	3.9	7
33.3	20.8	37.5	4.2	8
38.1	23.8	9.5	19.0	9

単位：％

地域の林業、経済の活性化につながると思うから	地球温暖化問題に対する日本の取組に役立つと思うから	国産の物や地元のものを使うことにこだわりたいから	その他	区 分
54.7	11.7	20.8	3.6	1
54.7	5.3	32.6	6.3	2
54.7	11.6	22.5	4.6	3
55.7	8.5	24.1	3.2	4
57.6	11.6	19.0	3.4	5
48.9	17.9	13.8	2.2	6
58.8	13.3	17.8	2.9	7
70.0	3.3	23.3	10.0	8
62.8	10.3	23.1	3.8	9
59.0	14.1	24.4	1.3	10
64.0	11.2	16.1	2.5	11
48.2	19.1	12.1	2.1	12
52.4	10.8	22.4	3.9	13
47.7	6.2	36.9	4.6	14
51.7	12.1	22.2	4.8	15
54.6	6.7	23.9	3.8	16
53.5	11.8	20.9	3.9	17
49.6	16.5	15.7	2.4	18

(7) 外国産材製品を志向する理由（製品別）（2つまで）

区 分	回答者数	計	性質・品質（香り、安全性、高級感、耐久性など）が国産の木材より優れていると思うから	国産の木材より価格が安いと思うから	国産の木材より、ニーズに合った木材を安定的に供給できると思うから
計	11	100.0	9.1	63.6	72.7
消費者の生活に取り入れてほしい国産材製品別					
内 装 家 具	2	4	100.0	25.0	100.0
食 器 ・ 台 所 用 品	3	5	100.0	-	100.0
おもちゃ・遊具	4	1	100.0	-	100.0
文 房 具	5	1	100.0	-	100.0
ガーデニング用品	6	-	-	-	-
家 電	7	-	-	-	-
そ の 他	8	-	-	-	-
	9	-	-	-	-

注：(4)で「外国産の木材を使用する方が良いと思う」と回答した者に対する結果である。

(8) 木材製品に望む改善点

区 分	回答者数	計	品質（強度、耐久性など）を向上させた方がよい	安全性や安心感を向上させた方がよい	木材の産地や塗料の原料などの製品情報を表示させる仕組みを作った方がよい
性別・年齢階層別					
計	13	100.0	7.7	7.7	-
20 ～ 29 歳	2	1	100.0	-	-
30 ～ 39 歳	3	6	100.0	-	16.7
40 ～ 49 歳	4	2	100.0	-	-
50 ～ 64 歳	5	3	100.0	33.3	-
65 歳 以 上	6	1	100.0	-	-
男	7	4	100.0	-	25.0
20 ～ 29 歳	8	1	100.0	-	-
30 ～ 39 歳	9	1	100.0	-	100.0
40 ～ 49 歳	10	1	100.0	-	-
50 ～ 64 歳	11	-	-	-	-
65 歳 以 上	12	1	100.0	-	-
女	13	9	100.0	11.1	-
20 ～ 29 歳	14	-	-	-	-
30 ～ 39 歳	15	5	100.0	-	-
40 ～ 49 歳	16	1	100.0	-	-
50 ～ 64 歳	17	3	100.0	33.3	-
65 歳 以 上	18	-	-	-	-

注：(2)で「取り入れたいと思わない」と回答した者に対する結果である。

単位：％

外国産の木材は、伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材が多いと思うから	発展途上国における経済や産業の活性化に役立つと思うから	その他	区 分
18.2	18.2	9.1	1
25.0	-	-	2
-	20.0	20.0	3
-	100.0	-	4
100.0	-	-	5
-	-	-	6
-	-	-	7
-	-	-	8
-	-	-	9

単位：％

木材製品の価格を安くした方がよい	環境に貢献する商品を開発した方がよい（販売価格に植林寄付金を上乗せするなど）	木材製品を安定的に供給できる体制を整備した方がよい	その他	区分
15.4	23.1	15.4	30.8	1
100.0	-	-	-	2
-	16.7	33.3	33.3	3
50.0	-	-	50.0	4
-	33.3	-	33.3	5
-	100.0	-	-	6
25.0	25.0	-	25.0	7
100.0	-	-	-	8
-	-	-	-	9
-	-	-	100.0	10
-	-	-	-	11
-	100.0	-	-	12
11.1	22.2	22.2	33.3	13
-	-	-	-	14
-	20.0	40.0	40.0	15
100.0	-	-	-	16
-	33.3	-	33.3	17
-	-	-	-	18

(9) 単語・マークの認知度

区 分	回答者数	木づかい運動（きづかいうんどう）			認知度	
		認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった		
性別・年齢階層別	人					
計	1	1,599	22.3	8.7	13.6	31.7
20 ～ 29 歳	2	123	22.0	6.5	15.4	32.5
30 ～ 39 歳	3	357	19.6	5.9	13.7	28.9
40 ～ 49 歳	4	381	16.5	5.2	11.3	28.9
50 ～ 64 歳	5	456	25.0	11.0	14.0	33.3
65 歳 以 上	6	282	29.1	14.2	14.9	36.2
男	7	566	27.9	11.7	16.3	32.3
20 ～ 29 歳	8	38	28.9	7.9	21.1	36.8
30 ～ 39 歳	9	100	31.0	11.0	20.0	34.0
40 ～ 49 歳	10	99	21.2	9.1	12.1	27.3
50 ～ 64 歳	11	178	29.8	11.8	18.0	35.4
65 歳 以 上	12	151	27.8	14.6	13.2	29.8
女	13	1,033	19.2	7.1	12.1	31.4
20 ～ 29 歳	14	85	18.8	5.9	12.9	30.6
30 ～ 39 歳	15	257	15.2	3.9	11.3	26.8
40 ～ 49 歳	16	282	14.9	3.9	11.0	29.4
50 ～ 64 歳	17	278	21.9	10.4	11.5	32.0
65 歳 以 上	18	131	30.5	13.7	16.8	43.5

(9) 単語・マークの認知度（つづき）

区 分		間伐材マーク			合法木材推進マーク	
		認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	認知度	以前から意味を知っていた
性別・年齢階層別						
計	1	38.5	14.3	24.1	18.5	2.9
20 ～ 29 歳	2	32.5	6.5	26.0	19.5	3.3
30 ～ 39 歳	3	35.9	10.9	24.9	17.1	3.4
40 ～ 49 歳	4	29.1	6.3	22.8	13.9	1.0
50 ～ 64 歳	5	41.9	19.5	22.4	19.1	2.2
65 歳 以 上	6	51.4	24.5	27.0	25.2	6.0
男	7	42.6	17.0	25.6	22.6	4.4
20 ～ 29 歳	8	36.8	10.5	26.3	31.6	5.3
30 ～ 39 歳	9	54.0	20.0	34.0	24.0	8.0
40 ～ 49 歳	10	30.3	8.1	22.2	14.1	1.0
50 ～ 64 歳	11	43.3	19.7	23.6	24.2	2.2
65 歳 以 上	12	43.7	19.2	24.5	23.2	6.6
女	13	36.2	12.9	23.3	16.3	2.1
20 ～ 29 歳	14	30.6	4.7	25.9	14.1	2.4
30 ～ 39 歳	15	28.8	7.4	21.4	14.4	1.6
40 ～ 49 歳	16	28.7	5.7	23.0	13.8	1.1
50 ～ 64 歳	17	41.0	19.4	21.6	15.8	2.2
65 歳 以 上	18	60.3	30.5	29.8	27.5	5.3

単位：％

木育（もくいく）		3. 9（さんきゅう）グリーンスタイルマーク			区分
以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	
13.8	17.9	20.6	6.1	14.5	1
8.9	23.6	18.7	2.4	16.3	2
9.5	19.3	19.9	6.4	13.4	3
12.1	16.8	14.2	2.9	11.3	4
16.7	16.7	20.6	7.5	13.2	5
18.8	17.4	30.9	9.2	21.6	6
14.7	17.7	24.7	7.6	17.1	7
5.3	31.6	23.7	2.6	21.1	8
15.0	19.0	30.0	10.0	20.0	9
12.1	15.2	19.2	4.0	15.2	10
16.9	18.5	21.3	7.3	14.0	11
15.9	13.9	29.1	9.9	19.2	12
13.3	18.1	18.3	5.2	13.1	13
10.6	20.0	16.5	2.4	14.1	14
7.4	19.5	16.0	5.1	10.9	15
12.1	17.4	12.4	2.5	9.9	16
16.5	15.5	20.1	7.6	12.6	17
22.1	21.4	32.8	8.4	24.4	18

単位：％

意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	区分
15.6	1
16.3	2
13.7	3
12.9	4
16.9	5
19.1	6
18.2	7
26.3	8
16.0	9
13.1	10
21.9	11
16.6	12
14.1	13
11.8	14
12.8	15
12.8	16
13.7	17
22.1	18

【2 森林の手入れに関する意識・意向について】

（１） 森林資源の循環利用促進のために重要と考える取組（強く思う順に3つまで）

区 分		回答者数 (人)	計	森林所有者に よる森林整備 や木材生産に 関する自助努力	森林組合（森 林所有者の共 同組織）によ る森林整備や 木材生産に関 する自助努力	樹木を伐採 し、丸太の生 産等を行う事 業者（素材生 産業者）など による事業能 力の向上のた めの自助努力	製材工場、大 工・工務店な どによる国産 材や国産材住 宅の販売の促 進
計	1	1,599	100.0	16.2	35.0	14.8	29.3
地方農政局等別							
北海道	2	63	100.0	22.2	41.3	17.5	39.7
東北	3	111	100.0	13.5	34.2	9.0	27.9
関東	4	614	100.0	15.8	33.9	16.8	28.3
北陸	5	65	100.0	23.1	35.4	12.3	27.7
東海	6	117	100.0	13.7	32.5	21.4	32.5
近畿	7	287	100.0	18.8	38.0	14.6	27.2
中国	8	157	100.0	16.6	35.7	10.2	28.7
九州	9	165	100.0	12.1	31.5	12.1	33.9
沖縄	10	20	100.0	10.0	45.0	10.0	20.0
性別・年齢階層別							
男女計	11	1,599	100.0	16.2	35.0	14.8	29.3
20 ～ 29歳	12	123	100.0		24.4	13.0	31.7
30 ～ 39歳	13	357	100.0	18.5	34.7	14.8	31.4
40 ～ 49歳	14	381	100.0	20.2	36.5	18.6	27.6
50 ～ 64歳	15	456	100.0	11.4	32.0	12.3	29.6
65歳以上	16	282	100.0	13.8	42.6	14.5	27.7
男	17	566	100.0	19.3	32.5	14.5	27.0
20 ～ 29歳	18	38	100.0	26.3	15.8	13.2	39.5
30 ～ 39歳	19	100	100.0	19.0	32.0	12.0	26.0
40 ～ 49歳	20	99	100.0	26.3	33.3	18.2	29.3
50 ～ 64歳	21	178	100.0	18.0	28.7	12.4	27.5
65歳以上	22	151	100.0	14.6	41.1	16.6	22.5
女	23	1,033	100.0	14.5	36.3	15.0	30.6
20 ～ 29歳	24	85	100.0	17.6	28.2	12.9	28.2
30 ～ 39歳	25	257	100.0	18.3	35.8	16.0	33.5
40 ～ 49歳	26	282	100.0	18.1	37.6	18.8	27.0
50 ～ 64歳	27	278	100.0	7.2	34.2	12.2	30.9
65歳以上	28	131	100.0	13.0	44.3	12.2	33.6
強く思う順							
1位	29	1,599	100.0	9.1	15.4	3.6	8.2
2位	30	1,599	100.0	2.9	10.8	5.6	12.5
3位	31	1,599	100.0	4.3	8.8	5.6	8.6

単位：％

公共事業における国産材の利用の促進	国民に対する国産材利用促進のための普及啓発	消費者による国産材の積極的な利用	森林の手入れなどのボランティア活動	国や地方自治体による資金面や技術面での支援の強化	その他	区分
49.7	41.9	31.1	24.8	49.8	3.6	1
41.3	44.4	31.7	14.3	44.4	3.2	2
44.1	47.7	43.2	22.5	50.5	3.6	3
50.0	41.2	31.3	26.7	46.9	4.2	4
64.6	44.6	23.1	18.5	46.2	4.6	5
48.7	41.9	33.3	13.7	54.7	3.4	6
46.7	41.5	29.3	25.8	53.0	2.8	7
50.3	42.0	27.4	28.7	54.8	2.5	8
54.5	37.6	32.1	27.9	50.3	3.6	9
55.0	55.0	20.0	30.0	45.0	-	10
49.7	41.9	31.1	24.8	49.8	3.6	11
45.5	41.5	43.1	26.8	48.8	1.6	12
45.4	39.5	35.6	25.8	47.9	3.4	13
50.1	41.5	29.9	21.5	47.2	3.4	14
52.6	43.9	28.9	27.6	51.3	4.6	15
51.8	42.6	25.5	22.7	53.5	3.2	16
50.5	42.6	30.7	25.3	48.4	5.3	17
52.6	26.3	47.4	23.7	44.7	2.6	18
51.0	44.0	32.0	29.0	50.0	3.0	19
42.4	40.4	32.3	24.2	44.4	7.1	20
51.1	43.8	29.8	28.1	47.8	7.3	21
54.3	45.7	25.8	20.5	51.7	4.0	22
49.3	41.5	31.4	24.6	50.5	2.6	23
42.4	48.2	41.2	28.2	50.6	1.2	24
43.2	37.7	37.0	24.5	47.1	3.5	25
52.8	41.8	29.1	20.6	48.2	2.1	26
53.6	43.9	28.4	27.3	53.6	2.9	27
48.9	38.9	25.2	25.2	55.7	2.3	28
19.0	13.1	6.8	3.6	19.2	1.7	29
20.4	16.6	10.8	7.8	11.4	0.3	30
10.3	12.3	13.5	13.4	19.1	1.6	31

(2) 森林の手入れの状況

区 分		回答者数 (人)	計	手入れが 行われて いると思う	手入れが 行われて いないと思う
計	1	1,599	100.0	15.1	53.4
地方農政局等別					
北海道	2	63	100.0	30.2	27.0
東北	3	111	100.0	16.2	45.9
関東	4	614	100.0	14.5	54.7
北陸	5	65	100.0	13.8	47.7
東海	6	117	100.0	13.7	54.7
近畿	7	287	100.0	15.3	51.2
中国	8	157	100.0	12.7	65.0
九州	9	165	100.0	14.5	58.8
沖縄	10	20	100.0	10.0	45.0
性別・年齢階層別					
男女計	11	1,599	100.0	15.1	53.4
20～29歳	12	123	100.0	17.9	33.3
30～39歳	13	357	100.0	21.0	42.3
40～49歳	14	381	100.0	16.3	37.0
50～64歳	15	456	100.0	11.6	67.3
65歳以上	16	282	100.0	10.3	75.9
男	17	566	100.0	15.2	60.6
20～29歳	18	38	100.0	18.4	47.4
30～39歳	19	100	100.0	26.0	44.0
40～49歳	20	99	100.0	14.1	41.4
50～64歳	21	178	100.0	12.4	71.9
65歳以上	22	151	100.0	11.3	74.2
女	23	1,033	100.0	15.0	49.5
20～29歳	24	85	100.0	17.6	27.1
30～39歳	25	257	100.0	19.1	41.6
40～49歳	26	282	100.0	17.0	35.5
50～64歳	27	278	100.0	11.2	64.4
65歳以上	28	131	100.0	9.2	77.9

単位：％

わからない	無回答	区分
31.0	0.5	1
41.3	1.6	2
36.9	0.9	3
30.3	0.5	4
38.5	－	5
30.8	0.9	6
32.8	0.7	7
22.3	－	8
26.7	－	9
45.0	－	10
31.0	0.5	11
48.8	－	12
36.1	0.6	13
45.9	0.8	14
20.6	0.4	15
13.5	0.4	16
23.7	0.5	17
34.2	－	18
30.0	－	19
43.4	1.0	20
15.2	0.6	21
13.9	0.7	22
35.0	0.5	23
55.3	－	24
38.5	0.8	25
46.8	0.7	26
24.1	0.4	27
13.0	－	28

(3) 森林の手入れが不十分だと思う理由

区 分	回答者数 (人)	計	森林を伐採した後に、植林しないまま放置されている場所を見たことがあるため	1本1本の木が細く貧弱で、木と木の間隔が込み合っている森林を見たことがあるため	実際に見たわけではないが、森林の手入れが十分に行われていないと報じられているのを見たことがあるため	その他
計 1	854	100.0	19.7	51.4	17.6	10.8
地方農政局等別						
北海道 2	17	100.0	29.4	29.4	41.2	-
東北 3	51	100.0	15.7	62.7	11.8	9.8
関東 4	336	100.0	19.9	49.7	19.9	10.1
北陸 5	31	100.0	12.9	61.3	16.1	9.7
東海 6	64	100.0	12.5	56.3	20.3	10.9
近畿 7	147	100.0	12.9	55.8	19.0	11.6
中国 8	102	100.0	27.5	51.0	10.8	9.8
九州 9	97	100.0	26.8	43.3	12.4	15.5
沖縄 10	9	100.0	33.3	44.4	11.1	11.1
性別・年齢階層別						
男女計 11	854	100.0	19.7	51.4	17.6	10.8
20～29歳 12	41	100.0	24.4	46.3	17.1	9.8
30～39歳 13	151	100.0	27.2	41.7	21.2	9.9
40～49歳 14	141	100.0	21.3	39.0	27.7	11.3
50～64歳 15	307	100.0	18.2	56.4	14.0	10.7
65歳以上 16	214	100.0	14.5	60.3	13.6	11.2
男 17	343	100.0	18.4	58.6	12.5	9.9
20～29歳 18	18	100.0	22.2	61.1	5.6	5.6
30～39歳 19	44	100.0	25.0	50.0	22.7	2.3
40～49歳 20	41	100.0	14.6	53.7	19.5	12.2
50～64歳 21	128	100.0	17.2	62.5	7.8	12.5
65歳以上 22	112	100.0	17.9	58.9	12.5	9.8
女 23	511	100.0	20.5	46.6	20.9	11.4
20～29歳 24	23	100.0	26.1	34.8	26.1	13.0
30～39歳 25	107	100.0	28.0	38.3	20.6	13.1
40～49歳 26	100	100.0	24.0	33.0	31.0	11.0
50～64歳 27	179	100.0	19.0	52.0	18.4	9.5
65歳以上 28	102	100.0	10.8	61.8	14.7	12.7

注：(2)で「手入れが行われていないと思う」と回答した者に対する割合である。

単位：％

無回答	区分
0.6	1
-	2
-	3
0.3	4
-	5
-	6
0.7	7
1.0	8
2.1	9
-	10
0.6	11
2.4	12
-	13
0.7	14
0.7	15
0.5	16
0.6	17
5.6	18
-	19
-	20
-	21
0.9	22
0.6	23
-	24
-	25
1.0	26
1.1	27
-	28

(4) 森林の手入れが十分でない原因 (2つまで)

区 分		回答者数 (人)	計	木材の価格が 安く、手入れ に要する費用 を負担できな いため	手入れをする 労働力が不足 しているため	手入れに必要な 機械の導入 や道の整備が なされていない ため	国や地方自治 体による資金 面や技術面で の支援が不十 分なため
計	1	854	100.0	58.7	65.9	9.1	39.1
地方農政局等別							
北海道	2	17	100.0	52.9	64.7	5.9	52.9
東北	3	51	100.0	76.5	58.8	7.8	37.3
関東	4	336	100.0	59.5	67.3	8.9	39.6
北陸	5	31	100.0	71.0	51.6	9.7	32.3
東海	6	64	100.0	65.6	62.5	3.1	32.8
近畿	7	147	100.0	55.8	70.7	10.2	36.7
中国	8	102	100.0	57.8	63.7	8.8	40.2
九州	9	97	100.0	45.4	70.1	10.3	44.3
沖縄	10	9	100.0	44.4	33.3	44.4	44.4
性別・年齢階層別							
男女計	11	854	100.0	58.7	65.9	9.1	39.1
20 ～ 29歳	12	41	100.0	34.1	68.3	12.2	41.5
30 ～ 39歳	13	151	100.0	49.7	68.2	10.6	43.7
40 ～ 49歳	14	141	100.0	60.3	67.4	9.2	30.5
50 ～ 64歳	15	307	100.0	62.5	65.5	8.8	40.4
65歳以上	16	214	100.0	63.1	63.6	7.9	39.3
男	17	343	100.0	69.7	58.6	10.8	37.3
20 ～ 29歳	18	18	100.0	44.4	66.7	16.7	44.4
30 ～ 39歳	19	44	100.0	70.5	50.0	11.4	45.5
40 ～ 49歳	20	41	100.0	68.3	58.5	12.2	26.8
50 ～ 64歳	21	128	100.0	69.5	57.0	10.2	42.2
65歳以上	22	112	100.0	74.1	62.5	9.8	31.3
女	23	511	100.0	51.3	70.8	8.0	40.3
20 ～ 29歳	24	23	100.0	26.1	69.6	8.7	39.1
30 ～ 39歳	25	107	100.0	41.1	75.7	10.3	43.0
40 ～ 49歳	26	100	100.0	57.0	71.0	8.0	32.0
50 ～ 64歳	27	179	100.0	57.5	71.5	7.8	39.1
65歳以上	28	102	100.0	51.0	64.7	5.9	48.0

注：(2)で、「手入れが行われていないと思う」と回答した者に対する割合である。

単位：％

森林所有者が 森林に対して 無関心なため	その他	区分
18.5	4.9	1
23.5	－	2
9.8	9.8	3
16.4	3.9	4
19.4	9.7	5
28.1	6.3	6
21.1	2.7	7
23.5	4.9	8
14.4	8.2	9
11.1	－	10
18.5	4.9	11
19.5	9.8	12
15.9	6.6	13
24.1	5.7	14
16.3	3.6	15
19.6	4.2	16
16.6	3.5	17
11.1	11.1	18
9.1	6.8	19
26.8	4.9	20
14.8	1.6	21
18.8	2.7	22
19.8	5.9	23
26.1	8.7	24
18.7	6.5	25
23.0	6.0	26
17.3	5.0	27
20.6	5.9	28

(5) 手入れが不十分な私有林の手入れを行うべき者

区 分		回答者数 (人)	計	あくまでも森林所有者が中心となって費用を負担し手入れをすべき	国や地方自治体を中心となって費用を負担し手入れをすべき	企業がCSR（企業の社会的責任）活動の一環として費用を負担し手入れをすべき	国民全体が森林ボランティアへの参加や緑の募金への協力などを通じて取り組むべき
計	1	1,599	100.0	19.9	32.3	12.3	22.3
地方農政局等別							
北海道	2	63	100.0	27.0	30.2	15.9	19.0
東北	3	111	100.0	14.4	28.8	12.6	25.2
関東	4	614	100.0	19.4	31.4	14.2	21.2
北陸	5	65	100.0	20.0	43.1	9.2	12.3
東海	6	117	100.0	16.2	35.9	12.0	17.1
近畿	7	287	100.0	20.6	33.8	13.2	23.0
中国	8	157	100.0	17.2	33.8	8.9	25.5
九州	9	165	100.0	27.9	27.3	7.9	27.3
沖縄	10	20	100.0	15.0	35.0	5.0	40.0
性別・年齢階層別							
男女計	11	1,599	100.0	19.9	32.3	12.3	22.3
20～29歳	12	123	100.0	23.6	33.3	12.2	21.1
30～39歳	13	357	100.0	19.6	34.7	13.7	21.6
40～49歳	14	381	100.0	23.9	33.6	13.9	17.3
50～64歳	15	456	100.0	16.9	29.8	12.7	23.9
65歳以上	16	282	100.0	18.4	30.9	7.8	28.0
男	17	566	100.0	23.0	32.9	8.8	22.4
20～29歳	18	38	100.0	31.6	36.8	10.5	13.2
30～39歳	19	100	100.0	17.0	42.0	6.0	24.0
40～49歳	20	99	100.0	29.3	32.3	9.1	16.2
50～64歳	21	178	100.0	20.2	28.1	12.9	25.3
65歳以上	22	151	100.0	23.8	31.8	5.3	24.5
女	23	1,033	100.0	18.3	31.9	14.2	22.3
20～29歳	24	85	100.0	20.0	31.8	12.9	24.7
30～39歳	25	257	100.0	20.6	31.9	16.7	20.6
40～49歳	26	282	100.0	22.0	34.0	15.6	17.7
50～64歳	27	278	100.0	14.7	30.9	12.6	23.0
65歳以上	28	131	100.0	12.2	29.8	10.7	32.1

単位：％

その他	無回答	区分
11.9	1.3	1
7.9	－	2
17.1	1.8	3
12.1	1.8	4
13.8	1.5	5
18.8	－	6
9.1	0.3	7
12.1	2.5	8
9.1	0.6	9
5.0	－	10
11.9	1.3	11
8.9	0.8	12
9.8	0.6	13
10.5	0.8	14
14.9	1.8	15
12.8	2.1	16
11.5	1.4	17
7.9	－	18
11.0	－	19
13.1	－	20
11.2	2.2	21
11.9	2.6	22
12.1	1.2	23
9.4	1.2	24
9.3	0.8	25
9.6	1.1	26
17.3	1.4	27
13.7	1.5	28

(6) 森林づくりを進めるに当たって配慮する点（2つまで）

区 分		回答者数 (人)	計	国土の保全や 水源のかん養 に配慮した森 林づくり	多様な動植物 が生育するな ど周辺の環境 に配慮した森 林づくり	CO ₂ の吸収源と して地球温暖 化の防止に配 慮した森林づ くり	森林浴など健 康づくりや森 林体験活動な ど森林と人との ふれあいに 配慮した森林 づくり
計	1	1,599	100.0	55.3	42.2	43.5	36.2
地方農政局等別							
北海道	2	63	100.0	55.6	44.4	46.0	44.4
東北	3	111	100.0	56.8	42.3	43.2	31.5
関東	4	614	100.0	54.9	42.3	43.6	36.0
北陸	5	65	100.0	60.0	38.5	43.1	32.3
東海	6	117	100.0	59.8	50.4	37.6	28.2
近畿	7	287	100.0	52.6	46.7	41.5	39.4
中国	8	157	100.0	56.1	40.1	47.8	32.5
九州	9	165	100.0	54.5	30.9	46.1	40.6
沖縄	10	20	100.0	60.0	35.0	40.0	50.0
性別・年齢階層別							
男女計	11	1,599	100.0	55.3	42.2	43.5	36.2
20～29歳	12	123	100.0	35.0	55.3	52.0	37.4
30～39歳	13	357	100.0	45.9	46.8	45.9	39.2
40～49歳	14	381	100.0	50.1	43.3	49.9	33.6
50～64歳	15	456	100.0	64.0	39.9	36.2	35.7
65歳以上	16	282	100.0	69.1	32.6	39.7	36.2
男	17	566	100.0	58.1	39.0	36.7	36.7
20～29歳	18	38	100.0	28.9	55.3	42.1	39.5
30～39歳	19	100	100.0	44.0	49.0	35.0	43.0
40～49歳	20	99	100.0	46.5	44.4	43.4	32.3
50～64歳	21	178	100.0	65.2	34.3	35.4	35.4
65歳以上	22	151	100.0	74.2	30.5	33.8	36.4
女	23	1,033	100.0	53.8	43.9	47.1	35.9
20～29歳	24	85	100.0	37.6	55.3	56.5	36.5
30～39歳	25	257	100.0	46.7	45.9	50.2	37.7
40～49歳	26	282	100.0	51.4	42.9	52.1	34.0
50～64歳	27	278	100.0	63.3	43.5	36.7	36.0
65歳以上	28	131	100.0	63.4	35.1	46.6	35.9

単位：％

木材等の生産 を主体とした 森林づくり	その他	区分
14.9	3.8	1
6.3	1.6	2
15.3	4.5	3
15.1	3.9	4
13.8	6.2	5
17.9	4.3	6
12.5	3.5	7
14.0	3.2	8
20.6	4.2	9
10.0	-	10
14.9	3.8	11
13.8	2.4	12
17.4	2.0	13
15.2	4.7	14
15.1	4.4	15
11.3	4.6	16
18.4	6.0	17
26.3	5.3	18
21.0	6.0	19
21.2	9.1	20
20.2	4.5	21
10.6	6.0	22
13.0	2.6	23
8.2	1.2	24
16.0	0.4	25
13.1	3.2	26
11.9	4.3	27
12.2	3.1	28

Ⅱ 林業者モニター

【１ 木材の利用に関する意識・意向について】

（１）取扱製品

区 分	回答者数	計	素材		製材（柱、板など）		合板、 集成材など
			国産材	外国産材	国産材	外国産材	
計	1	234	100.0	87.6	—	4.7	0.4
農 政 局 等 別							
北 海 道	2	12	100.0	83.3	—	8.3	—
東 北	3	43	100.0	81.4	—	7.0	—
関 東	4	34	100.0	85.3	—	2.9	—
北 陸	5	13	100.0	84.6	—	7.7	—
東 海	6	20	100.0	70.0	—	15.0	5.0
近 畿	7	23	100.0	100.0	—	—	—
中 国 四 国	8	57	100.0	89.5	—	3.5	—
九 州	9	32	100.0	100.0	—	—	—

（２）製品を取り扱う上での問題点（２つまで）

区 分	回答者数	計	販売価格 が安い	需要動向が 把握しづらい	量が確保 できない	販売までの 生産及び流通 コストが高い	品質が 一定しない
計	1	234	100.0	86.3	23.1	3.4	49.1
取 扱 製 品 別							
素 材							
国 産 材	2	205	100.0	91.7	22.9	3.9	49.3
外 国 産 材	3	—	—	—	—	—	—
製 材							
国 産 材	4	11	100.0	36.4	27.3	—	81.8
外 国 産 材	5	1	100.0	—	—	100.0	—
合板、集成材など	6	1	100.0	100.0	—	—	—
チ ッ プ							
国 産 材	7	1	100.0	100.0	—	—	—
外 国 産 材	8	—	—	—	—	—	—
パーティクルボードなど	9	—	—	—	—	—	—
圧縮、防腐処理された木材	10	1	100.0	—	100.0	—	100.0
そ の 他	11	14	100.0	57.1	14.3	—	21.4

（３）消費者の生活に取り入れてほしい国産材製品（国内で生産された木材を使用した製品）

区 分	回答者数	計	内装 （家屋・事務所・ 事業所の内装な ど）	家具 （ダンス、食器棚、 テーブル、机 など）	食器・ 台所用品 （スプーン、お皿、 まな板など）	おもちゃ・ 遊具	文房具 （ペン立て、 書類トレイなど）
計	1	234	100.0	77.4	7.3	1.3	1.7
農 政 局 等 別							
北 海 道	2	12	100.0	66.7	16.7	—	—
東 北	3	43	100.0	74.4	7.0	2.3	—
関 東	4	34	100.0	82.4	2.9	—	—
北 陸	5	13	100.0	69.2	15.4	7.7	—
東 海	6	20	100.0	80.0	10.0	—	5.0
近 畿	7	23	100.0	65.2	8.7	—	8.7
中 国 四 国	8	57	100.0	78.9	7.0	1.8	—
九 州	9	32	100.0	87.5	3.1	—	3.1

単位：％

チップ		パーティクル ボードなど	圧縮、防腐 処理された 木 材	その他	区 分
国産材	外国産材				
0.4	—	—	0.4	6.0	1
—	—	—	8.3	—	2
2.3	—	—	—	9.3	3
—	—	—	—	8.8	4
—	—	—	—	7.7	5
—	—	—	—	10.0	6
—	—	—	—	—	7
—	—	—	—	7.0	8
—	—	—	—	—	9

単位：％

仕入れ価格 が高い	その他	無回答	区 分
4.3	6.8	0.9	1
2.9	6.3	—	2
—	—	—	3
9.1	—	—	4
100.0	—	—	5
—	—	—	6
—	—	—	7
—	—	—	8
—	—	—	9
—	—	—	10
14.3	21.4	14.3	11

単位：％

ガーデニング 用品 〔プランターカ バー、柵など〕	家電 （オーディオ機器、 携帯電話、 デジカメなど）	その他	無回答	区 分
2.6	0.4	9.0	0.4	1
16.7	—	—	—	2
2.3	—	14.0	—	3
—	—	14.7	—	4
—	—	7.7	—	5
—	—	5.0	—	6
13.0	—	4.3	—	7
—	—	10.5	1.8	8
—	3.1	3.1	—	9

(4) 消費者に国産材製品を購入してもらうために必要と考える改善点（2つまで）

区 分	回答者数	計	香り、手触り、 見た目などの木 の特性をアピール した方がよい	安全性や安心感 を向上させた方 がよい	品質（耐久性、 強度など）を向 上させた方が良 い	木材の産地や塗 料の原料などの 製品情報をきち んと表示した方 がよい	製品価格を安く した方がよい	
計	1	人 234	100.0	39.7	23.1	9.0	10.3	5.1
消費者の生活に取り入れ てほしい国産材製品別								
内 装 2	181	100.0	43.6	23.2	8.8	9.9	5.5	
家 具 3	17	100.0	29.4	23.5	11.8	11.8	11.8	
食 器 ・ 台 所 用 品 4	3	100.0	33.3	—	—	66.7	—	
おもちゃ・遊具 5	4	100.0	50.0	—	—	—	—	
文 房 具 6	—	—	—	—	—	—	—	
ガーデニング用品 7	6	100.0	16.7	33.3	16.7	—	—	
家 電 8	1	100.0	—	—	—	100.0	—	
そ の 他 9	21	100.0	23.8	28.6	9.5	4.8	—	
無 回 答 10	1	100.0	—	—	—	—	—	

(5) 木材製品、材木の販売促進のために必要と考える行政サポート（2つまで）

区 分	回答者数	計	製品や製造・販売企業の「環境貢献度」（CO2削減量など）を数値化して表示する仕組み	買い手（需要）と売り手（供給）をマッチングする場	行政における木材の積極的な利用（公共建築物など）	新製品開発に対する経済的・技術的な支援	産地や塗料等の原料について信頼性のある表示ができる仕組み	
計	1	人 234	100.0	24.8	22.2	65.4	23.5	2.6
農 政 局 等 別								
北 海 道 2	12	100.0	25.0	25.0	58.3	50.0	8.3	
東 北 3	43	100.0	30.2	27.9	62.8	20.9	4.7	
関 東 4	34	100.0	20.6	32.4	52.9	23.5	2.9	
北 陸 5	13	100.0	30.8	23.1	46.2	46.2	—	
東 海 6	20	100.0	15.0	20.0	80.0	20.0	—	
近 畿 7	23	100.0	21.7	34.8	60.9	21.7	—	
中 国 四 国 8	57	100.0	24.6	15.8	73.7	14.0	3.5	
九 州 9	32	100.0	28.1	6.3	71.9	28.1	—	

単位：％

木材製品を市場に安定的に供給できる体制を整備した方が良い	環境に貢献する商品を開発した方が良い（販売価格に植林や間伐に係る寄付金を上乗せするなど）	間伐や伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材（合法木材など）を使用したリ、それをアピールしたりする方が良い	地球温暖化対策や地域の林業、経済の活性化に貢献することをアピールした方が良い	無回答	区 分
22.2	9.4	30.3	44.9	6.0	1
22.1	8.8	29.3	45.3	3.3	2
17.6	17.6	29.4	29.4	17.6	3
33.3	—	—	33.3	33.3	4
25.0	—	75.0	25.0	25.0	5
—	—	—	—	—	6
33.3	16.7	16.7	66.7	—	7
—	—	100.0	—	—	8
23.8	9.5	33.3	52.4	14.3	9
—	—	100.0	100.0	—	10

単位：％

マーケティングに関するアドバイス	官民一体となった広報活動・普及啓発活動	その他	無回答	区 分
2.6	42.7	6.4	9.8	1
—	16.7	—	16.7	2
2.3	37.2	2.3	11.6	3
2.9	41.2	11.8	11.8	4
—	46.2	—	7.7	5
—	30.0	15.0	20.0	6
13.0	43.5	4.3	—	7
1.8	45.6	10.5	10.5	8
—	62.5	—	3.1	9

(6) 単語・マークの認知度

区 分	回答者数	木づかい運動（きづかいうんどう）			木育（もくいく）			
		認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	
計	1	234	39.7	22.2	17.5	43.2	23.1	20.1
農 政 局 等 別								
北 海 道	2	12	33.3	16.7	16.7	58.3	33.3	25.0
東 北	3	43	51.2	30.2	20.9	51.2	27.9	23.3
関 東	4	34	38.2	20.6	17.6	35.3	8.8	26.5
北 陸	5	13	69.2	46.2	23.1	53.8	38.5	15.4
東 海	6	20	35.0	30.0	5.0	45.0	30.0	15.0
近 畿	7	23	30.4	17.4	13.0	34.8	17.4	17.4
中 国 四 国	8	57	31.6	14.0	17.5	42.1	24.6	17.5
九 州	9	32	40.6	18.8	21.9	37.5	18.8	18.8

(6) 単語・マークの認知度（つづき）

単位：％

区 分		合法木材推進マーク			区 分
		認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	
計	1	36.3	14.5	21.8	1
農 政 局 等 別					
北 海 道	2	41.7	8.3	33.3	2
東 北	3	41.9	11.6	30.2	3
関 東	4	29.4	8.8	20.6	4
北 陸	5	53.8	30.8	23.1	5
東 海	6	40.0	30.0	10.0	6
近 畿	7	39.1	13.0	26.1	7
中 国 四 国	8	28.1	8.8	19.3	8
九 州	9	37.5	21.9	15.6	9

単位：％

3. 9 (さんきゅー) グリーンスタイルマーク			間伐材マーク			区 分
認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	
33.8	11.1	22.6	51.3	28.6	22.6	1
33.3	16.7	16.7	41.7	8.3	33.3	2
44.2	16.3	27.9	53.5	25.6	27.9	3
35.3	5.9	29.4	50.0	32.4	17.6	4
38.5	15.4	23.1	69.2	38.5	30.8	5
35.0	25.0	10.0	55.0	40.0	15.0	6
26.1	13.0	13.0	56.5	34.8	21.7	7
28.1	5.3	22.8	42.1	21.1	21.1	8
31.3	6.3	25.0	56.3	34.4	21.9	9

【2 森林の手入れに関する意識・意向について】

(1) 後継者の有無、所有山林面積

単位：％

区 分		回答者数 (人)	計	後継者 がいる	後継者 がいない	現時点では わからない	区分
計	1	234	100.0	37.2	23.5	39.3	1
所有山林面積別							
20ha未満	2	16	100.0	18.8	43.8	37.5	2
20ha以上50ha未満	3	58	100.0	39.7	36.2	24.1	3
50ha以上100ha未満	4	85	100.0	30.6	21.2	48.2	4
100ha以上500ha未満	5	70	100.0	45.7	11.4	42.9	5
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	60.0	20.0	20.0	6
1,000ha以上	7	－	－	－	－	－	7
農政局等別							
北海道	8	12	100.0	33.3	25.0	41.7	8
東北	9	43	100.0	41.9	11.6	46.5	9
関東	10	34	100.0	26.5	29.4	44.1	10
北陸	11	13	100.0	53.8	23.1	23.1	11
東海	12	20	100.0	45.0	40.0	15.0	12
近畿	13	23	100.0	30.4	34.8	34.8	13
中国	14	57	100.0	33.3	21.1	45.6	14
九州	15	32	100.0	43.8	18.8	37.5	15
沖縄	16	－	－	－	－	－	16

(2) 森林資源の循環利用促進のために重要と考える取組（強く思う順に3つまで）

区 分		回答者数 (人)	計	森林所有者による 森林整備や木材 生産に関する 自助努力	森林組合による 森林整備や木材 生産に関する自 助努力	伐採等の事業者 (素材生産業 者) などによる 事業能力の向上 のための自助努 力	製材工場、大 工・工務店など による国産材や 国産材住宅の販 売の促進
計	1	234	100.0	47.4	38.0	7.7	31.6
所有山林面積別							
20ha未満	2	16	100.0	37.5	31.3	12.5	43.8
20ha以上50ha未満	3	58	100.0	44.8	39.7	6.9	37.9
50ha以上100ha未満	4	85	100.0	43.5	42.4	10.6	30.6
100ha以上500ha未満	5	70	100.0	54.3	34.3	4.3	27.1
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	80.0	20.0	－	－
1,000ha以上	7	－	－	－	－	－	－
農政局等別							
北海道	8	12	100.0	8.3	58.3	8.3	41.7
東北	9	43	100.0	48.8	25.6	7.0	46.5
関東	10	34	100.0	41.2	38.2	8.8	26.5
北陸	11	13	100.0	46.2	46.2	7.7	46.2
東海	12	20	100.0	40.0	40.0	15.0	40.0
近畿	13	23	100.0	60.9	43.5	－	34.8
中国	14	57	100.0	50.9	42.1	8.8	28.1
九州	15	32	100.0	56.3	31.3	6.3	6.3
沖縄	16	－	－	－	－	－	－
後継者の有無別							
後継者がいる	17						
後継者がいない	18	87	100.0	59.8	37.9	11.5	31.0
現時点ではわからない	19	55	100.0	36.4	40.0	7.3	29.1
現時点ではわからない	20	92	100.0	42.4	37.0	4.3	33.7
強く思う順							
1 位	21	234	100.0	37.2	17.9	1.7	6.8
2 位	22	234	100.0	4.7	13.7	2.6	17.1
3 位	23	234	100.0	5.6	6.4	3.4	7.7

単位：％

公共事業における国産材の利用の促進	国民に対する国産材利用促進のための普及啓発	消費者による国産材の積極的な利用	森林の手入れなどのボランティア活動	国や地方自治体による資金面や技術面での支援の強化	その他	無回答	区分
43.6	32.5	25.2	6.8	55.1	4.7	0.4	1
37.5	18.8	18.8	25.0	56.3	-	-	2
46.6	37.9	24.1	1.7	50.0	3.4	-	3
44.7	35.3	20.0	5.9	55.3	2.4	1.2	4
40.0	27.1	32.9	8.6	60.0	8.6	-	5
60.0	40.0	40.0	-	40.0	20.0	-	6
-	-	-	-	-	-	-	7
25.0	16.7	50.0	33.3	41.7	-	-	8
32.6	37.2	27.9	9.3	60.5	2.3	-	9
58.8	35.3	14.7	2.9	61.8	2.9	2.9	10
38.5	23.1	15.4	7.7	46.2	7.7	-	11
45.0	35.0	30.0	5.0	40.0	5.0	-	12
30.4	30.4	30.4	13.0	43.5	8.7	-	13
38.6	29.8	22.8	3.5	57.9	5.3	-	14
68.8	37.5	25.0	-	62.5	6.3	-	15
-	-	-	-	-	-	-	16
39.1	28.7	27.6	4.6	50.6	5.7	-	17
54.5	36.4	27.3	10.9	52.7	-	-	18
41.3	33.7	21.7	6.5	60.9	6.5	1.1	19
11.1	8.1	3.0	-	12.4	1.3	0.4	20
19.7	13.7	10.7	2.6	13.2	-	2.1	21
12.8	10.7	11.5	4.3	29.5	3.4	4.7	22
							23

(3) 所有森林の手入れの状況

区 分	回答者数 (人)	計	十分に手入れをしていると思う	必要最小限の手入れをしていると思う
計	234	100.0	18.8	45.3
所有山林面積別				
20ha未満	16	100.0	31.3	37.5
20ha以上50ha未満	58	100.0	17.2	41.4
50ha以上100ha未満	85	100.0	21.2	42.4
100ha以上500ha未満	70	100.0	14.3	51.4
500ha以上1,000ha未満	5	100.0	20.0	80.0
1,000ha以上	-	-	-	-
農政局等別				
北海道	12	100.0	16.7	66.7
東北	43	100.0	20.9	48.8
関東	34	100.0	23.5	44.1
北陸	13	100.0	15.4	38.5
東海	20	100.0	5.0	65.0
近畿	23	100.0	17.4	39.1
中国	57	100.0	19.3	35.1
九州	32	100.0	21.9	46.9
沖縄	-	-	-	-
後継者の有無別				
後継者がいる	87	100.0	24.1	50.6
後継者がいない	55	100.0	16.4	40.0
現時点ではわからない	92	100.0	15.2	43.5

(4) 所有森林の手入れが十分でない原因(2つまで)

区 分	回答者数 (人)	計	木材の価格が安く、 手入れに要する費用 を負担できないため	手入れをする労働力が 不足しているため
計	83	100.0	92.8	37.3
所有山林面積別				
20ha未満	5	100.0	40.0	60.0
20ha以上50ha未満	24	100.0	95.8	54.2
50ha以上100ha未満	31	100.0	96.8	25.8
100ha以上500ha未満	23	100.0	95.7	30.4
500ha以上1,000ha未満	-	-	-	-
1,000ha以上	-	-	-	-
農政局等別				
北海道	2	100.0	50.0	-
東北	13	100.0	100.0	30.8
関東	11	100.0	100.0	45.5
北陸	6	100.0	83.3	16.7
東海	6	100.0	100.0	50.0
近畿	10	100.0	80.0	50.0
中国	25	100.0	92.0	44.0
九州	10	100.0	100.0	20.0
沖縄	-	-	-	-
後継者の有無別				
後継者がいる	22	100.0	95.5	31.8
後継者がいない	24	100.0	87.5	45.8
現時点ではわからない	37	100.0	94.6	35.1

注：(3)で「少し手入れが足りないと思う」又は「ほとんど手入れをしていないと思う」と回答した

単位：％

少し手入りが足りないと思う	ほとんど手入れをしていないと思う	無回答	区分
29.5	6.0	0.4	1
25.0	6.3	-	2
36.2	5.2	-	3
29.4	7.1	-	4
27.1	5.7	1.4	5
-	-	-	6
-	-	-	7
16.7	-	-	8
25.6	4.7	-	9
26.5	5.9	-	10
30.8	15.4	-	11
25.0	5.0	-	12
30.4	13.0	-	13
38.6	5.3	1.8	14
28.1	3.1	-	15
-	-	-	16
21.8	3.4	-	17
38.2	5.5	-	18
31.5	8.7	1.1	19

単位：％

高性能林業機械の導入や路網の整備が遅れているため	国や地方自治体による資金面や技術面での支援が不十分なため	森林に対して無関心なため	その他	区分
15.7	39.8	3.6	4.8	1
60.0	20.0	-	20.0	2
16.7	25.0	-	4.2	3
9.7	48.4	6.5	3.2	4
13.0	47.8	4.3	4.3	5
-	-	-	-	6
-	-	-	-	7
100.0	50.0	-	-	8
-	69.2	-	-	9
-	54.5	-	-	10
16.7	33.3	33.3	-	11
16.7	16.7	-	-	12
10.0	50.0	-	10.0	13
16.0	32.0	4.0	4.0	14
40.0	10.0	-	20.0	15
-	-	-	-	16
22.7	45.5	-	-	17
12.5	37.5	4.2	4.2	18
13.5	37.8	5.4	8.1	19

者に対する割合である。

(5) 手入れが十分でない森林を整備するための効果的な方策（2つまで）

区 分	回答者数 (人)	計	森林所有者に代わって、森林の手入れを行う代行者を確保し、その代行者に対して支援を行うこと	森林所有者から森林を買い取って手入れを行う者に対して支援を行うこと	
計	1	83	100.0	61.4	10.8
所有山林面積別					
20ha未満	2	5	100.0	60.0	20.0
20ha以上50ha未満	3	24	100.0	58.3	4.2
50ha以上100ha未満	4	31	100.0	77.4	12.9
100ha以上500ha未満	5	23	100.0	43.5	13.0
500ha以上1,000ha未満	6	－	－	－	－
1,000ha以上	7	－	－	－	－
農政局等別					
北海道	8	2	100.0	－	－
東北	9	13	100.0	69.2	7.7
関東	10	11	100.0	81.8	27.3
北陸	11	6	100.0	83.3	16.7
東海	12	6	100.0	－	－
近畿	13	10	100.0	80.0	20.0
中国	14	25	100.0	56.0	8.0
九州	15	10	100.0	60.0	－
沖縄	16	－	－	－	－
後継者の有無別					
後継者がいる	17	22	100.0	63.6	4.5
後継者がいない	18	24	100.0	66.7	20.8
現時点ではわからない	19	37	100.0	56.8	8.1

注：(3)で「少し手入れが足りないと思う」又は「ほとんど手入れをしていないと思う」と回答した

(6) 手入れが不十分な私有林の手入れを行うべき者

区 分		回答者数 (人)	計	あくまでも森林所有者が中心となって費用を負担し手入れをすべき	国や地方自治体が中心となって費用を負担し手入れをすべき
計	1	234	100.0	25.6	49.6
所有山林面積別					
20ha未満	2	16	100.0	25.0	62.5
20ha以上50ha未満	3	58	100.0	31.0	51.7
50ha以上100ha未満	4	85	100.0	25.9	44.7
100ha以上500ha未満	5	70	100.0	20.0	51.4
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	40.0	40.0
1,000ha以上	7	－	－	－	－
農政局等別					
北海道	8	12	100.0	25.0	50.0
東北	9	43	100.0	27.9	53.5
関東	10	34	100.0	23.5	41.2
北陸	11	13	100.0	38.5	46.2
東海	12	20	100.0	25.0	45.0
近畿	13	23	100.0	17.4	43.5
中国	14	57	100.0	21.1	59.6
九州	15	32	100.0	34.4	43.8
沖縄	16	－	－	－	－
後継者の有無別					
後継者がいる	17	87	100.0	26.4	50.6
後継者がいない	18	55	100.0	27.3	47.3
現時点ではわからない	19	92	100.0	23.9	50.0

森林の手入れに必要な高性能林業機械の導入や路網の整備などに対する公的支援を強化すること	所有する森林の手入れを義務付ける法律や制度をつくること	森林所有者に対して、森林の手入れを促すための助言や情報を提供すること	その他	区分
53.0	9.6	33.7	15.7	1
80.0	20.0	-	-	2
62.5	16.7	41.7	4.2	3
41.9	3.2	29.0	19.4	4
52.2	8.7	39.1	26.1	5
-	-	-	-	6
-	-	-	-	7
100.0	50.0	50.0	-	8
69.2	-	38.5	7.7	9
36.4	-	45.5	9.1	10
16.7	16.7	50.0	-	11
50.0	16.7	-	50.0	12
50.0	10.0	20.0	10.0	13
60.0	16.0	32.0	16.0	14
50.0	-	40.0	30.0	15
-	-	-	-	16
63.6	18.2	31.8	9.1	17
50.0	4.2	33.3	12.5	18
48.6	8.1	35.1	21.6	19

者に対する割合である。

単位：％

企業がCSR（企業の社会的責任）活動の一環として費用を負担し手入れをすべき	国民全体が森林ボランティアへの参加や緑の募金への協力などを通じて取り組むべき	その他	無回答	区分
3.4	10.3	8.5	2.6	1
-	12.5	-	-	2
1.7	10.3	1.7	3.4	3
5.9	12.9	8.2	2.4	4
2.9	7.1	15.7	2.9	5
-	-	20.0	-	6
-	-	-	-	7
-	16.7	8.3	-	8
2.3	7.0	7.0	2.3	9
2.9	23.5	5.9	2.9	10
-	7.7	7.7	-	11
10.0	-	20.0	-	12
8.7	17.4	8.7	4.3	13
3.5	7.0	5.3	3.5	14
-	6.3	12.5	3.1	15
-	-	-	-	16
1.1	8.0	11.5	2.3	17
7.3	12.7	1.8	3.6	18
3.3	10.9	9.8	2.2	19

(7) 今後の林業経営に関する意向

① 林業経営規模

区 分	回答者数 (人)	計	規模拡大を 図りたい	現在の規模を 維持したい
計	234	100.0	11.5	74.8
所有山林面積別				
20ha未満	16	100.0	6.3	81.3
20ha以上50ha未満	58	100.0	10.3	75.9
50ha以上100ha未満	85	100.0	9.4	74.1
100ha以上500ha未満	70	100.0	14.3	74.3
500ha以上1,000ha未満	5	100.0	40.0	60.0
1,000ha以上	-	-	-	-
農政局等別				
北海道	12	100.0	25.0	66.7
東北	43	100.0	9.3	76.7
関東	34	100.0	8.8	73.5
北陸	13	100.0	7.7	84.6
東海	20	100.0	10.0	85.0
近畿	23	100.0	8.7	65.2
中国	57	100.0	12.3	73.7
九州	32	100.0	15.6	75.0
沖縄	-	-	-	-

② 目指す経営規模

ア 規模拡大

区 分	回答者数 (人)	計	20ha未満の経営規模 を目指したい	20ha以上50ha未満の 経営規模を目指した い
計	27	100.0	-	11.1
所有山林面積別				
20ha未満	1	100.0	-	100.0
20ha以上50ha未満	6	100.0	-	33.3
50ha以上100ha未満	8	100.0	-	-
100ha以上500ha未満	10	100.0	-	-
500ha以上1,000ha未満	2	100.0	-	-
1,000ha以上	-	-	-	-

注：(7)①で「規模拡大を図りたい」と回答した者に対する割合である。

イ 規模縮小

区 分	回答者数 (人)	計	20ha未満の経営規模 を目指したい	20ha以上50ha未満の 経営規模を目指した い
計	14	100.0	50.0	35.7
所有山林面積別				
20ha未満	-	100.0	-	-
20ha以上50ha未満	4	100.0	75.0	25.0
50ha以上100ha未満	7	100.0	42.9	42.9
100ha以上500ha未満	3	100.0	33.3	33.3
500ha以上1,000ha未満	-	-	-	-
1,000ha以上	-	-	-	-

注：(7)①で「規模縮小を図りたい」と回答した者に対する割合である。

単位：％

規模縮小を 図りたい	林業経営を やめたい	無回答	区分
6.0	5.6	2.1	1
-	12.5	-	2
6.9	5.2	1.7	3
8.2	5.9	2.4	4
4.3	4.3	2.9	5
-	-	-	6
-	-	-	7
-	-	8.3	8
7.0	4.7	2.3	9
8.8	2.9	5.9	10
7.7	-	-	11
-	5.0	-	12
13.0	13.0	-	13
5.3	7.0	1.8	14
3.1	6.3	-	15
-	-	-	16

単位：％

50ha以上100ha未満 の経営規模を目指し たい	100ha以上500ha未満 の経営規模を目指し たい	500ha以上1,000ha未 満の経営規模を目指 したい	1,000ha以上の経営 規模を目指したい	無回答	区分
11.1	48.1	11.1	14.8	3.7	1
-	-	-	-	-	2
16.7	33.3	-	16.7	-	3
25.0	75.0	-	-	-	4
-	50.0	30.0	10.0	10.0	5
-	-	-	100.0	-	6
-	-	-	-	-	7

単位：％

50ha以上100ha未満 の経営規模を目指し たい	100ha以上500ha未満 の経営規模を目指し たい	500ha以上1,000ha未 満の経営規模を目指 したい	1,000ha以上の経営 規模を目指したい	区分
14.3	-	-	-	1
-	-	-	-	2
-	-	-	-	3
14.3	-	-	-	4
33.3	-	-	-	5
-	-	-	-	6
-	-	-	-	7

③ 森林の手入れの主体

区 分	回答者数 (人)	計	自家労働を主体と したい	雇用労働を主体と したい	請け負わせを主体と したい	
計	1	216	100.0	43.5	12.0	20.4
所有山林面積別						
20ha未満	2	14	100.0	71.4	14.3	-
20ha以上50ha未満	3	54	100.0	40.7	9.3	25.9
50ha以上100ha未満	4	78	100.0	46.2	14.1	20.5
100ha以上500ha未満	5	65	100.0	40.0	10.8	18.5
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	-	20.0	40.0
1,000ha以上	7	-	-	-	-	-
農政局等別						
北海道	8	11	100.0	9.1	9.1	18.2
東北	9	40	100.0	40.0	12.5	27.5
関東	10	31	100.0	41.9	12.9	25.8
北陸	11	13	100.0	61.5	15.4	-
東海	12	19	100.0	42.1	5.3	15.8
近畿	13	20	100.0	30.0	10.0	30.0
中国	14	52	100.0	38.5	15.4	19.2
九州	15	30	100.0	73.3	10.0	13.3
沖縄	16	-	-	-	-	-
後継者の有無別						
後継者がいる	17	85	100.0	47.1	16.5	15.3
後継者がいない	18	47	100.0	38.3	8.5	19.1
現時点ではわからない	19	84	100.0	42.9	9.5	26.2
林業経営の意向別						
規模拡大を図りたい	20	27	100.0	44.4	33.3	11.1
現在の規模を維持したい	21	175	100.0	44.0	8.6	22.3
規模縮小を図りたい	22	14	100.0	35.7	14.3	14.3

注：(7)①で「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかを選択し7

④ 木材の生産目標

区 分	回答者数 (人)	計	主に並材を生産する ことを目指したい	並材を主体としつ つ、単価の高い高品 質材や特殊材を生産 することも目指した い	単価の高い高品質材 や特殊材を生産する ことを主体としつ つ、並材を生産する ことも目指したい	
計	1	216	100.0	20.4	47.7	21.8
所有山林面積別						
20ha未満	2	14	100.0	35.7	50.0	7.1
20ha以上50ha未満	3	54	100.0	29.6	48.1	16.7
50ha以上100ha未満	4	78	100.0	16.7	48.7	21.8
100ha以上500ha未満	5	65	100.0	12.3	47.7	30.8
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	40.0	20.0	-
1,000ha以上	7	-	-	-	-	-
農政局等別						
北海道	8	11	100.0	45.5	27.3	27.3
東北	9	40	100.0	12.5	52.5	17.5
関東	10	31	100.0	22.6	38.7	32.3
北陸	11	13	100.0	30.8	30.8	23.1
東海	12	19	100.0	21.1	36.8	36.8
近畿	13	20	100.0	15.0	55.0	15.0
中国	14	52	100.0	21.2	50.0	21.2
九州	15	30	100.0	16.7	63.3	10.0
沖縄	16	-	-	-	-	-
後継者の有無別						
後継者がいる	17	85	100.0	14.1	54.1	23.5
後継者がいない	18	47	100.0	34.0	40.4	12.8
現時点ではわからない	19	84	100.0	19.0	45.2	25.0
林業経営の意向別						
規模拡大を図りたい	20	27	100.0	18.5	51.9	22.2
現在の規模を維持したい	21	175	100.0	19.4	49.7	21.7
規模縮小を図りたい	22	14	100.0	35.7	14.3	21.4

注：(7)①で「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかを選択し7

単位：％

林業経営そのものを 他の森林所有者や林 業事業体等（伐採等 の業者、森林組合な ど）に委託したい	その他	区分
21.3	2.8	1
14.3	-	2
22.2	1.9	3
19.2	-	4
24.6	6.2	5
20.0	20.0	6
-	-	7
63.6	-	8
20.0	-	9
19.4	-	10
15.4	7.7	11
21.1	15.8	12
25.0	5.0	13
25.0	1.9	14
3.3	-	15
-	-	16
17.6	3.5	17
29.8	4.3	18
20.2	1.2	19
7.4	3.7	20
22.3	2.9	21
35.7	-	22

と者に対する割合である。

単位：％

主に単価の高い高品 質材や特殊材を生産 することを目指した い	その他	無回答	区分
6.5	3.2	0.5	1
-	7.1	-	2
3.7	1.9	-	3
7.7	3.8	1.3	4
7.7	1.5	-	5
20.0	20.0	-	6
-	-	-	7
-	-	-	8
17.5	-	-	9
6.5	-	-	10
-	15.4	-	11
-	5.3	-	12
10.0	5.0	-	13
3.8	3.8	-	14
3.3	3.3	3.3	15
-	-	-	16
5.9	1.2	1.2	17
6.4	6.4	-	18
7.1	3.6	-	19
7.4	-	-	20
6.3	2.3	0.6	21
7.1	21.4	-	22

と者に対する割合である。

⑤ 伐採方法

区 分	回答者数 (人)	計	おおむね50年生程度 の林齢で、まとまっ た面積の皆伐を行 いたい	おおむね80年生程度 以上の林齢で、ま とまった面積の皆伐 を行いたい	なるべく皆伐を行わ ず、間伐を繰り返 していきたい	
計	1	216	100.0	12.0	23.1	59.3
所有山林面積別						
20ha未満	2	14	100.0	21.4	35.7	35.7
20ha以上50ha未満	3	54	100.0	20.4	18.5	57.4
50ha以上100ha未満	4	78	100.0	9.0	16.7	69.2
100ha以上500ha未満	5	65	100.0	7.7	29.2	55.4
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	-	60.0	40.0
1,000ha以上	7	-	-	-	-	-
農政局等別						
北海道	8	11	100.0	36.4	27.3	36.4
東北	9	40	100.0	12.5	25.0	62.5
関東	10	31	100.0	3.2	32.3	61.3
北陸	11	13	100.0	-	15.4	69.2
東海	12	19	100.0	10.5	21.1	68.4
近畿	13	20	100.0	5.0	25.0	70.0
中国	14	52	100.0	15.4	25.0	48.1
九州	15	30	100.0	16.7	10.0	63.3
沖縄	16	-	-	-	-	-
後継者の有無別						
後継者がいる	17	85	100.0	8.2	20.0	65.9
後継者がいない	18	47	100.0	21.3	29.8	44.7
現時点ではわからない	19	84	100.0	10.7	22.6	60.7
林業経営の意向別						
規模拡大を図りたい	20	27	100.0	11.1	14.8	66.7
現在の規模を維持したい	21	175	100.0	12.0	23.4	60.0
規模縮小を図りたい	22	14	100.0	14.3	35.7	35.7

注：(7)①で「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかを選択し7

⑥ 林業の機械化

区 分	回答者数 (人)	計	多少高価でも大型で 処理能力の高い車両 系機械 (0.45)を導 入したい	多少処理能力が低く ても小型で安価な車 両系機械 (0.25)を導 入したい	架線系機械を導入し たい	
計	1	216	100.0	8.3	25.0	1.9
所有山林面積別						
20ha未満	2	14	100.0	-	35.7	-
20ha以上50ha未満	3	54	100.0	7.4	22.2	3.7
50ha以上100ha未満	4	78	100.0	7.7	24.4	2.6
100ha以上500ha未満	5	65	100.0	12.3	27.7	-
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	-	-	-
1,000ha以上	7	-	-	-	-	-
農政局等別						
北海道	8	11	100.0	18.2	18.2	-
東北	9	40	100.0	7.5	15.0	-
関東	10	31	100.0	6.5	29.0	-
北陸	11	13	100.0	7.7	-	7.7
東海	12	19	100.0	10.5	26.3	5.3
近畿	13	20	100.0	-	20.0	-
中国	14	52	100.0	11.5	32.7	-
九州	15	30	100.0	6.7	36.7	6.7
沖縄	16	-	-	-	-	-
後継者の有無別						
後継者がいる	17	85	100.0	8.2	29.4	2.4
後継者がいない	18	47	100.0	6.4	25.5	-
現時点ではわからない	19	84	100.0	9.5	20.2	2.4
林業経営の意向別						
規模拡大を図りたい	20	27	100.0	22.2	44.4	-
現在の規模を維持したい	21	175	100.0	6.9	22.3	2.3
規模縮小を図りたい	22	14	100.0	-	21.4	-

注：(7)①で「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかを選択し7

単位：％

その他	無回答	区分
4.6	0.9	1
-	7.1	2
3.7	-	3
3.8	1.3	4
7.7	-	5
-	-	6
-	-	7
-	-	8
-	-	9
3.2	-	10
15.4	-	11
-	-	12
-	-	13
11.5	-	14
3.3	6.7	15
-	-	16
3.5	2.4	17
4.3	-	18
6.0	-	19
7.4	-	20
3.4	1.1	21
14.3	-	22

と者に対する割合である。

単位：％

機械はなるべく持たず、伐採などは請け負わせにより対応したい	その他	既に導入済みであり、新たな導入予定は無い	無回答	区分
46.8	7.4	9.7	0.9	1
57.1	-	7.1	-	2
50.0	7.4	7.4	1.9	3
47.4	9.0	7.7	1.3	4
40.0	6.2	13.8	-	5
60.0	20.0	20.0	-	6
-	-	-	-	7
45.5	18.2	-	-	8
70.0	2.5	5.0	-	9
51.6	3.2	9.7	-	10
30.8	15.4	38.5	-	11
31.6	15.8	10.5	-	12
70.0	5.0	5.0	-	13
38.5	5.8	9.6	1.9	14
26.7	10.0	10.0	3.3	15
-	-	-	-	16
37.6	8.2	11.8	2.4	17
51.1	6.4	10.6	-	18
53.6	7.1	7.1	-	19
18.5	11.1	3.7	-	20
50.3	6.3	10.9	1.1	21
57.1	14.3	7.1	-	22

と者に対する割合である。

⑦ 路網整備

区 分		回答者数 (人)	計	車両系集材システム に適した100m/ha以 上の路網密度を目指 したい	50～100m/ha程度の 路網密度を目指した い	架線系集材システム に適した30～50m/ha 程度の路網密度を目 指したい
計	1	216	100.0	25.5	29.6	11.6
所有山林面積別						
20ha未満	2	14	100.0	21.4	21.4	7.1
20ha以上50ha未満	3	54	100.0	20.4	25.9	14.8
50ha以上100ha未満	4	78	100.0	19.2	35.9	10.3
100ha以上500ha未満	5	65	100.0	38.5	26.2	10.8
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	20.0	40.0	20.0
1,000ha以上	7	－	－	－	－	－
農政局等別						
北海道	8	11	100.0	18.2	36.4	27.3
東北	9	40	100.0	30.0	35.0	－
関東	10	31	100.0	16.1	32.3	16.1
北陸	11	13	100.0	15.4	7.7	7.7
東海	12	19	100.0	21.1	15.8	21.1
近畿	13	20	100.0	10.0	45.0	25.0
中国	14	52	100.0	36.5	26.9	7.7
九州	15	30	100.0	30.0	30.0	10.0
沖縄	16	－	－	－	－	－
後継者の有無別						
後継者がいる	17	85	100.0	35.3	25.9	8.2
後継者がいない	18	47	100.0	12.8	29.8	19.1
現時点ではわからない	19	84	100.0	22.6	33.3	10.7
林業経営の意向別						
規模拡大を図りたい	20	27	100.0	33.3	29.6	25.9
現在の規模を維持したい	21	175	100.0	25.1	29.7	9.7
規模縮小を図りたい	22	14	100.0	14.3	28.6	7.1

注：(7)①で「規模拡大を図りたい」、「現在の規模を維持したい」、「規模縮小を図りたい」のいずれかを選択した

(8) 伐採業者や森林組合などに期待する役割

区 分	回答者数 (人)	計	植付けや間伐等の 個々の作業を引き受 けること	長期にわたり、各種 の作業を一括して引 き受けること	作業のみならず、森 林にかかる計画策定 から管理経営までを 引き受けること	
計	1	234	100.0	29.1	22.2	29.5
所有山林面積別						
20ha未満	2	16	100.0	12.5	25.0	43.8
20ha以上50ha未満	3	58	100.0	29.3	25.9	31.0
50ha以上100ha未満	4	85	100.0	29.4	24.7	30.6
100ha以上500ha未満	5	70	100.0	31.4	15.7	22.9
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	40.0	20.0	40.0
1,000ha以上	7	-	-	-	-	-
農政局等別						
北海道	8	12	100.0	8.3	33.3	50.0
東北	9	43	100.0	32.6	27.9	18.6
関東	10	34	100.0	38.2	11.8	32.4
北陸	11	13	100.0	38.5	7.7	30.8
東海	12	20	100.0	30.0	30.0	25.0
近畿	13	23	100.0	26.1	21.7	34.8
中国	14	57	100.0	26.3	24.6	26.3
九州	15	32	100.0	25.0	18.8	37.5
沖縄	16	-	-	-	-	-
後継者の有無別						
後継者がいる	17	87	100.0	34.5	20.7	26.4
後継者がいない	18	55	100.0	18.2	25.5	30.9
現時点ではわからない	19	92	100.0	30.4	21.7	31.5
林業経営の意向別						
規模拡大を図りたい	20	27	100.0	18.5	29.6	22.2
現在の規模を維持したい	21	175	100.0	33.1	21.1	31.4
規模縮小を図りたい	22	14	100.0	28.6	28.6	21.4
林業経営をやめたい	23	13	100.0	--	15.4	23.1
無回答	24	5	100.0	20.0	20.0	40.0

単位：％

新たな路網の整備に 取り組むつもりはない	その他	区分
22.7	10.6	1
42.9	7.1	2
27.8	11.1	3
21.8	12.8	4
15.4	9.2	5
20.0	—	6
—	—	7
18.2	—	8
35.0	—	9
16.1	19.4	10
46.2	23.1	11
26.3	15.8	12
10.0	10.0	13
17.3	11.5	14
20.0	10.0	15
—	—	16
18.8	11.8	17
27.7	10.6	18
23.8	9.5	19
—	11.1	20
25.1	10.3	21
35.7	14.3	22

各に対する割合である。

単位：％

その他	特に期待する役割は ない	無回答	区分
7.3	10.3	1.7	1
—	6.3	12.5	2
3.4	10.3	—	3
8.2	7.1	—	4
11.4	15.7	2.9	5
—	—	—	6
—	—	—	7
8.3	—	—	8
—	18.6	2.3	9
2.9	8.8	5.9	10
7.7	15.4	—	11
5.0	10.0	—	12
8.7	4.3	4.3	13
10.5	12.3	—	14
15.6	3.1	—	15
—	—	—	16
9.2	8.0	1.1	17
5.5	16.4	3.6	18
6.5	8.7	1.1	19
14.8	14.8	—	20
5.1	8.0	1.1	21
14.3	7.1	—	22
15.4	38.5	7.7	23
—	—	20.0	24

(9) 森林づくりを進めるに当たって配慮する点(2つまで)

区 分		回答者数 (人)	計	国土の保全や水源の かん養に配慮した森 林づくり	多様な動植物が生育 するなど周辺の環境 に配慮した森林づく り
計	1	234	100.0	63.2	16.2
所有山林面積別					
20ha未満	2	16	100.0	68.8	18.8
20ha以上50ha未満	3	58	100.0	72.4	10.3
50ha以上100ha未満	4	85	100.0	56.5	20.0
100ha以上500ha未満	5	70	100.0	64.3	17.1
500ha以上1,000ha未満	6	5	100.0	40.0	-
1,000ha以上	7	-	-	-	-
農政局等別					
北海道	8	12	100.0	33.3	16.7
東北	9	43	100.0	53.5	20.9
関東	10	34	100.0	67.6	5.9
北陸	11	13	100.0	53.8	15.4
東海	12	20	100.0	70.0	10.0
近畿	13	23	100.0	56.5	4.3
中国	14	57	100.0	73.7	17.5
九州	15	32	100.0	68.8	31.3
沖縄	16	-	-	-	-
後継者の有無別					
後継者がいる	17	87	100.0	71.3	12.6
後継者がいない	18	55	100.0	54.5	12.7
現時点ではわからない	19	92	100.0	60.9	21.7
林業経営の意向別					
規模拡大を図りたい	20	27	100.0	48.1	33.3
現在の規模を維持したい	21	175	100.0	66.9	13.7
規模縮小を図りたい	22	14	100.0	57.1	21.4
林業経営をやめたい	23	13	100.0	53.8	15.4
無回答	24	5	100.0	60.0	--

単位：％

CO ₂ の吸収源として 地球温暖化の防止に 配慮した森林づくり	森林浴など健康づく りや森林体験活動な ど森林と人とのふれ あいに配慮した森林 づくり	木材等の生産を主体 とした森林づくり	その他	無回答	区分
27.4	21.4	55.6	5.6	1.3	1
31.3	12.5	43.8	-	12.5	2
25.9	31.0	50.0	3.4	-	3
29.4	20.0	57.6	5.9	-	4
27.1	17.1	58.6	5.7	1.4	5
-	20.0	80.0	40.0	-	6
-	-	-	-	-	7
66.7	8.3	58.3	-	-	8
30.2	34.9	58.1	-	-	9
17.6	20.6	61.8	2.9	5.9	10
46.2	30.8	46.2	7.7	-	11
30.0	10.0	70.0	5.0	-	12
13.0	26.1	73.9	13.0	4.3	13
26.3	14.0	47.4	8.8	-	14
21.9	21.9	40.6	6.3	-	15
-	-	-	-	-	16
25.3	18.4	57.5	6.9	-	17
34.5	20.0	58.2	3.6	3.6	18
25.0	25.0	52.2	5.4	1.1	19
22.2	25.9	55.6	7.4	-	20
28.6	18.9	58.3	4.0	0.6	21
7.1	42.9	42.9	21.4	-	22
38.5	23.1	38.5	7.7	7.7	23
40.0	20.0	40.0	--	20.0	24

Ⅲ 流通加工業者モニター（木材関係）

【木材の利用に関する意識・意向について】

（１）取扱製品

区 分	回答者数	計	素材		製材（柱、板など）		合板、集成材など
			国産材	外国産材	国産材	外国産材	
計	248	100.0	28.2	8.5	40.7	8.5	5.2
農 政 局 等 別							
北 海 道	8	100.0	25.0	—	75.0	—	—
東 北	21	100.0	52.4	4.8	33.3	—	—
関 東	73	100.0	27.4	5.5	45.2	9.6	4.1
北 陸	17	100.0	17.6	—	58.8	5.9	11.8
東 海	26	100.0	34.6	15.4	23.1	11.5	7.7
近 畿	43	100.0	20.9	20.9	30.2	11.6	7.0
中 国	27	100.0	18.5	3.7	37.0	18.5	7.4
四 国	31	100.0	35.5	6.5	48.4	—	—
九 州	2	100.0	—	—	50.0	—	50.0
沖 縄							

（２）製品を取り扱う上での問題点（２つまで）

区 分	回答者数	計	販売価格 が安い	需要動向が 把握しづらい	量が確保 できない	販売までの 生産及び流通 コストが高い	品質が 一定しない
計	248	100.0	69.8	39.9	13.7	21.8	25.8
取 扱 製 品 別							
素 材							
国 産 材	70	100.0	71.4	37.1	20.0	22.9	27.1
外 国 産 材	21	100.0	47.6	42.9	4.8	23.8	42.9
製 材							
国 産 材	101	100.0	76.2	39.6	10.9	23.8	22.8
外 国 産 材	21	100.0	61.9	52.4	9.5	23.8	28.6
合板、集成材など	13	100.0	53.8	30.8	7.7	15.4	23.1
チ ッ プ							
国 産 材	5	100.0	100.0	—	60.0	—	20.0
外 国 産 材	—	—	—	—	—	—	—
パ ー ティ ク ル ボ ー ド な ど	—	—	—	—	—	—	—
圧縮、防腐処理された木材	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	17	100.0	64.7	52.9	11.8	11.8	17.6

（３）消費者の生活に取り入れてほしい国産材製品

区 分	回答者数	計	内装 （家屋・事務所・ 事業所の内装な ど）	家具 （タンス、食器棚、 テーブル、机 など）	食器・ 台所用品 （スプーン、お皿、 まな板など）	おもちゃ・ 遊具	文房具 （ペン立て、 書類トレイなど）
計	248	100.0	78.2	7.3	0.4	2.0	0.4
取 扱 製 品 別							
素 材							
国 産 材	70	100.0	82.9	4.3	—	1.4	—
外 国 産 材	21	100.0	76.2	14.3	—	—	—
製 材							
国 産 材	101	100.0	75.2	8.9	1.0	3.0	—
外 国 産 材	21	100.0	90.5	—	—	—	—
合板、集成材など	13	100.0	84.6	7.7	—	—	—
チ ッ プ							
国 産 材	5	100.0	80.0	20.0	—	—	—
外 国 産 材	—	—	—	—	—	—	—
パ ー ティ ク ル ボ ー ド な ど	—	—	—	—	—	—	—
圧縮、防腐処理された木材	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	17	100.0	58.8	5.9	—	5.9	5.9

単位：％

チップ		パーティクル ボードなど	圧縮、防腐 処理された 木	その他	無回答	区分
国産材	外国産材					
2.0	—	—	—	6.9	—	1
—	—	—	—	—	—	2
—	—	—	—	9.5	—	3
1.4	—	—	—	6.8	—	4
—	—	—	—	5.9	—	5
—	—	—	—	7.7	—	6
—	—	—	—	9.3	—	7
11.1	—	—	—	3.7	—	8
3.2	—	—	—	6.5	—	9
—	—	—	—	—	—	10

単位：％

仕入れ価格 が高い	その他	区分
11.7	6.9	1
8.6	4.3	2
23.8	—	3
8.9	7.9	4
19.0	4.8	5
30.8	15.4	6
—	—	7
—	—	8
—	—	9
—	—	10
5.9	17.6	11

単位：％

ガーデニング 用品 〔プランターカ バー、柵など〕	家電 〔オーディオ機 器、携帯電話、 デジカメなど〕	その他	区分
2.0	0.8	8.9	1
4.3	—	7.1	2
—	—	9.5	3
2.0	2.0	7.9	4
—	—	9.5	5
—	—	7.7	6
—	—	—	7
—	—	—	8
—	—	—	9
—	—	—	10
—	—	23.5	11

(4) 消費者に国産材製品を購入してもらうために必要と考える改善点（2つまで）

区 分	回答者数	計	香り、手触り、 見た目などの木 の特性をアピー ルした方が良い	安全性や安心感 を向上させた方 が良い	品質（耐久性、 強度など）を向 上させた方が良 い	木材の産地や塗 料の原料などの 製品情報をきち んと表示した方 が良い	製品価格を安く した方が良い	
計	1	人 248	100. 0	41. 5	23. 0	11. 7	8. 9	6. 5
消費者の生活に取り入れて ほしい国産材製品別								
内 装	2	194	100. 0	44. 3	23. 2	11. 3	8. 2	7. 7
家 具	3	18	100. 0	44. 4	22. 2	11. 1	11. 1	5. 6
食 器 ・ 台 所 用 品	4	1	100. 0	—	—	—	—	—
おもちゃ・遊具	5	5	100. 0	40. 0	20. 0	20. 0	—	—
文 房 具	6	1	100. 0	100. 0	—	—	—	—
ガーデニング用品	7	5	100. 0	40. 0	20. 0	—	20. 0	—
家 電	8	2	100. 0	50. 0	—	—	—	—
そ の 他	9	22	100. 0	13. 6	27. 3	18. 2	13. 6	—

(5) 木材製品、材木の販売促進のために必要と考える行政サポート（2つまで）

区 分	回答者数	計	製品や製造・販売企業の「環境貢献度」（CO2削減量など）を数値化して表示する仕組み	買い手（需要）と売り手（供給）をマッチングする場	行政における木材の積極的な利用（公共建築物など）	新製品開発に対する経済的・技術的な支援	産地や塗料等の原料について信頼性のある表示ができる仕組み	
計	1	人 248	100.0	18.5	22.6	72.6	20.2	4.8
取 扱 製 品 別								
素 材	2	70	100.0	18.6	25.7	65.7	24.3	5.7
国 産 材	3	21	100.0	23.8	23.8	71.4	19.0	—
外 国 産 材								
製 材	4	101	100.0	18.8	18.8	80.2	15.8	5.9
国 産 材	5	21	100.0	19.0	28.6	61.9	23.8	4.8
外 国 産 材								
合板、集成材など	6	13	100.0	15.4	23.1	61.5	38.5	—
チ ャ ッ プ								
国 産 材	7	5	100.0	20.0	40.0	60.0	—	20.0
外 国 産 材	8	—	—	—	—	—	—	—
パーティクルボードなど	9	—	—	—	—	—	—	—
圧縮、防腐処理された木材	10	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	11	17	100.0	11.8	17.6	82.4	17.6	—

単位：％

木材製品を市場に安定的に供給できる体制を整備した方が良い	環境に貢献する商品を開発した方が良い（販売価格に植林や間伐に係る寄付金を上乗せするなど）	間伐や伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材（合法木材など）を使用したリ、それをアピールしたりする方が良い	地球温暖化対策や地域の林業、経済の活性化に貢献することをアピールした方が良い	無回答	区 分
23.8	8.1	28.6	42.3	1.2	1
24.7	7.7	27.3	41.2	0.5	2
22.2	5.6	33.3	38.9	—	3
100.0	100.0	—	—	—	4
20.0	—	60.0	40.0	—	5
—	—	100.0	—	—	6
—	20.0	40.0	60.0	—	7
—	—	100.0	50.0	—	8
22.7	9.1	18.2	54.5	9.1	9

単位：％

マーケティングに関するアドバイス	官民一体となった広報活動・普及啓発活動	その他	区分
3.2	45.2	7.3	1
5.7	44.3	7.1	2
4.8	42.9	—	3
1.0	48.5	6.9	4
4.8	42.9	9.5	5
7.7	15.4	23.1	6
—	40.0	—	7
—	—	—	8
—	—	—	9
—	—	—	10
—	58.8	5.9	11

(6) 単語・マークの認知度

区 分	回答者数	木づかい運動（きづかいうんどう）			木育（もくいく）			
		認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	
計	1	248	58.9	33.5	25.4	52.4	29.4	23.0
取 扱 製 品 別 素 材								
国 産 材	2	70	52.9	32.9	20.0	51.4	30.0	21.4
外 国 産 材	3	21	57.1	23.8	33.3	47.6	38.1	9.5
製 国 産 材	4	101	66.3	37.6	28.7	51.5	29.7	21.8
外 国 産 材	5	21	42.9	28.6	14.3	47.6	28.6	19.0
合板、集成材など	6	13	69.2	30.8	38.5	53.8	15.4	38.5
チ ッ プ								
国 産 材	7	5	100.0	20.0	80.0	100.0	20.0	80.0
外 国 産 材	8	—	—	—	—	—	—	—
パーティクルボードなど	9	—	—	—	—	—	—	—
圧縮、防腐処理された木材	10	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	11	17	41.2	35.3	5.9	58.8	29.4	29.4

(6) 単語・マークの認知度（つづき）

単位：％

区 分		合法木材推進マーク			区分
		認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	
計	1	71.0	56.9	14.1	1
取 扱 製 品 別 材 素					
国 産 材	2	65.7	48.6	17.1	2
外 国 産 材	3	71.4	57.1	14.3	3
製 国 産 材	4	71.3	65.3	5.9	4
外 国 産 材	5	71.4	52.4	19.0	5
合板、集成材など	6	69.2	38.5	30.8	6
チ ッ プ					
国 産 材	7	100.0	60.0	40.0	7
外 国 産 材	8	—	—	—	8
パーティクルボードなど	9	—	—	—	9
圧縮、防腐処理された木材	10	—	—	—	10
そ の 他	11	82.4	58.8	23.5	11

単位：％

3. 9 (さんきゅー) グリーンスマイルマーク			間伐材マーク			区分
認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	認知度	以前から意味を知っていた	意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあった	
52.8	24.2	28.6	59.3	39.1	20.2	1
45.7	18.6	27.1	60.0	47.1	12.9	2
38.1	19.0	19.0	38.1	19.0	19.0	3
58.4	31.7	26.7	62.4	39.6	22.8	4
42.9	14.3	28.6	57.1	23.8	33.3	5
61.5	23.1	38.5	61.5	30.8	30.8	6
100.0	—	100.0	100.0	60.0	40.0	7
—	—	—	—	—	—	8
—	—	—	—	—	—	9
—	—	—	—	—	—	10
58.8	29.4	29.4	52.9	47.1	5.9	11

【調査事項】

消費者モニター用

【1 木材の利用に関する意識・意向について】

問1 あなたの性別と年齢階層を教えてください。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 男性・20～29歳 | 6 女性・20～29歳 |
| 2 男性・30～39歳 | 7 女性・30～39歳 |
| 3 男性・40～49歳 | 8 女性・40～49歳 |
| 4 男性・50～64歳 | 9 女性・50～64歳 |
| 5 男性・65歳以上 | 10 女性・65歳以上 |

問2 政府は現在、公共建築物への木材利用を推進しているところですが、あなたは、住宅や学校等の建築物の他に身の回りのどんなものに木材を取り入れたいと思いますか。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 内装（家屋・事務所・事業所の内装など）
- 2 家具（タンス、食器棚、テーブル、机など）
- 3 食器・台所用品（スプーン、お皿、まな板など）
- 4 おもちゃ・遊具
- 5 文房具（ペン立て、書類トレイなど）
- 6 ガーデニング用品（プランターカバー、柵など）
- 7 家電（オーディオ機器、携帯電話、デジカメなど）
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 9 取り入れたいと思わない → 問7へお進みください

問3へお進みください

《問2で回答された製品についてお伺いします。》

問3 あなたが、木材を取り入れたいと思う理由は何ですか。

（該当する選択肢の番号を2つ選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 香り、手触り、見た目などが良いと思うから
- 2 安全・安心、健康に良いと思うから
- 3 高級感があると思うから
- 4 品質（耐久性、強度など）が高いと思うから
- 5 伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材を使うことで、地球温暖化防止などの環境貢献に役立つと思うから
- 6 価格が安くなると思うから
- 7 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《問2で回答された製品についてお伺いします。》

問4 あなたは国産の木材と外国産の木材のどちらを使用する方が良いと思いますか。

（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 国産の木材を使用する方が良いと思う→ 問5へお進みください
- 2 外国産の木材を使用する方が良いと思う→ 問6へお進みください
- 3 どちらでもよい

《問4で「1 国産の木材を使用する方が良いと思う」と回答された方にお伺いします。》

問5 あなたが、国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由は何ですか。

（該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 性質・品質（香り、安全性、高級感、耐久性など）が外国産の木材より優れていると思うから
- 2 外国産の木材より価格が安いと思うから
- 3 伐採後の植林を行うなど、森林が適切に管理され、日本の森林を育てることにつながると思うから
- 4 地域の林業、経済の活性化につながると思うから
- 5 地球温暖化問題に対する日本の取組に役立つと思うから
- 6 国産の物や地元の物を使うことにこだわりたいから
- 7 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《問4で「2 外国産の木材を使用する方が良いと思う」と回答された方にお伺いします。》

問6 あなたが、外国産の木材を取り入れた方が良いと思う理由は何ですか。

（該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 性質・品質（香り、安全性、高級感、耐久性など）が国産の木材より優れていると思うから
- 2 国産の木材より価格が安いと思うから
- 3 国産の木材より、ニーズに合った木材を安定的に供給できると思うから
- 4 外国産の木材は、伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材が多いと思うから
- 5 発展途上国における経済や産業の活性化に役立つと思うから
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《問2で「9 取り入れたいと思わない」と回答された方にお伺いします。》

問7 どのような改善がされれば、あなたは身の回りのものに木を取り入れたいと思いますか。

（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 品質（強度、耐久性など）を向上させた方が良い
- 2 安全性や安心感を向上させた方が良い
- 3 木材の産地や塗料の原料などの製品情報を表示させる仕組みを作った方が良い
- 4 木材製品の価格を安くした方が良い
- 5 環境に貢献する商品を開発した方が良い（販売価格に植林寄付金を上乗せするなど）
- 6 木材製品を安定的に供給できる体制を整備した方が良い
- 7 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《以降の質問は全員ご回答ください。》

問8 以下の単語・マークのうち、これまでにご存じのものはありますか。

（「以前から意味を知っていたもの」と、「意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあったもの」について、それぞれ該当する選択肢の番号をすべて選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 木づかい運動（きづかいうんどう）
- 2 木育（もくいく）
- 3 3．9（さんきゅー）グリーンスタイルマーク（下図1）
- 4 間伐材マーク（下図2）
- 5 合法木材推進マーク（下図3）



図1. 3.9グリーンスタイルマーク



図2. 間伐材マーク



図3. 合法木材推進マーク

<参考：問8に関する単語・マークの説明>

【木づかい運動、3.9グリーンスタイルマーク（図1）】

京都議定書の目標達成に向けた地域材利用（各地域の木材を積極的に利用すること）の意義を広め、実需の拡大につなげていくための国民運動「木づかい運動」のロゴマーク。

【木育】

市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動のこと。

【間伐材マーク（図2）】

間伐や間伐材利用の重要性等をPRする、間伐材を用いた製品に表示するマーク。

【合法木材推進マーク（図3）】

違法伐採問題に対する取り組みと合法性が証明された木材・木材製品の証明システム普及啓発のためのシンボルマーク。

【2 森林の手入れに関する意識・意向について】

問1 あなたは、森林資源の循環利用を進めるに当たって、何が重要だとお考えですか。

（該当する選択肢の番号を3つまで選択し、強くそう思うものから順に回答用紙に記入してください。）

- 1 森林所有者による森林整備や木材生産に関する自助努力
- 2 森林組合（森林所有者の共同組織）による森林整備や木材生産に関する自助努力
- 3 樹木を伐採し、丸太の生産等を行う事業者（素材生産業者）などによる事業能力の向上のための自助努力
- 4 製材工場、大工・工務店などによる国産材や国産材住宅の販売の促進
- 5 公共事業における国産材の利用の促進
- 6 国民に対する国産材利用促進のための普及啓発
- 7 消費者による国産材の積極的な利用
- 8 森林の手入れなどのボランティア活動
- 9 国や地方自治体による資金面や技術面での支援の強化
- 10 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問2 あなたは、あなたの周囲の森林や目にした森林の手入れの状況について、どのように思われますか。
(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 手入れが行われていると思う → 問5へお進みください
- 2 手入れが行われていないと思う → 問3、4へお進みください
- 3 わからない → 問5へお進みください

《問2で「2 手入れが行われていないと思う」と回答された方にお伺いします。》

問3 森林の手入れが行われていないと思う理由は何ですか。
(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 森林を伐採した後に、植林しないまま放置されている場所を見たことがあるため
- 2 1本1本の木が細く貧弱で、木と木の間隔が込み合っている森林を見たことがあるため
- 3 実際に見たわけではないが、森林の手入れが十分に行われていないと報じられているのを見たことがあるため
- 4 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《問2で「2 手入れが行われていないと思う」と回答された方にお伺いします。》

問4 あなたは、森林の手入れが行われていない原因として、どのようなことを考えますか。
(該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 木材の価格が安く、手入れに要する費用を負担できないため
- 2 手入れをする労働力が不足しているため
- 3 手入れに必要な機械の導入や道の整備がなされていないため
- 4 国や地方自治体による資金面や技術面での支援が不十分なため
- 5 森林所有者が森林に対して無関心なため
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《以降の質問は全員ご回答ください。》

問5 あなたは、仮に私有林の所有者が森林の手入れを十分に行っていないとした場合、その森林の手入れを誰が行うべきだとお考えですか。
(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 あくまでも森林所有者が中心となって費用を負担し手入れをすべき
- 2 国や地方自治体为中心となって費用を負担し手入れをすべき
- 3 企業がCSR（企業の社会的責任）活動の一環として費用を負担し手入れをすべき
- 4 国民全体が森林ボランティアへの参加や緑の募金への協力などを通じて取り組むべき
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問6 あなたは、今後、どのような点に配慮した森林づくりが進められていくべきだとお考えですか。
(該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 国土の保全や水源のかん養に配慮した森林づくり
- 2 多様な動植物が生育するなど周辺の環境に配慮した森林づくり
- 3 CO₂の吸収源として地球温暖化の防止に配慮した森林づくり
- 4 森林浴など健康づくりや森林体験活動など森林と人とのふれあいに配慮した森林づくり
- 5 木材等の生産を主体とした森林づくり
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

【1 木材の利用に関する意識・意向について】

問1 あなたは、主にどのようなものを取り扱っていますか。

（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 素材（国産材）
- 2 素材（外国産材）
- 3 製材（柱、板などで国産材のもの）
- 4 製材（柱、板などで外国産材のもの）
- 5 合板、集成材など
- 6 チップ（国産材）
- 7 チップ（外国産材）
- 8 パーティクルボードなど
- 9 圧縮、防腐処理された木材
- 10 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《問1で回答された製品についてお伺いします。》

問2 あなたが取り扱う際に障害だと考えていることは何ですか。

（該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 販売価格が安い
- 2 需要動向が把握しづらい
- 3 量が確保できない
- 4 販売までの生産及び流通コストが高い
- 5 品質が一定しない
- 6 仕入れ価格が高い
- 7 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問3 政府は現在、公共建築物への木材利用を推進しているところですが、あなたは、住宅や学校等の建築物の他に消費者の生活に国産材を取り入れてもらうためには、どのような分野の製品から取り組みばいいと思いますか。

（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 内装（家屋・事務所・事業所の内装など）
- 2 家具（タンス、食器棚、テーブル、机など）
- 3 食器・台所用品（スプーン、お皿、まな板など）
- 4 おもちゃ・遊具
- 5 文房具（ペン立て、書類トレイなど）
- 6 ガーデニング用品（プランターカバー、柵など）
- 7 家電（オーディオ機器、携帯電話、デジカメなど）
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《問3で回答された製品についてお伺いします。》

問4 製品を消費者に買ってもらえるようにするためには、どのような改善をすると良いと思いますか。

（該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 香り、手触り、見た目などの木の特性をアピールした方が良い
- 2 安全性や安心感を向上させた方が良い
- 3 品質（耐久性、強度など）を向上させた方が良い
- 4 木材の産地や塗料の原料などの製品情報をきちんと表示した方が良い
- 5 製品価格を安くした方が良い
- 6 木材製品を市場に安定的に供給できる体制を整備した方が良い
- 7 環境に貢献する商品を開発した方が良い（販売価格に植林や間伐に係る寄付金を上乗せするなど）
- 8 間伐や伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材（合法木材など）を使用したり、それをアピールしたりする方が良い
- 9 地球温暖化対策や地域の林業、経済の活性化に貢献することをアピールした方が良い

問5 木材を取り入れた製品や材木を売り込んでいくためには、行政からどのようなサポートが必要だと思いますか。

（該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 製品や製造・販売企業の「環境貢献度」（CO₂削減量など）を数値化して表示する仕組み
- 2 買い手（需要）と売り手（供給）をマッチングする場
- 3 行政における木材の積極的な利用（公共建築物など）
- 4 新製品開発に対する経済的・技術的な支援
- 5 産地や塗料等の原料について信頼性のある表示ができる仕組み
- 6 マーケティングに関するアドバイス
- 7 官民一体となった広報活動・普及啓発活動
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問6 以下の単語・マークのうち、これまでにご存じのものはありますか。

（「以前から意味を知っていたもの」と、「意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあったもの」について、それぞれ該当する選択肢の番号をすべて選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 木づかい運動（きづかいうんどう）
- 2 木育（もくいく）
- 3 3.9（さんきゅう）グリーンスタイルマーク（下図1）
- 4 間伐材マーク（下図2）
- 5 合法木材推進マーク（下図3）



図1. 3.9グリーンスタイルマーク



図2. 間伐材マーク



図3. 合法木材推進マーク

<参考：問6に関する単語・マークの説明>

【木づかい運動、3.9グリーンスタイルマーク（図1）】

京都議定書の目標達成に向けた地域材利用（各地域の木材を積極的に利用すること）の意義を広め、実需の拡大につなげていくための国民運動「木づかい運動」のロゴマーク。

【木育】

市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動のこと。

【間伐材マーク（図2）】

間伐や間伐材利用の重要性等をPRする、間伐材を用いた製品に表示するマーク。

【合法木材推進マーク（図3）】

違法伐採問題に対する取り組みと合法性が証明された木材・木材製品の証明システム普及啓発のためのシンボルマーク。

【2 森林の手入れに関する意識・意向について】

問1 あなたが所有している森林の面積を教えてください。

（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 20ha未満 | 4 100ha以上500ha未満 |
| 2 20ha以上50ha未満 | 5 500ha以上1,000ha未満 |
| 3 50ha以上100ha未満 | 6 1,000ha以上 |

問2 林業経営の後継者の有無を教えてください。

（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

- | | | |
|----------|-----------|--------------|
| 1 後継者がいる | 2 後継者がいない | 3 現時点ではわからない |
|----------|-----------|--------------|

問3 あなたは、森林資源の循環利用を進めるに当たって、何が重要だとお考えですか。

（該当する選択肢の番号を3つまで選択し、強く思うものから順に回答用紙に記入してください。）

- | |
|---------------------------------------|
| 1 森林所有者による森林整備や木材生産に関する自助努力 |
| 2 森林組合による森林整備や木材生産に関する自助努力 |
| 3 伐採等の事業者（素材生産業者）などによる事業能力の向上のための自助努力 |
| 4 製材工場、大工・工務店などによる国産材や国産材住宅の販売の促進 |
| 5 公共事業における国産材の利用の促進 |
| 6 国民に対する国産材利用促進のための普及啓発 |
| 7 消費者による国産材の積極的な利用 |
| 8 森林の手入れなどのボランティア活動 |
| 9 国や地方自治体による資金面や技術面での支援の強化 |
| 10 その他（具体的に回答用紙に記入してください。） |

問4 あなたは、所有している森林の手入れの状況について、現在どのような状態だとお考えですか。
(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 十分に手入れをしていると思う
- 2 必要最小限の手入れをしていると思う
- 3 少し手入れが足りないと思う
- 4 ほとんど手入れをしていないと思う

} 問7へお進みください

} 問5、6へお進みください

《問4で「3 少し手入れが足りないと思う」又は「4 ほとんど手入れをしていないと思う」と回答された方にお伺いします。》

問5 あなたは、所有している森林の手入れが十分でない理由として、どのようなことを考えますか。
(該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 木材の価格が安く、手入れに要する費用を負担できないため
- 2 手入れをする労働力が不足しているため
- 3 高性能林業機械の導入や路網の整備が遅れているため
- 4 国や地方自治体による資金面や技術面での支援が不十分なため
- 5 森林に対して無関心なため
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《問4で「3 少し手入れが足りないと思う」又は「4 ほとんど手入れをしていないと思う」と回答された方にお伺いします。》

問6 あなたは、手入れが十分でない森林を整備するための方策として、どのようなことが効果的だとお考えですか。
(該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 森林所有者に代わって、森林の手入れを行う代行者を確保し、その代行者に対して支援を行うこと
- 2 森林所有者から森林を買い取って手入れを行う者に対して支援を行うこと
- 3 森林の手入れに必要な高性能林業機械の導入や路網の整備などに対する公的支援を強化すること
- 4 所有する森林の手入れを義務付ける法律や制度をつくること
- 5 森林所有者に対して、森林の手入れを促すための助言や情報を提供すること
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《全員ご回答ください。》

問7 あなたは、仮に私有林の所有者が森林の手入れを十分に行っていないとした場合、その森林の手入れを誰が行うべきだとお考えですか。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 あくまでも森林所有者が中心となって費用を負担し手入れをすべき
- 2 国や地方自治体を中心となって費用を負担し手入れをすべき
- 3 企業がCSR（企業の社会的責任）活動の一環として費用を負担し手入れをすべき
- 4 国民全体が森林ボランティアへの参加や緑の募金への協力などを通じて取り組むべき
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。)

問8 あなたは、今後、林業経営をどのようにしたいとお考えですか。

以下の(1)～(7)について、該当する選択肢の番号をそれぞれ1つ選択して回答用紙に記入してください。

(1) 林業経営の規模について

- 1 規模拡大を図りたい -----→ (2)へお進みください
- 2 現在の規模を維持したい-----→ (3)へお進みください
- 3 規模縮小を図りたい -----→ (2)へお進みください
- 4 林業経営をやめたい -----→ 問9へお進みください

《(1)で「1 規模拡大を図りたい」又は「3 規模縮小を図りたい」と回答された方のみご回答ください。》

(2) 目指す経営規模について

- 1 20ha未満の経営規模を目指したい
- 2 20ha以上50ha未満の経営規模を目指したい
- 3 50ha以上100ha未満の経営規模を目指したい
- 4 100ha以上500ha未満の経営規模を目指したい
- 5 500ha以上1,000ha未満の経営規模を目指したい
- 6 1,000ha以上の経営規模を目指したい

《以後の質問は(1)で「1 規模拡大を図りたい」、「2 現在の規模を維持したい」、「3 規模縮小を図りたい」のいずれかを選択された方のみご回答ください。》

(3) 森林の手入れの主体について

- 1 自家労働を主体としたい
- 2 雇用労働を主体としたい
- 3 請け負わせを主体としたい
- 4 林業経営そのものを他の森林所有者や林業事業体等（伐採等の業者、森林組合など）に委託したい
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

(4) 林業生産活動において目標とする木材について

- 1 主に並材を生産することを目指したい
- 2 並材を主体としつつ、単価の高い高品質材や特殊材を生産することも目指したい
- 3 単価の高い高品質材や特殊材を生産することを主体としつつ、並材を生産することも目指したい
- 4 主に単価の高い高品質材や特殊材を生産することを目指したい
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

(5) 伐採の方法について

- 1 おおむね50年生程度の林齢で、まとまった面積の皆伐を行いたい
- 2 おおむね80年生程度以上の林齢で、まとまった面積の皆伐を行いたい
- 3 なるべく皆伐を行わず、間伐を繰り返していきたい
- 4 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

(6) 林業の機械化（高性能林業機械等の導入）について

注： 車両系高性能林業機械のサイズは、ベースマシンのバケットの規格によって、大きく0.45と0.25に大別されます。選択肢の1又は2を選ぶ際は、下表を参考にしてください。

車両系高性能林業機械のサイズ

	重 量	車 幅	全 長
大型 (0.45)	12～13t	2.5m	7～8m
小型 (0.25)	6～7t	2.2m	6m

- 1 多少高価でも大型で処理能力の高い車両系機械 (0.45)を導入したい
- 2 多少処理能力が低くても小型で安価な車両系機械(0.25)を導入したい
- 3 架線系機械を導入したい
- 4 機械はなるべく持たず、伐採などは請け負わせにより対応したい
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 6 既に導入済みであり、新たな導入予定は無い

(7) 路網の整備について

- 1 車両系集材システムに適した100m/ha以上の路網密度を目指したい
- 2 50～100m/ha程度の路網密度を目指したい
- 3 架線系集材システムに適した30～50m/ha程度の路網密度を目指したい
- 4 新たな路網の整備に取り組むつもりはない
- 5 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問9 あなたは、伐採業者や森林組合などにどのような役割を期待しますか。

（該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 植付けや間伐等の個々の作業を引き受けること
- 2 長期にわたり、各種の作業を一括して引き受けること
- 3 作業のみならず、森林にかかる計画策定から管理経営までを引き受けること
- 4 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）
- 5 特に期待する役割はない

問10 あなたは、今後、どのような点に配慮した森林づくりを進めていきたい又はいくべきだとお考えですか。

（該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。）

- 1 国土の保全や水源のかん養に配慮した森林づくり
- 2 多様な動植物が生育するなど周辺の環境に配慮した森林づくり
- 3 CO₂の吸収源として地球温暖化の防止に配慮した森林づくり
- 4 森林浴など健康づくりや森林体験活動など森林と人とのふれあいに配慮した森林づくり
- 5 木材等の生産を主体とした森林づくり
- 6 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

【木材の利用に関する意識・意向について】

問１ あなたは、主にどのようなものを取り扱っていますか。

（該当する選択肢の番号を１つ選択して回答用紙に記入してください。）

- １ 素材（国産材）
- ２ 素材（外国産材）
- ３ 製材（柱、板などで国産材のもの）
- ４ 製材（柱、板などで外国産材のもの）
- ５ 合板、集成材など
- ６ チップ（国産材）
- ７ チップ（外国産材）
- ８ パーティクルボードなど
- ９ 圧縮、防腐処理された木材
- １０ その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《問１で回答された製品についてお伺いします。》

問２ あなたが取り扱う際に障害だと考えていることは何ですか。

（該当する選択肢の番号を２つまで選択して回答用紙に記入してください。）

- １ 販売価格が安い
- ２ 需要動向が把握しづらい
- ３ 量が確保できない
- ４ 販売までの生産及び流通コストが高い
- ５ 品質が一定しない
- ６ 仕入れ価格が高い
- ７ その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

問3 政府は現在、公共建築物への木材利用を推進しているところですが、あなたは、住宅や学校等の建築物の他に消費者の生活に国産材を取り入れてもらうためには、どのような分野の製品から取り組みばいいと思いますか。

(該当する選択肢の番号を1つ選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 内装（家屋・事務所・事業所の内装など）
- 2 家具（タンス、食器棚、テーブル、机など）
- 3 食器・台所用品（スプーン、お皿、まな板など）
- 4 おもちゃ・遊具
- 5 文房具（ペン立て、書類トレイなど）
- 6 ガーデニング用品（プランターカバー、柵など）
- 7 家電（オーディオ機器、携帯電話、デジカメなど）
- 8 その他（具体的に回答用紙に記入してください。）

《問3で回答された製品についてお伺いします。》

問4 製品を消費者に買ってもらえるようにするためには、どのような改善をすると良いと思いますか。

(該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 香り、手触り、見た目などの木の特性をアピールした方が良い
- 2 安全性や安心感を向上させた方が良い
- 3 品質（耐久性、強度など）を向上させた方が良い
- 4 木材の産地や塗料の原料などの製品情報をきちんと表示した方が良い
- 5 製品価格を安くした方が良い
- 6 木材製品を市場に安定的に供給できる体制を整備した方が良い
- 7 環境に貢献する商品を開発した方が良い（販売価格に植林や間伐に係る寄付金を上乗せするなど）
- 8 間伐や伐採後の植林を行うなど、適切に管理された森林から生産された木材（合法木材など）を使用したり、それをアピールしたりする方が良い
- 9 地球温暖化対策や地域の林業、経済の活性化に貢献することをアピールした方が良い

問5 木材を取り入れた製品や材木を売り込んでいくためには、行政からどのようなサポートが必要だと思いますか。

(該当する選択肢の番号を2つまで選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 製品や製造・販売企業の「環境貢献度」(CO₂削減量など)を数値化して表示する仕組み
- 2 買い手(需要)と売り手(供給)をマッチングする場
- 3 行政における木材の積極的な利用(公共建築物など)
- 4 新製品開発に対する経済的・技術的な支援
- 5 産地や塗料等の原料について信頼性のある表示ができる仕組み
- 6 マーケティングに関するアドバイス
- 7 官民一体となった広報活動・普及啓発活動
- 8 その他(具体的に回答用紙に記入してください。)

問6 以下の単語・マークのうち、これまでにご存じのものはありますか。

(「以前から意味を知っていたもの」と、「意味は知らなかったが見たこと・聞いたことはあったもの」について、それぞれ該当する選択肢の番号をすべて選択して回答用紙に記入してください。)

- 1 木づかい運動(きづかいうんどう)
- 2 木育(もくいく)
- 3 3.9(さんきゅー)グリーンスタイルマーク(下図1)
- 4 間伐材マーク(下図2)
- 5 合法木材推進マーク(下図3)



図1. 3.9グリーンスタイルマーク



図2. 間伐材マーク



図3. 合法木材推進マーク

<参考：問6に関する単語・マークの説明>

【木づかい運動、3.9グリーンスタイルマーク(図1)】

京都議定書の目標達成に向けた地域材利用(各地域の木材を積極的に利用すること)の意義を広め、実需の拡大につなげていくための国民運動「木づかい運動」のロゴマーク。

【木育】

市民や児童の木材に対する親しみや木の文化への理解を深めるため、材料としての木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動のこと。

【間伐材マーク（図2）】

間伐や間伐材利用の重要性等をPRする、間伐材を用いた製品に表示するマーク。

【合法木材推進マーク（図3）】

違法伐採問題に対する取り組みと合法性が証明された木材・木材製品の証明システム普及啓発のためのシンボルマーク。

【利用上の注意】

1 調査の内容

本調査は、森林・林業基本計画の変更作業や施策の企画・立案の基礎資料とするため、消費者、林業者及び流通加工業者モニター（木材関係）が森林資源の循環利用に関して、どのような意識・意向を持っているかを調査したものである。

2 調査対象

農林水産情報交流モニターのうち、消費者モニター（1,779人）、林業者モニター（300人）及び流通加工業者モニター（木材関係）（338人）を対象とした。

3 実施時期

平成22年7月上旬～中旬

4 調査方法

地方農政局、地方農政事務所及び内閣府沖縄総合事務局からの郵送調査により行った。

5 調査票の回収率等

	対象者数（人）	回答者数（人）	回収率（％）
消費者モニター	1,779	1,599	89.9
林業者モニター	300	234	78.0
流通加工業者モニター（木材関係）	338	248	73.4

6 その他

(1) 農政局等の区分は次のとおりである。

北海道：北海道

東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

関東：茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡

北陸：新潟、富山、石川、福井

東海：岐阜、愛知、三重

近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

中国四国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島

沖縄：沖縄

(2) 統計表の各回答率は、各設問（各区分）の有効回答者数計を100.0とする割

合である。

- (3) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない。
- (4) 統計表に使用した記号「－」は、事実のないことを表す。
- (5) 統計表の数値の中には、回答者数の少ないものもあるので、利用に当たっては十分注意されたい。

お問い合わせ先

〔森林施策に関する内容〕

林野庁 林政部 企画課 企画第1班

電 話（代表） 03(3502)8111 内線6063

（直通） 03(3502)8036

〔調査設計に関する内容〕

農林水産省 大臣官房 情報評価課 業務第2班

電 話（代表） 03(3502)8111 内線3256

（直通） 03(3502)8047

この資料は、農林水産省ホームページ【<http://www.maff.go.jp/>】の右側の「統計情報 ≧ 各種調査結果 ≧ 意識・意向調査」からご覧いただけます。